

晶性ノ粉末ニシテ、弱キ芳香性ノ味ヲ有スル。水ニハ殆ンド不溶性ナルモ、「アルコール」及ビ「エーテル」ニハ溶解スル。

腎盂炎 Pyelitis 或ハ膀胱炎 Cystitis ノ際ニ一日 3-4 回 1,0 宛ヲ與ヘル。

處方例 「ザロール」 Salol 3,0
以上分三包 一日三回一包宛(食後)

4. 「エーテル」性油類 Ätherische Öle

「コバイババルサム」 Balsamum Copaiva, 「クベバ」子(畢澄茄) Fructus Cubebae 及ビ白檀油 Oleum Santali ハ、揮發性ニシテ吸收セラレ易キ「テレピン」Terpen 及ビ「テレピンアルコール」Terpenalkohol ニ富メル「エーテル」性油類ヲ含有スル。此兩者ハ一部ハ肺ヨリ排出セラルルモ、大部分ハ「グリクロン」酸 Glykuronsäure ト複合シテ腎臟ヨリ排出セラル。

「テレピン」化合物 Terpenverbindungen ハ、尿ニ防腐性ヲ與ヘル故ニ、尿ヲ長イ間放置スルモ惡臭ヲ放タナイ。

此他「コバイババルサム」及ビ「クベバ」ハ樹脂酸 Harzsäure ヲ含有スルモ、此モノガ作用ニ關與スルヤ否ヤハ不明デアアル。サレド強キ局所刺戟作用ヲ有スルガ故ニ、「テレピン」ト同様ニ重要ナルモノト見做サル。

樹脂酸モ亦大部分ハ腎臟ヨリ排出セラルルモ、其一部ハ氣管枝中ニ排泄セラレ、其所ニテ分泌ヲ抑制シ sekretionsbeschränkend 且防腐性 anti-septisch ニ作用スル。

尿ニ硝酸ヲ加フル時ハ白色ノ環 Ring ヲ生ズルガ故ニ、蛋白尿ト誤マラレ易イ。サレド「アルコール」ヲ加フル時ハ樹脂ハ溶解スルモ、蛋白ハ溶解シナイ。

【副作用】「コバイバ」等ノ大量ヲ與フル時ハ、尿路ヲ強ク刺戟シテ、腎臟ノ疼痛、蛋白尿、疼痛性膀胱「テネスムス」Blasentenesmus 及ビ痙攣

性尿停滯 krampfhaftige Harnverhaltung ヲ起ス事ガアル。而シテ若シ粘膜炎ガ初メカラ炎症ヲ起セル場合ニハ、斯ル症狀ハ早く現ハレル。

刺戟性ノ爲ニ現ハレル他ノ症狀ハ、胃腸ノ方ノ不快ナル症狀デアアル。即チ胃痛、不快ナル嘔氣 Aufstossen, 下痢ヲ起ス。

白檀油 Ol. Santali ハ消化ヲ害スル事ガ最モ少ナイ。

種々ナル外觀ヲ有スル皮膚發疹 Hautausschläge (薔薇疹 Roseola, 蕁麻疹 Urticaria, 天疱瘡 Pemphigus) ガ現ハレル事モアル。之ハ刺戟性成分ガ皮膚ヨリ排出セラレル爲デアアル。

【應用】「コバイババルサム」又ハ其類似ノ藥品ハ、尿路ノ細菌性炎症 bakterielle Entzündung, 主トシテ淋疾性尿道炎及ビ膀胱炎 gonorrhoeische Urethritis und Cystitis ノ際ニ用ヒラル。即チ淋疾ノ際ニ激甚ナル炎症症狀ガ去リ、疾病ガ亞急性又ハ慢性期ニ移行シタル後ニ初メテ與ヘル。早期ニ與フル時ハ往々刺戟症狀ヲ呈ス。

此藥劑ノ意義ハ、弱キ消毒性ヲ有スル尿中ニ粘膜炎全體ガ絶エズ浸レルニアル。消毒劑ヲ直接外部ヨリ注入スル時ハ通常強キ作用ヲ有スルモ、速カニ再ビ洗ヒ去ラレル缺點ガアル。

此他抗淋疾劑 Antigonorrhoeika トシテ用ヒラルルモノニ、「カワ」Rad. Kawa od. Kawa- Kawa ガアル。之ハ二種ノ樹脂ヲ含有シ、其局所麻酔作用ノ爲ニ尿道炎 Urethritis ノ際ニ推奨セラレ。

【用量】「コバイババルサム」Balsamum Copaiva, Copaiwabalsam. 黄色或ハ黄褐色透明ノ稍々濃稠ニシテ不味ナル液狀ノ「バルサム」デ、南部及ビ中部アメリカニ産スル Copaifera 種ヨリ得タルモノデアアル。40-60%ノ「エーテル」性油及ビ多數ノ無晶形及ビ結晶性ノ樹脂酸ヲ含有スル。内用ニハ一日 3-4 回 0,5-2,0 宛, 1 日量 6,0-8,0 迄ヲ膠囊 Gelatinekapsel ニ入レ(通常一個中ニ 0,5 ヲ入ル), 又ハ丸藥 Pillen, 乳劑 Emulsion 或ハ滴 Tropfen (1 回ニ 10-40 滴)トシテ與ヘル。

「クベバ」子(葦澄茄) *Cubebae, Kubeben* ジャバ・スマトラ・ボルネオ等ニ産スル *Piper Cubeba* ノ實デアル。内用ニハ 1 日 2—3 回 2,0—5,0—10,0 ヲ丸薬或ハ散薬等トシテ用ヒル。

「クベバエキス」 *Extractum Cubebarum, Kubebenextrakt* ハ 1 回量 0,3—1,0 ヲ膠囊ニ入レ或ハ丸薬トシテ用ヒル。

白檀油 *Oleum Santali, Sandelöl* 東印度等ニ産スル檀香樹(「ビヤクダン」) *Santalum album* ノ木ヲ蒸餾シテ得タル黄色、粘稠ノ油ニシテ、稀薄ナルモノハ薔薇様ノ香氣ヲ放ツ二種ノ「テレピンアルコール」ヲ含有ス。内用量ハ 0,3—0,5 ヲ膠囊 *Gelatinekapsel* ニ入レテ 1 日量 6—12 個ヲ用ヒ、或ハ滴 *Tropfen* トシテ 15—20 滴ヲ糖ニ滴下シテ 1 日 3—4 回食後ニ用ヒル。

III. 驅蟲劑 *Anthelminthica, Wurmmittel*

使用上ノ注意

寄生蟲中特ニ蟯蟲 *Bandwurm* ノ驅除ニ當リテハ、驅蟲劑ヲ投與スル前ニ豫メ準備行爲ヲナスガヨイ。即チ強キ下劑例ヘバ「ヒマシ」油 *Ricinus* 30,0 ヲ與ヘテ腸内容ヲ減少セシメ且食物トシテ鹽麩、葱、香料(「カラシ」、「コショウ」、「ワサビ」等) 等ノ如キモノヲ與ヘテ寄生蟲ニ不快ノ感ヲ與ヘルガヨイ。但シ全然空腹ニスルノハ、患者ヲ衰弱セシメ且中毒ノ危険ヲ高メルカラ、宜シクナイ。

翌日ニ輕キ粥食ヲ攝ラシメタル後、驅蟲劑ヲ與ヘ、嘔吐ヲ起サナイ爲ニ患者ヲシテ靜カニ水平位ニ臥セシメル。1—2 時間後ニ再ビ下劑ヲ與ヘル。コレハ有毒ナル薬ヲ再ビ排除シ且一度衰弱セル寄生蟲ヲシテ再ビ固着シナイヤウニスル爲デアル。下劑ハ便ヲ稀薄液狀トナラシムルヨリモ寧ろ粥狀トナラシメル程度ニ與ヘルガヨイ。即チ「ヒマシ」油、甘汞「ゼンナ」、硫苦等ヲ與ヘル。但シ綿馬根 *Extractum Filicis* ヲ用ユル際ニハ、「ヒマシ」油ヲ與ヘナイ。

1. 主トシテ蛔蟲驅除ニ用ヒラルル藥物

a. 「サントニン」 *Santonin*

「シナ」花 *Flores cinae* 中ニ存スル無水酸 *Säureanhydrid, C₁₅H₁₈O₃* デアル。元來ハ白色ナルモ、空氣ニ觸ルレバ黄色トナリテ作用ヲ失フ。コレ「サントニン」ニヨク類似セル同分異性體 *isomer* ナル *Chromosantonin* ヲ生ズル爲デアル。

「サントニン」ハ蛔蟲ヲ驅除スルモ、蛔蟲ニ對シテ特ニ有毒デハナイラシイ。即チ蛔蟲ハ、體外ニ排除セラレル時ニ尙生キテ居ル。故ニ「サントニン」ハ蛔蟲ヲ殺スモノデハナク、只小腸中ニ止マルヲ不快トナシ、之ヲ大腸ニ追ヒヤリ、ソレヨリ下劑ニヨリテ排除セラレルノデアル。

實驗的ニ、3/4% 「サントニン」酸「ナトリウム」ヲ含有スル「アルカリ」性食鹽溶液ヲ體温ニ温メ其中ニ蛔蟲ヲ入レテモ死ナナイ。只不安ニナリテ器物ヨリ外ニ逃ゲントスルノミデアル。

【副作用】 大量ノ「サントニン」ヲ與フル時ハ中毒ヲ起ス。吸收後ニ起ル最モ輕度ナル症狀ハ、色神 *Farbenwahrnehmung* ノ異常デアル。即チスベテノ物體ハ初メハ青色或ハ堇色ヲ帶ビ、後ニハ強黄色ニ見ユル。其第一期ハ速カニ過ギ去ルカラ、患者ハ往々之ヲ認知シナイガ、之ニ反シテ黃視症 *Xanthopsie* ハ長ク持續スル。

上記ノ彩視症 *Chromatopsie* ハ往々唯一ノ中毒症狀デアルガ、尙著シク大量ノ「サントニン」ガ吸收セラレル場合ニハ、多數ノ症狀ガ現ハレ得ル。即チ嘔吐、腹痛及ビ下痢、尿淋瀝 *Strangurie*、血尿 *Hämaturie*、意識消失及ビ遂ニハ各種ノ痙攣ヲ起ス。但シ斯ル事ハ極メテ稀デアル。

内服セシメタル「サントニン」ノ大部分ハ、不變ノママ糞便中ニ排出セラル。サレド多少ハ吸收セラレ、體內ニテ酸化セラレテ、腎臟ヨリ排出セラル。尿中ニテハ各種ノ化合物(*Oxysantonine, Santogenin*)ノ形ヲナシ、尿ニ深橙黄色或ハ黄綠色ヲ與ヘ、之ニ「アルカリ」ヲ加フレバ紫赤色ニ移

行スル。

「サントニン」ハ全然空虚ナル胃ニハ與ヘナイガ良イ。コレ酸性胃液ニ溶解シテ胃中ニ於テ吸收セラレ、以テ中毒ヲ起シ易イ故デアル。

【用量】「サントニン」Santoninum, 光輝アル白色ノ結晶性鱗片 kristallinsche Schuppen デ、水ニハ殆ンド不溶性、光ニ遇ヘバ黄色ニ變ズ。内用量ハ 1日 2—3回 0.1宛 1日量 0.3ヲ 2—3日間連用スル。通常極量ヲ用ヒナケレバ效ガナイ。小兒ニハ「サントニン」錠劑 Pastilli Santonini (0.02)又ハ散藥ヲ 1日 2回 1乃至 2錠宛 2日間與ヘタル後、下劑ヲ與フ。

下劑トシテハ「ヒマシ」油ヲ與ヘル。コレハ「サントニン」ヲ溶解シテ其吸收ヲ妨ゲ、驅蟲作用ヲ高メル。

b. 海人草 *Digenia simplex*

海人草又ハ海仁草、或ハ鵲鳩菜、「まくり」ハ一種ノ紅色藻ニシテ、本邦ニ於テ古ヨリ蛔蟲驅除劑トシテ用ヒラル、有效量ニテハ何等ノ副作用ヲ認メナイ。

【用量】 1日量 20.0ヲ煎劑トナシ、2—3日間連用スル。「センナ」等ノ下劑ヲ佐スルガヨイ。

2. 主トシテ十二指腸蟲驅除ニ用ヒラルル藥物

a. 「チモール」Thymol

「チモール」Thymol, Thymiankampfer ハ多數ノ植物、就中「チミアン」草 *Thymus vulgaris* ノ「エーテル」性油中ニ存シ、其芳香 Aroma ノ主ナル原因ヲナス。

「チモール」ハ Methyl-isopropyl-phenol デ、「フェノール」及ビ「クレゾール」Kresole ヨリモ消毒力が強イ。化膿菌 Eiterkokken ノ發育ハ 1:3000ノ溶液ニヨリテ妨ゲラル。

吸收後ノ作用 resorptive Wirkung ハ、「フェノール」及ビ「クレゾール」

ニ類似セルモ、「チモール」ハ痙攣ヲ起サナイデ、初メヨリ中樞神經系ニ對シテ麻痺作用ヲ呈スル。

毒性ハ「フェノール」ヨリモ弱イ。コレ難溶性デ、其爲ニ容易ニ吸收セラレナイ故デアル。局所作用 lokale Wirkung モ著シクナイ。健康ナ皮膚ハ侵サレズ、粘膜モ深キ腐蝕 Ätzung ヲ呈セズ、只表面的ニ上皮ガ剝離 abstossen スルノミデアル。

【應用】 十二指腸蟲 *Anchylostomum duodenale* ノ驅除劑トシテ推奨セラレ、稀ニハ蟯蟲ニモ用ヒラル。無害デアル。只時トシテ不快ナル副作用(丘疹性 papulös 或ハ猩紅熱類似ノ發疹、嘔吐、腹痛、一時性蛋白尿、輕度ノ虚脱症狀)ヲ見ル事アルモ、危険デハナイ。

サレド貧血患者ニ 6g ヲ與ヘタル後ニ死シタル例ガアルカラ、注意スル必要ガアル。

【用量】「チモール」Thymolum, Methylisopropylphenol, $C_6H_3 \cdot CH_3(C_3H_7)OH$ 大ナル無色ノ六面結晶デ、佳キ香ヲ有シ、50—51°ニテ融解シ、1100倍ノ冷水ニ溶解スル。

内用ニハ 1回量 1.0—2.0ヲ「オブラート」ニ包ミテ用ユ。小兒ニハ 1回 0.2—0.5ヲ膠囊ニ入レテ早朝服用セシメ、後「ヒマシ」油ヲ與フ。之ヲ隔日ニ行ヒ、蟲卵ヲ認メザルニ至リテ止ム。

處方例 「チモール」 2.0

以上爲 1包量、2包ヲ與フ。2時間ノ間ヲ置キ「オブラート」ニ包ミテ一包宛服用セシメ、2時間ノ後ニ下劑ヲ與フ(前日及ビ當日ハ粥食トス)。

b. 「ヘノボチ」油 *Oleum Chenopodii*

十二指腸、蟯蟲、絛蟲ニ用ヒラル。恰モ「サントニン」ノ如ク蟲ノ筋肉ヲ興奮スル作用ヲ有ス。有效成分ハ、「アスカリドール」Ascaridol $C_{10}H_{16}O_2$ デアルト見做サル。通常用量ニテハ危険ハナイ。

但シ非常ニ大量ナレバ胃腸ノ刺戟、耳鳴り、難聴、昏睡 Koma 及ビ痙攣ノ下ニ死スル事ガアル。

【用量】「ヘノボチ」油(「ネマトール」Nematol) Oleum Chenopodii anthelmintici, 無色或ハ黄色ノ油デ、「カムフル」ノ如キ臭氣ト不快ナル苦味トヲ有ス。内用量ハ、大人ノ十二指腸蟲ニ對シテハ、10—15 滴ヲ膠囊ニ入レ(又ハ糖ニ滴下シテ)2 時間ノ間ヲ置キテ2 回乃至3 回内用セシメ、其後2 時間ニシテ硫酸「マグネシウム」或ハ硫酸「ナトリウム」ヲ與ヘル。4 歳ノ小兒ニハ3 滴、6 歳ニハ4½ 滴、8 歳ニハ6 滴、10 歳ニハ9 滴ヲ與ヘ、2 時間後ニ「ヒマシ」油、複方甘草散 Pulv. Liquirit. comp. 或ハ苦土大黃散 Pulv. Magnes. c. Rheo ヲ與ヘル。3 時間ノ後ニ多量ノ排便ガナケレバ更ニ下劑ヲ與フ。「ネマトール」球(三共)ハ一個0.3 ヲ含ム。

3. 主トシテ縲蟲驅除ニ用ヒラルル藥物

a. 綿馬根 Rhizoma Filicis

縲蟲ニ對シテ最モ確實ニ作用スル藥劑デアアル。其有效成分ハ綿馬酸 Filixsäure (Filicin), $C_{35}H_{38}O_{12}$ デアル。又「フィルマロン」Filmaron ナル有效成分ヲ分離シタ者モアル。

【作用】綿馬越幾斯ノ縲蟲ニ對スル作用ハ、恐ラク縲蟲ノ筋肉ガ之ガ爲ニ麻痺スルニヨル。

綿馬「エキス」ハ、以前ハ人ニ對シテハ無害ナリトセラレタルモ、大量ヲ使用スル時ハ中毒ヲ起シ、或ル場合ニハ死スル事サヘモアル。

中毒トシテハ、消化管ノ刺戟症狀、即チ悪心・嘔吐・腹痛及ビ下痢、時トシテハ中樞神経系ノ重篤ナル症狀、即チ昏聩 Benommenheit・人事不省ノ發作 Ohnmachtsanfälle・意識消失・痙攣ヲ見ル。此他心臟衰弱及ビ呼吸淺在、「チアノーゼ」、黃疸、往々蛋白尿ヲ伴フ。又或ル場合ハ一時的ノ視力減退ガアツテ眼底ニ解剖的變化ヲ伴ハナイカ、或ハ視神經萎縮 Optikusatrophy ヲ伴ヘル永久的盲目ヲ起ス。

サレド通常用量(8—10g)ニテハ、多クノ場合ニ何等ノ障礙ヲモ起サナイ。中毒ノ原因ハ、患者ガ既ニ衰弱シテ居タカ、或ハ有效成分ガ或ル未知ノ状態ノ下ニ多量ニ吸収セラレル爲デアアル。此他綿馬「エキス」ナル製劑ノ效力ハ一定セズ、其有效成分ノ量ハ植物ノ産地又ハ「エキス」ノ新舊ニヨリテ差異ガアル事モ不利益デアアル。

本療法ヲ行フニ當リテハ、アマリ嚴格ナル豫準行爲ヲ行ハズ、且1—2 時間後ニ下劑ヲ與ヘテ「エキス」ヲ根本的ニ排除スルガヨイ。從來ノ經驗ニヨルニ、中毒ノ同時或ハ其後ニ「ヒマシ」油ヲ用ヒタル際ニ屢々見ラレタ。夫故ニ下劑トシテハ他ノモノ、例ヘバ甘汞、「ゼンナ」葉浸、硫苦或ハ芒硝ヲ用ヒルガヨイ。脂肪油ノ有害ナル理ハ、恐ラク速カニ排除セラレナイ爲ニ、有毒ナル酸ガ吸収セラレ易イ故デアアル。

【禁忌】非常ニ體力ノ衰ヘタル者、胃潰瘍(胃粘膜ニ對スル局所作用アル爲)及ビ妊娠者ニハ與ヘヌガヨイ。肝臟及ビ心臟病ニモ大ナル注意ヲ要スル。

若シ療法ガ失敗ニ終リタラバ、二三週ノ後ニ初メテ之ヲ反覆スルガヨイ。又綿馬「エキス」ハ、瓶中ヨリ秤取スル際、之ヲ振盪攪拌シナケレバナラナイ。コレ析出セル結晶性酸ガ底面ニ沈ムカラデアアル。

【用量】綿馬「エキス」Extractum Filicis, Filixextract 「エーテル」性「エキス」デ、暗綠色ノ粘稠ナル油ノ外觀ヲ呈ス。

内用量ハ大人ニハ8.0—10.0 ヲ膠囊ニ入レテ、2—3 回ニ分チ1—1½ 時間内ニ服用セシメル。1 回及ビ1 日ノ極量ハ100 デアル。

小兒ニハ1.0—5.0 或ハ、年齢數ニ付0.5 ヲ與ヘル。1 時間後ニ甘汞0.5 或ハ「ゼンナ」葉浸或ハ鹽類下劑ヲ與フ。「ヒマシ」油ハ用ヒナイ。

【中毒ノ療法】トシテハ、胃腸ヨリ排出シ、且主トシテ驅蟲劑ヲ用ヒテ症候的ニ治療スル。特ニ「カムフル」注射ヲ行フ。

b. 「コソ」花 Flores Koso

「コソ」花ハ多數ノ物質ヲ含有スルモ、就中最モ重要ナルハ無晶形 amorph ナル「コソトキシシ」Kosotoxin, $C_{36}H_{34}O_{10}$ デアル。

「コソトキシシ」モ亦、恰モ綿馬酸 Filixsäure ノ如ク、下等動物ニ對スル著シキ筋肉毒 Muskelgift デアル。恐ラク之ガ爲ニ驅蟲作用ガアルノデアル。

「コソ」花ノ作用ハ、生藥 Droge ノ性質ニ關スル事頗ル大デアル。新鮮ナル赤色ノモノハ作用ガ確實デアル。之ニ反シ褐色ヲ呈セル古キ「コソ」花ニアリテハ、有效成分ガ分解セルガ故ニ、使用シテモ無効デアル。

不快ナル副作用トシテ、往々悪心及ビ嘔吐ヲ見ル事アルモ、綿馬「エキシ」ノ使用後ニ見ラル、如キ重篤ナル中毒作用ヲ見ル事ハ稀デアル。

【用量】「コソ」花 Flores Koso, Kosoblätter. 良品ハ萼片 Kelchblätter ガ紫赤色ヲ呈スル。

内用量ハ、大人ニ對シテハ 15,0—25,0 小兒ニハ 10,0 散藥トナシ水ト共ニ攪拌シテ 1—2 時間内ニ服用シ、後ニ下劑ヲ與フ。

c. 「カマラ」Kamala

Mallotus philippinensis (琉球ニ産スル「くすのはがしは」)ノ果實ノ表皮ニ發生セル腺及ビ毛茸ヲ採集セルモノデアル。

良キ「カマラ」ハ縲蟲ニ對シテ確實ニ作用スル。然カモ緩和ナル藥劑デ不快ナル臭又ハ味ヲ有シナイカラ、小兒又ハ衰弱者ニモ用ヒラル。一般ニ強キ作用ヲ有スル綿馬「エキシ」ヲ避ケタキ場合ニ適スル。有效成分ハ恐ラク小板狀ニ結晶セル赤黄色ノ樹脂様ノ「ロットレリン」Rottlerin $C_{33}H_{30}O_9$ デアル。

其作用ハ綿馬酸ニ類似スル。又「カマラ」ハ弱キ瀉下作用アルヲ以テ、多クハ後ニ下劑ヲ用フル事ヲ要シナイ。

【用量】「カマラ」Kamala, 赤色ノ粉末デアル。内用量ハ、大人ニハ 6,0—12,0

ヲ 2—3 回ニ分チテ 30 分毎ニ服用セシム。5 歳以下ノ小兒ニハ 1,0—2,0 ヲレヨリ大キイ小兒ニハ 3,0—5,0 ヲ用ヒル。

處方例 「カマラ」 8,0

分 3 包, 1 時間内ニ服用

d 柘榴根皮 Cortex Granati

四種ノ「アルカロイド」ヲ含ミ、其中最モ良ク知ラルルハ「ペルレチエリン」Pelletierin デアル。此モノハ縲蟲ニ對スル特異ノ毒物 spezifisches Gift デアル。

縲蟲ノミニ對シテ用ヒラレ、生藥 Droge ガ新鮮ナル時ハ、作用ハ確實デアル。サレド鞣酸含量ノ大(約 22%)ナル爲ニ、往々悪心及ビ嘔吐ヲ起ス事ガアル。斯ル際ニハ臥床セシメ氷塊ヲ與ヘルガヨイ。

【用量】柘榴根皮 Cortex Granati, Granatrinde. 内用ニハ新鮮ナル柘榴根皮ハ 30,0—50,0, 舊キモノハ 50,0—100,0 ヲ煎劑トナシテ 2—3 回ニ分チテ 1 時間内ニ用ヒ、1—2 時間後ニ下劑(「ヒマシ」油以外ノモノ)ヲ與フ。

M. 皮膚及粘膜ニ作用スル藥物

I. 消毒劑 Antiseptika

1. 石炭酸及「サリチル」酸類(芳香列ノ消毒劑 Antiseptika der aromatischen Reihe)

一般的事項

簡單ナル「ベンゾール」化合物 Benzolverbindungen ノ生體ニ對スル作用ニハ共通ナ點ガアル。即チ何レモ(1)消毒作用 antiseptische Wirkung, (2)解熱作用 antipyretische Wirkung, 及ビ(3)中樞神經系 Zentralnervensystem ヲ麻痺 lähmen セシムル作用ヲ有ス。

就中最モ顯著ナルハ防腐又ハ消毒作用 antiseptische oder desinfizierende Wirkung デアル。即チ可溶性芳香化合物 lösliche aromatische Verbindungen ハ典型的ナ原形質ニ對スル毒物 Protoplasmagift デアツテ、頗ル稀薄ナル状態ニ於テ既ニ細菌 Bakterien ノ發育ヲ妨止シ、濃厚ナレバスベテノ微生物ヲ死滅セシメル。故ニ其中ノ或ルモノハ防腐劑 Antiseptica 又ハ消毒藥 Desinfektionsmittel トシテ廣ク使用セラル。

次ニ多數ノ芳香化合物ハ、虚脱 Kollaps ヲ起サナイ程ノ量デハ健康者ノ體温ニ對シテハアマリ影響シナイガ、發熱ヲバ下降セシメル作用ガアル。此解熱作用ハ恐ラク「アンチピリン」ト同様ノ作用ニ歸因スルラシイ。

最後ニ芳香屬ニ屬スル神經毒 aromatische Nervengifte ノ中樞神經系ニ對スル麻痺作用ハ、脂肪列ノ麻醉劑ト異ナリ、初メニ腦及ビ脊髄ノ刺戟・反射亢進・震顫 Tremor 及ビ痙攣 Krämpfe ヲ見、後ニナツテ初メテ麻痺症狀 Lähmungssymptome ガ現ハレル。而シテ意識ハ濁濁スルカ或ハ消失シテ、麻醉 Narkose ノ状態ニ移行スル。サレド此際ニハ、「エーテル」又ハ「クロロフォルム」麻醉ト異ナリテ、知覺 Sensibilität ハ長イ間保タレ、且隨意運動 willkürliche Bewegungen ヲ行ヒ得。而シテ遂ニ延髄及ビ心臓ノ麻痺ニヨリテ死スル。

此他種々ナル副作用 Nebenwirkungen ヲ呈スル。例ヘバ強キ還元劑 Reduktionsmittel ナル「ピロガロール」Pyrogallol ノ如キモノハ體內ニテ赤血球ヲ破壊シ「メトヘモグロビン」Methämoglobin ヲ生成スル。

又低級ノ「フェノール」niedere Phenole 及ビ之ニ類似セル化合物ハ強キ腐蝕作用 Ätzwirkung ヲ有シ、爲ニ胃腸ノ症狀ヲ呈シ、其中毒状態ハ往々濃厚ナル酸又ハ腐蝕性金屬鹽ニヨリテ起レル場合ト區別シ得ナイ。斯ノ如キ芳香體ハ多クハ排出セラレル時ニ腎臟ヲ刺戟スル。

【體內ニ於ケル運命】 芳香體ノ「ベンゾール」環 Benzolring ハ殆ソド常ニ其

マ、體內ヲ通過シテ、腎臟ヨリ排出セラル。而シテ「フェノール」ハ「グリクロン」酸 Glykuronsäure 或ハ硫酸ト複合シテ「エーテル」硫酸 Ätherschwefelsäure トシテ尿中ニ排出セラレ、又酸ハ通常「グリコロール」Glykokoll ト複合 paaren シテ所謂 ur-Säuren トシテ排出セラル。例ヘバ安息香酸 Benzoessäure ハ馬尿酸 Hippursäure トシテ、又「ザリチル」酸ハ「ザリチルール」酸 Salicylursäure トシテ排出セラレル。此合成ハ腎臟ニ於テ行ハル。サレド「エーテル」硫酸ハ何處ニテ發生スルヤ未ダ明カデナイ。複合硫酸 gepaarte Schwefelsäure ノ形チニテ排出セラレル。「フェノール」ハ、酵索性分解 fermentative Spaltungen ヲ受ケテ著色性化合物ニ酸化セラレ、爲ニ尿ハ暗色ノ外觀ヲ呈ス(石炭酸尿 Karbolurin)。

a. 「ベンゾール」Benzol 及「ナフタリン」Naphthalin

「ベンゾール」及ビ「ナフタリン」ハ共ニ芳香性炭化水素 aromatische Kohlenwasserstoffe ニ屬スル。

「ベンゾール」Benzol oder Steinkohlenteerbenzin:

(脂肪列 Fettreihe ノ炭化水素ヨリ成レル石油「ベンゼン」Petroleumbenzin ト誤ツテハナラヌ)。

此モノハ防腐作用ヲ有シ、多數ノ下等動物ニ對シテ強毒デアル。

白血病 Leukämie ノ際ニ於ケル應用ニ就テハ 282 頁參照。

「ナフタリン」Naphthalin, C₁₀H₈:

二個ノ「ベンゾール」環ノ結合ヨリ成リ、多數有機物ノ乾餾 trockene Destillation ノ際ニ生ジ、石炭「テール」Steinkohlenteer 中ニ多量ニ存ス。

下等動物及ビ昆蟲(蚊、南京蟲等)ニ對シテ強毒デアルガ、高等動物ニ對シテハ毒性ガ渺ナイ。

僅少量ハ腸管ヨリ吸收セラル、モ、大部分ハ不變ノマ、腸中ヲ通過シ、其際微生物及ビ動物性寄生物ヲ死滅セシム。吸收セラレル部分ハ排出セラル、際ニ、局所ヲ刺戟シテ蛋白尿、「テネスムス」、竝ビニ腎臟及ビ膀胱ニ疼痛ヲ起ス。

稀ニ皮膚ノ動物性寄生蟲ニ對シテ用ヒラル。

無色ノ光輝アル板デ、「フェール」様ノ臭氣及ビ燒クガ如キ味ヲ有ス。

b. 「フェノール」 Phenol (石炭酸 Karbolsäure)

「ベンゾール」 Benzol 或ハ他ノ芳香性炭化水素 aromatische Kohlenwasserstoffe 中ニ於テ、「ベンゾール」環 Benzolring 中ノ水素ノ位置ニ水酸基 Hydroxyl ガ入ル時ハ所謂「フェノール」ヲ生ズ。其最も重要ナルモノハ C_6O_5OH デアル。此モノハ化學的意味ニ於ケル酸デハナイガ、然シ通常石炭酸 Karbolsäure ト呼バル。

【作用】 石炭酸或ハ「フェノール」ハーツノ原形質ニ對スル毒物 Protoplasmagift デアル。而シテ稀薄状態ニアリテハ微生物ノ發育ヲ妨止シ、濃度ガ高キ時ハスベテノ微生物ヲ死滅セシム。サレド其作用ハ他ノ消毒劑、例ヘバ昇汞 Sublimat ヨリモ弱イ。又「フェノール」ハスベテノ微生物 Mikroorganismen ニ對シテ同様な毒性ヲ呈スルモノデハナイ。種類ニヨリテ作用ニ差異ガアル。即チ細菌 Bakterien ニ對スルヨリモ原蟲 Protozoen ニ對シテ強ク作用スル。又其作用ハ發育期 Entwicklungsstadium ニヨリテモ異ナル。即チ盛ニ繁殖セル形 vegetierende Formen ニ對シテハ、芽胞 Sporen 又ハ休止期 Ruheformen ニ對スルヨリモ強キ影響ヲ與ヘル。コレ芽胞又ハ休止期ノモノハ厚キ膜ニテ保護サレテ居ル故デアル。

通常ノ連鎖状球菌 Streptokokken 及ビ葡萄状球菌 Staphylokokken ハ、1:800 ノ溶液中ニ就テハ 24 時間ノ經過中ニ死スル。

次ニ「フェノール」ハ腐蝕性 ätzend 及ビ局部麻醉性 lokalanästhesierend ノ作用ガアル。濃厚ナル石炭酸ヲ皮膚ニ作用セシムル時ハ一時疼痛ヲ感じタル後、不感受性 Unempfindlichkeit トナル。此際白色ノ痂皮 Schorf ヲ生ジ、後ニハ赤色トナリ、剝離シテ色素斑 pigmentierte Flecke ヲ殘ス。

稀薄ナル溶液ニテモ、之ヲ罨法 Umschläge トシテ長イ間皮膚ト接觸

セシムル時ハ、深部ニ及ブ所ノ乾性壞疽 trockne Gangrän ヲ生ズル。コレ「フェノール」ハ容易ニ皮膚ヲ通過スル故デアル。

創面 Wundfläche 及ビ粘膜炎ニ對シテハ、皮膚ニ對スルヨリモ著明ナル腐蝕作用 Ätzwirkung ヲ呈シ、而シテ蛋白ヨリ成レル白色ノ痂皮 Schorf ヲ生ズル。

濃厚ナル(90%)溶液ヲ胃中ニ攝取スル時ハ、忽チニシテ胃粘膜炎ハ壞死 Nekrose ニ陥ル。其狀恰モ濃厚ナル鹽酸中毒ノ際ノヤウデアム。

全身作用 Allgemeinwirkung トシテハ、主トシテ中樞神經系 Zentralnervensystem ヲ侵ス。即チ中等量(1—2g)ヲ攝取シタル後ニハ昏睡 Benommenheit ニ陥リ、時トシテ譫妄 Delirien ヲ伴ヒ、耳鳴リ Ohrensausen 及ビ難聴 Schwerhörigkeit、著シキ倦怠ヲ覺ヘ、脈搏ハ緩徐トナリ、往々多量ノ發汗及ビ流唾ヲ起シ、此際時トシテ發熱シ、往々體温ハ少シク下降スル。

大量ナレバ、豫メ酩酊 Rausch ヲ伴フカ或ハ伴フ事ナシニ、速カニ虚脱 Kollaps ニ陥リ、呼吸麻痺 Respirationslähmung ニヨリテ死スル。

純粹ナル石炭酸ヲ内服スル時ハ、胃ノ腐蝕 Magenätzung ノ爲ニ「ショック」Chock ヲ起シ、忽チ虚脱ニ陥リ、時トシテ數分ニシテ死スル(反射的心臟停止 reflektorischer Herzstillstand?)。

致死量ハ 8—10g 以上デ、通常 15—30g デアル。小兒ハ感受性が強イ。

石炭酸ハ、人ニアリテハ、動物ト異ナリテ、殆ンド常ニ痙攣 Krampf ヲ起サナイ。此點ハ芳香性物質 aromatische Substanzen ニ定型的ナ病狀ト異ナル。

此他ノ器官ニ對シテハ、腎臟 Niere ヲ刺戟スル以外ニハ著明ナ作用ヲ呈シナイ。體內ニテハ「メトヘモグロビン」ヲ形成シナイ。

【吸收及排出】 健康ナ皮膚、粘膜炎又ハ創面 Wundfläche ヨリ頗ル容易ニ吸收セラル。

其大部分ハ不變ノマ、硫酸及ビ「グリクロン」酸ト結合シ、其等ノ複合酸 gepaarte Säuren ノ「アルカリ」鹽トシテ排出セラル。其少部分ハ「デオキシベンゾール」Dioxybenzol、大部分ハ「ヒドロキノ」Hydrochinon = 酸化セラレ、「ヒドロキノ」硫酸 Hydrochinonschwefelsäure トシテ尿中ニ現ハレル。此モノハ頗ル不安定ナ化合物デ、容易ニ分解シテ、尙モ酸化セラレ、其産物ハ尿ニ褐綠色又ハ黑色ヲ與フ。

「グリクロン」酸化合物ハ、尿ニ還元性ヲ與フルヲ以テ、検尿ノ際ニ糖ト誤マラレ易イカラ、注意シナケレバナラナイ。

【應用】消毒劑 Antiseptikum トシテ、室又ハ物體ノ消毒 Desinfektion ニ用ヒラル。此目的ニハ値段ノ關係ヨリ、多クハ「フェノール」及「クレゾール」等ノ混合ヨリナル粗製品ヲ使用ス。

外用トシテハ、知覺麻酔作用アルガ故ニ、濃厚状態ニ於テ歯痛 Zahnschmerzen ニ用ヒラレ、又鼓膜 Trommelfell ニ對スル局所麻酔劑 Lokalanästhetikum トシテ、石炭酸ノ20%「グリセリン」溶液ヲ用ヒル事ガアル。此際「グリセリン」ハ腐蝕作用 ätzende Wirkung ヲ止ムル效ガアル。此他皮膚ノ瘙癢 Hautjucken ニ對シテ用ヒラル（鎮痒劑ノ部 443 頁參照）。

腐敗性氣管枝炎 putride Bronchitis 及ビ肺壞疽 Lungengangrän ノ際ニ於ケル吸入 Inhalation トシテノ應用ニ就テハ 190 頁參照。

【用量】石炭酸 Acidum carbolicum, Karbolsäure, (「フェノール」Phenolum) C₆H₅OH 石炭「テール」Steinkohlenteer ヨリ得タル通常ノ製劑ハ無色或ハ赤色ノ結晶ヲナシ、約 40°ニテ融解ス。15 倍ノ水ニ溶解シ、貫通性ノ臭氣ヲ有ス。消毒ノ目的ニハ 5%ノ溶液ヲ用フ。昇汞ノ如ク強ク蛋白及ビ金屬ニ作用シナイ。

處方例	1) 石炭酸	5,0
	蒸餾水	95,0
	以上器械消毒料	
	2) 石炭酸	0,05

蒸餾水(煮沸滅菌) 10,0

以上結膜下注射料(鎮痛)

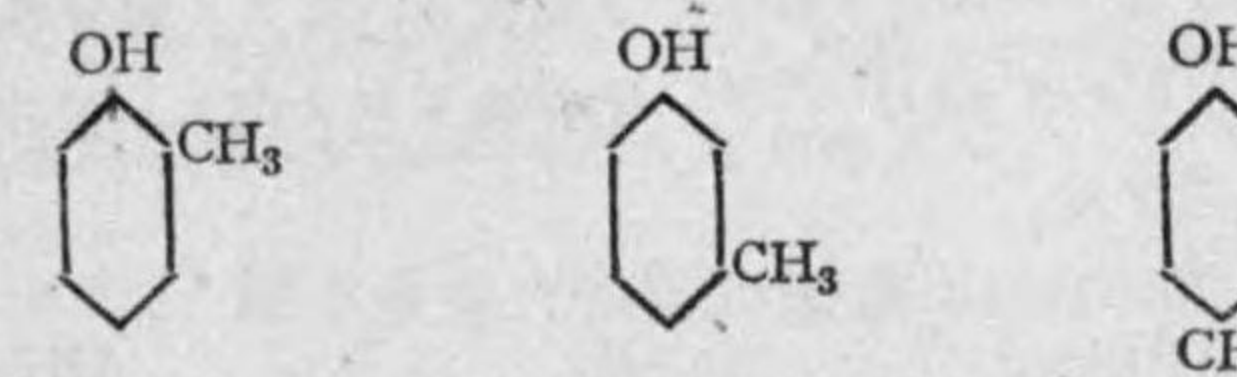
流動石炭酸 Acidum carbolicum liquefactum 9 部ノ石炭酸ト 1 部ノ水トノ溶液デ、無色或ハ赤色ノ濃厚ナル液體デア。之ニ水ヲ加フレバ乳白色ノ乳劑 Emulsion ヲ生ズルモ、「フェノール」ノ含量ガ 5—6% トナレバ再ビ溶液トナル。

石炭酸水 Aqua carbolisata 2%ノ石炭酸ヲ含有ス。

防疫用石炭酸水 Aqua carbolisata pro desinfectione 防疫用石炭酸 3、普通食鹽 5、常水 92 ヨリナル。兩便、吐瀉物其他ノ排泄物ヲ消毒スルニハ、同容量ヲ加ヘテヨク攪拌シタル後、2 時間以上放置シ、器具室内等ヲ消毒スルニハ擦拭又ハ撒布シ、又衣類ヲ消毒スルニハ 2 時間以上浸漬スルガヨイ。

c. 「クレゾール」Kresole.

「クレゾール」ニハ、OH 基ト CH₃ トノ位置ノ關係ニヨリテ、「オルト」Ortho-、「メタ」Meta-及ビ「パラクレゾール」Parakresol ヲ區別ス。



「オルトクレゾール」「メタクレゾール」「パラクレゾール」

【作用】「クレゾール」ノ作用ハ石炭酸ト同様デア。其消毒力ハ石炭酸ニ優リ、就中「メタクレゾール」ガ最モ有效デア。局所作用トシテハ健康ナル皮膚ニ白色ノ腐蝕斑 Ättschorf ヲ形成シ、又之ヲ内用スレバ口腔・咽頭及ビ胃ニ對シテ危険ナル腐蝕作用ヲ呈ス。

吸收後ノ作用モ亦石炭酸ニ同ジ。

【應用】消毒藥 Desinfektionsmittel トシテ石炭酸ト同様ニ使用セラル。

「クレゾール」ハ石炭酸ヨリモ水ニ溶解シ難キガ故ニ、之ニ「アルカリ」石鹼 Alkaliseife ヲ加ヘテ溶解シ易クシテ、例ヘバ「リゾール」Lysol ナル

名ニ於テ販賣セラル。サレドモ現今ハ多ク加里石鹼 Kaliseife ト粗製「クレゾール」Rohkresole ヨリナレル「クレゾール」石鹼液 Liquor Kresoli saponatus ヲ使用ス。

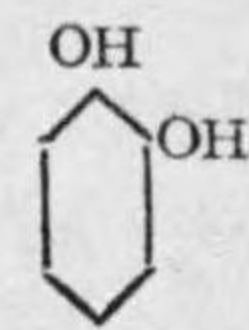
【用量】粗製「クレゾール」Cresolum crudum 黄褐色澄明ノ液體デア。ル。「クレゾール」石鹼液 Liquor Kresoli saponatus 加里石鹼 Kaliseife ト粗製「クレゾール」トノ同量ヲ温メテ製シタルモノデア。ル。「テール」及ビ「クレゾール」ノ臭氣ヲ有スル褐色ノ液體デ、水ニハ透明ニ溶解スル。器械又ハ手ノ消毒ニハ 1/4—2 % 溶液ヲ用フ。

「リゾール」Lysolum 同上。

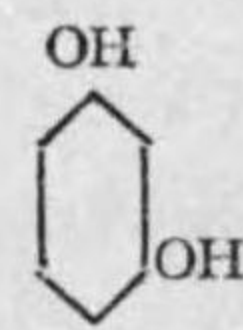
「クレゾール」水 Aqua cresolica 「クレゾール」石鹼液 6 分、水 94 分ヨリ成ル。各種物件ノ消毒ニ適ス。其用量及ビ應用ハ石炭酸水ニ同ジ。

d. 「レゾルチン」Resorcin

二價ノ「フェノール」zweiwertige Phenole, 即チ「デオキシベンゾール」Dioxybenzole ハ、「クレゾール」Kresole ト同様ニ、三ツノ同分異性 isomer ノ形ヲ、即チ「オルト」、「メタ」及ビ「パラ」化合物トシテ存ス。就中「メタ」化合物ハ「レゾルチン」デア。ル。



「ブレンツカテヒン」
Brenzkatechin
(「オルト」)



「レゾルチン」
Resorcin
(「メタ」)



「ヒドロヒノン」
Hydrochinon
(「パラ」)

此三ツノモノノ作用ハ大體石炭酸ニ同ジ。只 OH 基ノ位置ニ從ヒテ量的差異 quantitative Unterschiede アルノミデア。ル。

就中「レゾルチン」ハ他ノ二者ヨリモ毒性ガ少ナイ。故ニ此モノノミ藥劑トシテ使用セラル。

「ブレンツカテヒン」ハ「メチルエステル」トシテ「クレオソート」Kresot

ノ成分ヲナス(192 頁参照)。又「ヒドロヒノン」ハ「ウウルシ」葉 Folia Uvae Ursi (356 頁参照) 中ニ含有セラル。「アルブチン」Arbutin ナル「グリコジツド」ノ分解ニヨリテ生ズルヲ以テ間接ニ應用セラル。ノミ。

「レゾルチン」Resorcin ハ、石炭酸ヨリモ寧ろ消毒力ガ強く、然カモ腐蝕性少ク、毒性モ弱イ。

外用トシテ皮膚病(脂漏 Seborrhoe, 魚鱗癬 Ichthyosis, 禿頭症 Alopecia) ニ用ヒラレ、又鎮痛劑トシテモ用ヒラル。

腸管防腐劑トシテノ應用ニ就テハ、242 頁参照。

【製劑】「レゾルチン」Resorcinum, $C_6H_4(OH)_2$ 無色ノ板 Tafel 或ハ稜形體 Prismen デ、甘味ヲ有シ、スベテノ通常ノ溶劑ニ容易ニ溶解スル。

e. 「ピロガロール」Pyrogallol(焦性沒食子酸)

三價ノ「フェノール」dreiwertige Phenole 中用ヒラル。モノハ「ピロガロール」ノミデア。ル。此モノハ水溶液ヲ空中ニ放置スレバ、酸性反應ヲ呈スルヲ以テ往々焦性沒食子酸 Pyrogallussäure トモ呼バル。

「ピロガロール」ノ最モ重要ナ性質ハ酸素 Sauerstoff ニ對シテ強キ親和力 Affinität ヲ有スル事デア。ル。即チ通常ノ溫度ニテ銀鹽 Silbersalze ヲ金屬銀ニ還元 reduzieren スル。又瓦斯分析 Gasanalyse ノ際ニ酸素ノ吸收劑 Absorptionsmittel トシテ使用セラル。

體內ニ於テハ、主トシテ血液ニ對スル毒 Blutgift トシテ作用スル。即チ血液ハ「チョコレート」色ヲ呈シ、「ヘモグロビン」及ビ「メトヘモグロビン」尿ヲ出シ、急性腎臟炎ヲ起シテ、蛋白尿ヲ伴ヒ、無尿 Anurie ヲ見、尿毒症 Urämie ノ狀ヲ呈ス。

此他臨床上ノ症狀トシテハ、下痢及ビ嘔吐、黄疸、惡寒、纖維性筋肉攣縮 fibrilläre Muskelzuckungen ヲ見ル。皮膚ヨリモ吸收セラル。皮膚病(乾癬 Psoriasis 并ビニ其他ノ寄生性皮膚病)ニ用ヒラル。

【製劑】「ピロガロール」(焦性没食子酸) Pyrogallolum, Acidum pyrogallicum, $C_6H_3(OH)_3$ 無色ノ光輝アル輕キ小板又ハ針狀ヲナシ, 水及ビ「アルコール」ニ容易ニ溶解スル。外用トシテ, 乾癬 Psoriasis 及ビ狼瘡 Lupus ニハ 5—10%ノ軟膏 Salbe, 寄生性皮膚病ニハ 1—2%「アルコール」溶液ヲ用フ。

f. 「クリザロビン」 Chrysarobin

「クリザロビン」ハ「アントラセン」 Anthracen, $C_{14}H_{10}$ ナル炭化水素ノ多數誘導體ノ混合物デアツテ, ブラジルニ産スル Leguminose ニ屬スル Andira Araroba ナル樹木ノ大ナル空高中ニ充滿セル黃褐色物ナル所謂「ゴア」末 Goapulver ノ有效成分デアル。

「クリザロビン」ハ, 化學的并ビニ藥理學的ニ「ピロガロール」ニ類似シテ居ル。即チ「アルカリ」ノ存在ニ於テ酸素ヲ攝取シ「クリゾファン」酸 Chrysophansäure ニ移行スル。

皮膚并ビニ粘膜ニ對シテ刺戟作用ヲ呈シ, 紅斑 Erytheme (稀ニ膿疱 Pustel) ヲ生ジ發熱ヲ伴フ。之ヲ眼ニ入ルル時ハ, 強キ炎症ヲ起シ角膜濁 Hornhauttrübung ヲ起ス。

皮膚ヨリ容易ニ吸收セラレ, 尿中ニハ, 一部ハ「クリゾファン」酸トシテ(恰モ大黃ヲ使用シタル後ノ如ク, 尿ニ加里滲汁或ハ「アムモニア」ヲ加フレバ赤色ヲ呈ス), 又一部ハ未知ノ物質トシテ排出セラレ, 腎臟ヲ刺戟シテ, 蛋白尿ヲ起ス。

内用スレバ, 數cgニテモ嘔吐及ビ下痢ヲ起シ, 大量ナレバ腎臟ノ疼痛及ビ血尿 Hämaturie ヲ起ス。

【應用】主トシテ乾癬 Psoriasis ニ對シテ用ヒラル, 又其他ノ種々ナル寄生性皮膚病 parasitäre Hautkrankheiten(例ヘバ白癬 Herpes tonsurans, 頑癬 Ekzema marginatum,) 癩風 Pityriasis versicolor)ニ用ヒラル。

【製劑】「クリザロビン」 Chrysarobinum (精製「ゴア」末) $C_{30}H_{26}O_7$ (粗「ゴア」末 Goapulver)ヲ精製シタルモノデ, 黃色ノ輕キ結晶性粉末デアル。水

ニハ殆ンド不溶性デアル。外用ニハ 1—10% 軟膏 Salbe トシ, 又ハ 10% 「コロヂウム」 Kolloidium 或ハ 5—10% 「ゲラチン」トシテ用ヒラル。

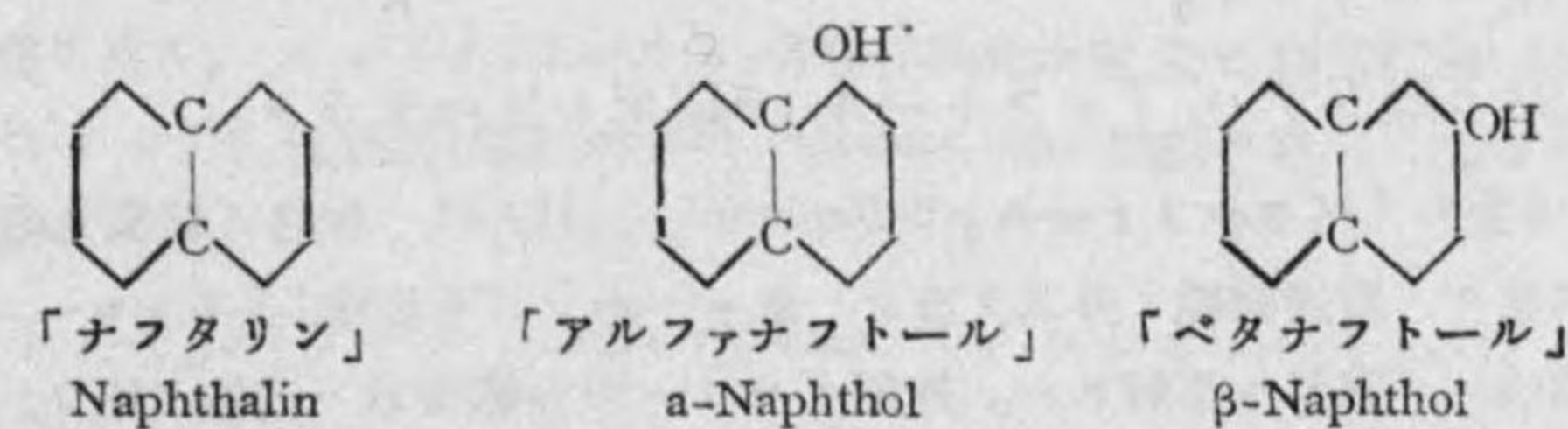
處方例 「クリザロビン」 Chrysarobin 10,0
「トラウマチチン」 Traumaticin 100,0

以上混和(「クロザロビン・トラウマチチン」)(白癬)

但シ「トラウマチチン」ハ, 「クロ、フォルム」 Chloroform 10,0 「グッタペルカ Guttapercha 100,0 ヨリ成ル。

g. 「ナフトール」 Naphthol.

「ナフトール」ハ, 恰モ「ベンゾール」ヨリ石炭酸ヲ生ズルト同様ニ, 炭化水素タル「ナフタリン」 Naphthalin ノ水素原子ヲ水酸基 Hydroxyl ニテ置換シテ生ジタルモノデアル。而シテ此場合ニハ OH ノ位置ニ從ヒテ二種ノ「ナフトール」ヲ生ズ:



就中「ベタナフトール」ハ往々單ニ「ナフトール」 Naphthol ト稱セラレ, 醫藥ニ使用セラレ。

【作用】「ナフトール」ノ作用ハ, 大體ニ於テ「フェノール」列 Phenolreihe ノスベテノ物質ト同様デアル。其蒸氣或ハ稀薄溶液ハ粘膜ヲ刺戟シ, 濃厚ナル溶液ハ皮膚ヲモ刺戟シ, 長ク使用スレバ表面ヲ腐蝕 ätzen シ且壞死 Nekrose ニ陥ラシム。

殺菌作用 bakterizide Wirkungen ハ石炭酸ヨリモ強イ。

吸收セラルル時ハ, 多數ノ小動物ニアリテハ激甚ナル痙攣 Krämpfe ヲ起シ, 次デ麻痺 Lähmung 及ビ意識消失 Bewußtlosigkeit, 並ビニ下痢ヲ

起シ、遂ニハ心臓ノ尙搏動セル間ニ窒息 Asphyxie ノ爲ニ死スル。

實際上重要ナルハ、「ナフトール」ハ頗ル容易ニ皮膚ヨリ吸収セラレ、而シテ其排出ニ當リテハ、他ノ芳香性消毒劑ヨリモ遙カニ強ク腎臓ヲ刺戟シテ激甚ナル急性腎臓炎 akute Nephritis ヲ起シ、蛋白尿 Albuminurie、血尿 Hämaturie ヲ見、且利尿減退并ビニ尿毒症狀 urämische Symptome ヲ起ス事デアル。

人ニアリテハ、有毒デナイ程ノ量ニテモ既ニ重篤ナル腎臓傷害ヲ起ス事ガアル。

【應用】動物性寄生蟲(疥癬、秋蟲、頭蝨、陰蝨等)、又ハ魚鱗癬 Ichthyosis ニ用ヒラル。

常ニ腎臓ヲ顧慮シテ、小ナル皮膚ノ部分ノミニ用ヒ、且時々尿ニ就テ蛋白ヲ檢スルガヨイ。

腎臓病ニ際シテハ、「ナフトール」ヲ使用シテハナラヌ。

【用量】「ベタナフトール」β-Naphthol, C₁₀H₇OH. 無色ノ絹様光輝ヲ有スル結晶デ、石炭酸様ノ臭氣ヲ有シ、水ニハ殆ソド不溶性、「アルコール」及ビ脂肪油ニハ容易ニ溶解スル。外用ニハ 1—10%軟膏或ハ溶液ヲ用フ。

h. 「クレオソート」 Kreosot

局所并ビニ全身作用ハ、石炭酸ト大差ナイ。寧ロ消毒性强ク、然カモ腐蝕性及ビ毒性ハ尠ナイ。

「クレオソート」ハ頗ル容易ニ皮膚并ビニ粘膜ヨリ吸収セララル。

【應用】肺結核并ビニ其他ノ呼吸器病ノ際ニ於ケル應用ニ就テハ既ニ述ベタ(192頁参照)。外用トシテハ、其有效成分ノ一タル「グアヤコール」Guajakol ハ同量ノ「オレフ」油ニ溶解シ屢々結核性腹膜炎ノ際ニ塗擦トシテ用ヒラル。

【製劑】「グアヤコール」Guajacolum, C₆H₄OH·OCH₃, 化學的純粹ノモノ

ハ無色ノ結晶デ、33°ニテ融解スル。サレド通常ノ製劑ハ無色ノ液體デ、「クレオソート」ヨリモ稍々ヨキ臭氣ヲ有ス。

處方例 「グアヤコール」 } 各 15,0
「オレフ」油 }
塗布料(結核性腹膜炎)

i. 「テール」 Teer 及 「イヒチオール」 Ichthyol

「テール」ハ濃厚ナル褐色或ハ黑色ノ液體デ、此モノハ木材、石炭 Steinkohle、動物ノ殘骸(角、皮膚、爪、骨)或ハ有機物ヲ含有スル土壤ノ乾餾 trockene Destillation ニヨリテ得ラル。

各種ノ「テール」ハ、材料ノ種類及ビ其製造方法ノ如何ニ從ヒテ灼熱スル際ニ生ズル各種ノ產物ヲ含有ス。

木「テール」 Holzteer:

木材ヲ乾餾シテ製シタル「テール」ノ種類デアアル。木「テール」ハスベテ酸性反應ヲ呈ス。コレ「フェノール」、芳香性炭化水素及ビ樹脂様體 harzartige Körper ノ外、低級脂肪酸 niedere Fettsäure、特ニ醋酸ヲ數%ノ割合ニ含有スル故デアアル。

「ブナノキ」ノ「テール」 Buchenholzteer ハ「クレオソート」ニ富ムモ、其他ノ植物「テール」 Pflanzenteer ノ組成及ビ作用ハ或ル度迄殆ソド同一デアアル。

【作用】稀釋セザルモノハ、皮膚ニ對シテ炎症ヲ起ス。即チ皮膚ハ潮紅シ表面的ニ腐蝕ヲ起シ、浮腫様浸潤 ödematöse Infiltration ヲ生ジ、上皮 Epidermis ハ水疱ヲ形成ス。持續的ニ用ユル時ハ毛囊 Follikel ニ深キ膿疱様ノ炎症 pustulöse Entzündung ヲ生ジ、其口ハ恰モ面疱 Komedo ノ如ク黑色ニ着色ス(「テール」瘡瘡 Teerakne)。皮膚刺戟ハ強キ痒感 Jucken ヲ伴フ事ガアル。サレド一面ニ於テハ、「フェノール」ヲ含有スル爲ニ局所麻醉作用 lokalanästhesierende Eigenschaft ヲ有シ、瘙痒 Jucken ニ對シテ往々有效デアアル。

内服セシムル時ハ、粘膜ニ對シテ強ク刺戟性ニ作用シ、大量ナレバ激甚ナル嘔吐、腹痛、下痢及ビ虚脱 Kollaps ヲ起ス。

芳香性成分 aromatische Bestandteile ハ容易ニ皮膚及ビ粘膜ヨリ吸收セラルルガ故ニ、不注意ニ大ナル領域ニ用ユル時ハ急性腎臓炎ヲ起シ、蛋白ヲ含有セル綠黑色ノ尿ヲ出ス。而シテ石炭酸或ハ「クレオソート」中毒ノ際ト同様ナル中樞神経系ノ方ノ症状ノ下ニ死スル。

【應用】 寄生性皮膚病、特ニ疥癬 Scabies, 白癬 Herpes tonsurans, 慢性濕疹 chronische Ekzema 等ニ廣ク用ヒラル。

【製劑】 木「テール」 Pix liquida, 各種ノ Pinus 類及ビ Larix sibirica ノ「テール」デア。酸性反應ヲ呈スル暗褐色、油状ノ液體デ、放置スレバ僅少量ノ結晶ヲ析出ス。外用トシテハ、洗滌、塗布 Pinselung 或ハ塗擦 Einreibung ノ目的ニ、25—50%軟膏・石鹼或ハ「アルコール」溶液ヲ用ユ。

處方例	木「テール」 Holzteer	} 各 aa 10,0
	硫黃華 Sulfuris sublimati	
	亞鉛華 Zinci oxydati	
	豚脂 Adipis suilli	30,0
	以上混和 (土肥氏「テールパスタ」 Teerpasta Dohi)	
	(慢性濕疹, 白癬, 疥癬等)	

「イヒチオール」 Ichthyol:

前世期ノ魚類ノ殘骸ヲ含有スル石塊ヲ蒸餾スル時ハ、10%ノ硫黃ヲ含有スル惡臭アル油状ノ「テール」ヲ得。此粗製蒸餾産物ヲ濃硫酸ニテ處置スル時ハ、一部ハ硫黃ヲ含有セル酸、即チ「イヒチオールズルフォ」酸 Ichthyolsulfosäure ニ移行スル。其「アムモニウム」鹽ハ治療ニ用ヒラル、「イヒチオール」 Ichthyol (Fischöl) デアル。斯ル操作ヲ施行スルハ、硫黃ヲ含有セル「テール」成分ヲ水溶性ニナス爲デア。

【作用】 「イヒチオール」ハ消毒性ヲ有スルモ、石炭酸ヨリモ弱イ。健康ナル皮膚ニ對シテハ輕度ノ刺戟及ビ血管收縮ヲ起ス。

大量ヲ内服セシムル時ハ、胃腸ノ刺戟症状ヲ起スモ、特ニ有毒デハナイ。

吸収後ノ作用ハアマリ顯著デハナク、充分ニ知ラレテ居ナイ。

其一部ハ尿中ニ出デ(硫黃量ガ増加スル)、一部ハ腸粘膜ヨリ排出セラル。

【應用】 婦人科ニ於テハ、消毒劑并ビニ 吸收促進劑 resorptionsbeförderndes Mittel トシテ、子宮ノ「カタル」及ビ附屬部ニ於ケル滲出 Exsudate in den Adnexen ニ用ヒラル、又皮膚科ニ於テハ、瘡瘡 Akne, 脂漏性濕疹 nässende Ekzema 等ニ用ヒラル。眼科ニ於テモ消炎、防腐及ビ鎮痛作用ヲ目的トシテ使用セラル。

【製劑】 「イヒチオール」 Ichthyolum, (ズルフォイヒチオール「酸」アムモニウム Ammonium sulfoichthyolicum), 暗褐色透明ノ濃厚ナル液體、不快ナル臭氣ヲ有シ、水ニハ溶解スル。外用ニハ、其マ、或ハ 10—15% 溶液或ハ軟膏 Salbe トシテ皮膚病ニ用ヒラル。婦人科ニテハ、10%「グリセリン」溶液ヲ「タムボン」(綿球) Tampon ニ用ユ。

處方例	「イヒチオール」	3,0—10,0
	米國製白色「ワゼリン」	10,0
	以上研和貼用(眼瞼縁炎, 麥粒腫, 急性涙囊炎)	

【附】 「チオール」 Thiolum 及「ツメノール」 Tumenolum

「イヒチオール」ニ類似セル物質ニシテ人工的ニ製出セラレタモノガアル。之ハ各種ノ蒸餾産物ヲ高温度ニ於テ硫黃ニテ處置シ、之ヲ「ズルフォ」酸 Sulfosäure ニ移行セシメタモノデア。

流動「チオール」 Thiolum liquidum 或ハ乾燥「チオール」 Thiolum siccum. 殆ンド無臭ノ濃厚ナル褐黑色ノ液體、或ハ褐色ノ粉末デア。前者ハ同量ノ水ニテ稀釋シ外用トシテ用ヒラル、後者ハ 20% 撒布粉 Streupulver トシテ用ヒラル。

「ツメノール」 Tumenolum, 粘潤ナル褐色ノ「テール」様物質デア。外用ニハ 5—10%ノ水或ハ「グリセリン」溶液、2—10% 亞鉛華澱粉「パスタ」 Zinkstärkepaste, 或ハ 2—5% 軟膏トシテ用ヒラル。

j. 「ペルーバルサム」 Perubalsam 及
蘇合香「バルサム」 Styraxbalsam

「ペルーバルサム」 Perubalsam ハ桂皮酸「ベンヂールエステル」 Zimt-säurebenzylester 50—60%, 游離ノ桂皮酸約10% 及ビ樹脂 Harz ヲ含有ス。

此モノハ疥癬蟲 *Acarus scabiei* ニ對シテ強キ作用ヲ及ボシ、其卵ヲ $\frac{1}{2}$ 時間内ニ死滅セシム。故ニ最モ有效ナ疥癬藥 Krätzmittel デアル。

「ペルーバルサム」ハ、「テール」、「ナフトール」等ト異ナリ、アマリ皮膚ヲ刺戟セズ且毒性モ尠ナイ。サレドスベテノ芳香性物質ノ如ク、其使用ニ際シテハ腎臟ヲ顧慮シナケレバナラナイ。

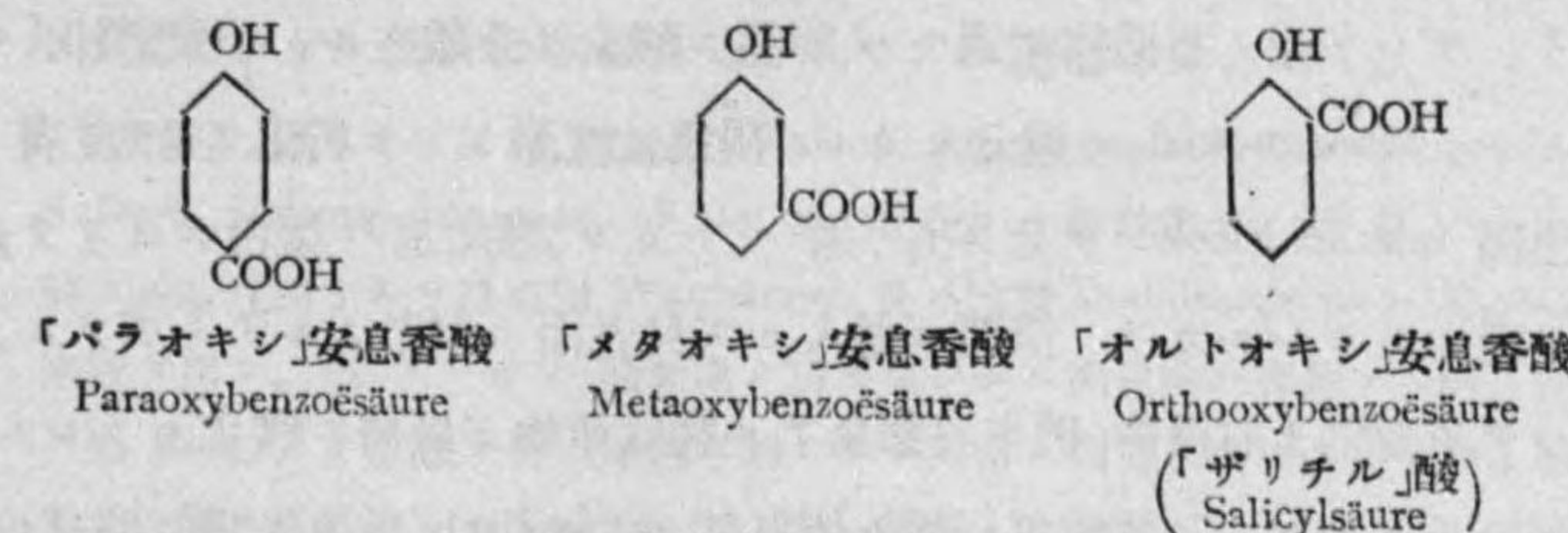
【製劑】「ペルーバルサム」 Balsamum Peruvianum 褐黑色ノ舍利別様ノ香氣ヲ有スル「バルサム」デ、南米ノ太平洋岸ニ産スル Myroxylon Pereirae (蝴蝶花科 Papilionaceae) ヨリ得タル「バルサム」デアル。疥癬 Scabies ニアリテハ、入浴後 2,0—3,0 ヲ一日中ニ 4—6 回塗擦シ 全體トシテ 10,—15,0 ヲ用ヒ、二日ノ後入浴スル。

蘇合香「バルサム」 Styraxbalsam ハ、主トシテ桂皮酸ノ各種ノ「エステル」及ビ樹脂ノ混合ヨリ成リ、「ペルーバルサム」ト同様ニ頗ル有效ナ抗寄生蟲劑 Antiparasitikum (疥癬 Scabies, 陰毛虱 *Pediculi pubis*) デアル。

【製劑】流動蘇合香, Styrax, Styrax liquidus, Storax ハ小アジアニ産スル Liquidambar orientalis (金縷梅科 Hamamelidaceae) ノ皮ヨリ得ラル。濃厚ニシテ不透明ナル灰白粘稠ノ物質デ不快ナル酸臭ヲ有ス。外用トシテハ、純粹ノモノ(精製流動蘇合香 Styrax depuratus) ヲ「ペルーバルサム」ト同様ニ疥癬ノ治療ニ用ユ。例ヘバ精製流動蘇合香 30,0 ヲ「オレフ」油 10,0 ト混ジニ部ニ分チテ塗擦スル。

k. 「ザリチル」酸 Salicylsäure

「オキシ」安息香酸 Oxybenzoësäure ニハ三種アル:



此中「パラ」及ビ「メタ」化合物ハアマリ作用ヲ有シナイ。只「オルトオキシ」安息香酸ハ頗ル有效デ、之ヲ「ザリチル」酸ト稱ス。

【作用】游離ノ「ザリチル」酸ハ消毒性 antiseptisch ノ作用ヲ有ス(特種消毒劑ノ部第330頁参照)。

【應用】外用トシテ關節「ロイマチス」其他ノ「ロイマチス」性疼痛ニ對シ 10% 軟膏トシテ局所的ニ用ヒラル。

【用量】「ザリチル」酸 Acidum salicylicum, Salicylsäure, $C_6H_4 \cdot OH \cdot COOH$. 甘酸性ノ味ヲ有スル白色ノ針狀體デ、水ニハ殆ソド不溶性ナルモ、「アルコール」及ビ「エーテル」ニハ容易ニ溶解スル。

2. 酸化劑 Oxydationsmittel

空中ノ酸素ハ O_2 ナル式ヲ有スル分子 Molekül ヨリ成リ、此状態ニ於テハ特ニ強キ酸化作用ヲ呈シナイ。サレド他ノ多數化合物ハ容易ニ働性形 aktive Form (原子 Atom) ノ酸素ヲ生ズル。此働性ノ酸素 aktiver Sauerstoff ハ直チニ O_2 ニ移行スルカラ之ヲ集取シ得ナイ。此モノハ發生ノ瞬間ニ於テ所謂發生機酸素トシテ in statu nascendi ノミ存シ、此状態ニ於テハ酸化作用ヲ有ス。次ニ述アルハ斯クノ如キ化合物、即チ所謂酸化劑 Oxydationsmittel デアル。

a. 過「マンガン」酸加里 Kaliumpermanganat,
übermangansaures Kalium

過「マンガン」酸加里, $KMnO_4$ ハ、分子全體トシテハ消毒作用ヲ有シ

ナイ。サレド他ノ有機物ニ遇ヘバ容易ニ酸素ヲ分離スル。此際酸化「マンガン」Manganoxydニ還元セラレ、褐色ノ沈澱トシテ析出スル(皮膚ニ褐色斑 braune Fleckeヲ生ズ)。過「マンガン」酸加里ハ蛋白ニヨリテ直チニ還元セラレルカラ、深部ニ遁入セズ只表面ニ作用スルノミデア。而シテ不安定ナ有機物、例ヘバ惡臭アル腐敗産物が最初ニ酸化セラレル。故ニ過「マンガン」酸加里ハ往々消毒性 antiseptisch ヨリモ寧ロ防臭性 desodorierendノ作用ヲ呈スル。

濃厚ナル溶液ハ、上皮ヲ有シナイ部位ニ於テハ腐蝕作用ヲ呈シ(粘膜上ニ於テハ既ニ1%溶液ニテ)、著シキ疼痛ノ下ニ表面的ナ黑色ノ腐蝕痂 Ättschorfヲ形成スル。サレド健康ナ皮膚ハ侵サレナイ。

過「マンガン」酸加里ハ消化管ヨリハ吸収セラレナイ。サレド腐蝕作用 Ätzungヲ呈スルカラ、有毒ナヤウニ見エル。

【應用】過「マンガン」酸加里ハ、不潔ナ惡臭アル創傷 unreine übelriehende Wundeノ防臭及ビ消毒性洗滌 desodorierende und desinfizierende Waschungen, 臭鼻症 Ozaenaノ際ノ嗅入粉 Schnupfpulverニ用ヒラレ、又黧汗 Fusschweissニモ用ヒラレ、此他白帶下 Fluor albusノ際ニ洗滌用トシテ用ヒラル。淋疾 Gonorrhoeノ際ニ稀薄溶液ノ注入ヲ行ヘバ屢々良效ガアル。

又過「マンガン」酸加里ハ解毒藥 Antidotトシテ、磷中毒(酸化)、青酸 Blausäure又ハ「チアン」加里中毒(「チアン」酸加里ノ生成)、並ビニ阿片及ビ「モルヒネ」ニヨル中毒ノ際(酸化)ニ用ヒラル。サレド其有效ナルハ、毒物が尙胃中ニ存スル場合ノミデ、既ニ吸収セラレタル後ニハ作用ヲ呈シナイ。

毒蛇ノ咬傷 Schlangenbissノ際ニハ、速カニ咬傷部ノ周リニ注射スレバ有效デア。勿論此際ニモ直接酸化劑ニ接觸スル毒物ノミガ影響ヲ受

ケルノデアツテ、既ニ吸収セラレタルモノハ變化ヲ受ケナイ。

【用量】過「マンガン」酸加里 Kalium permanganicum, übermangansaures Kalium, Kaliumpermanganat, $KMnO_4$. 暗紫色ノ稜形體デ、16倍ノ水ニ溶解スル。外用トシテ洗滌用 Waschungen 又ハ消毒 Desinfektionニハ $1/10$ —1%溶液ヲ用フ。過「マンガン」酸加里ノ爲ニ生ジタル褐色斑ハ稀薄ナル酸、例ヘバ醋 Essigニテ除去シ得。粘膜ニ對シテハ非常ニ稀薄ナル溶液ヲ用ヘル。即チ中毒ノ際ノ胃洗滌ニハ1:1000—1:500, 尿道 Urethraニハ1:4000—1:1000, 含嗽藥 Mundwasserトシテハ、1%溶液小匙ニ一杯ヲ「コップ」一杯ノ水ニ稀釋シテ用ユ。

處方例	過「マンガン」酸「カリウム」	0,1—0,2
	水	1000,0
	以上洗滌料 (膿漏性結膜炎)	

b. 過酸化水素 Wasserstoffsperoxyd

過酸化水素 H_2O_2 ハ特ニ雷雨 Gewitter後ニ大氣中ニ存ス。又殆ンド常ニ雨及ビ雪ノ中ニ存ス。但シ其量ハ1 kiloノ空氣中ニ僅カニ0,04—1 mgデア。此他多クノ酸化作用ニ際シテ水ヲ加フル時ニ生ズ。

極メテ容易ニ水ト酸素トニ分解スル。分解作用 Spaltungハ、酵素ノ如キ作用ヲ有スル多數ノ無機體、例ヘバ微細ニ分布セル白金 Platin, 金 Gold, 銀等ニヨリテ起ル(接觸作用 Katalyse, Kontaktwirkung)。且酵素ヲ含有スル各種ノ有機物(膿・血液・滴蟲類 Infusorien・細菌・酵母 Hefe等)ニヨリテモ分解セラレ、其瞬間ニ過酸化水素ノ水溶液ヲシテ泡沫ヲ發セシム(酸素發生ノ爲)。斯クノ如ク過酸化水素ハ發生機酸素 naszierender Sauerstoffヲ生ズルカラ、其爲メニ殆ンド昇汞 Sublimatト同様ニ消毒作用ヲ呈スル。サレド、其作用ハ働性ノ酸素ヲ生ズル瞬間ノミデアツテ、且其際瓦斯ヲ發生スル。

過酸化水素ヲ實驗動物ノ血液中ニ注射スル時ハ、酸素ヲ發生スル爲ニ瓦斯 栓塞 Gasembolieヲ起シテ忽チ死スル。

膿胸 Empyem 其他閉鎖セラレタル體腔ヲ過酸化水素ニテ洗滌スル際ニ急ニ死シタル例ガアル(腦動脈ノ瓦斯栓塞)。或ル場合ニハ同様ノ原因ニヨリテ半身麻痺 Hemiplegie ヲ起ス。又過酸化水素ハ組織中、例ヘバ皮下ニ注射シテハナラス。コレ盛ンニ瓦斯ヲ發生シテ壞疽 Gangrän ヲ起ス故デアル。

【應用】 含嗽水 Mund- und Gurgelwasser トシテ、壞疽性或ハ惡臭性創傷 gangränöse oder stinkende Wunde ノ消毒劑トシテ、又ハ惡臭ヲ發スル流出物 Ausfluss ガアル場合ノ防臭劑 Desodorans, 例ヘバ子宮癌ノ際ノ「タムボン」(綿球) Tampon ニ用ヒラル。又工業上ニ於テハ漂白劑 Bleichmittel トシテ用ヒラル。

此他過酸化水素ハ、尿素 Harnstoff ト固キ結晶性ノ化合物 (35% H_2O_2 ヲ含有ス) ヲ形成シ、此モノハ撒布藥或ハ小桿形 Stäbchenform トナシテ瘻管 Fistel 又ハ創傷 Wunde ノ治療ニ用ヒラル。

【用量】 過酸化水素水 Hydrogenium peroxydatum solutum (「オキシフル」) 過酸化水素ノ3%水溶液デアル。其1容ハ10容ノ酸素ヲ發生スル。内用ニハ胃酸過多症 Hyperacidität 又ハ胃酸酵 Magengärung ノ際ニ一日三回小匙ニ一杯ヲ水ニテ稀釋シテ用ヒル。

外用トシテハ、消毒藥 Antiseptikum トシテ其ママ又ハ水ト混ジテ用ユ。含嗽料トシテハ、口内炎 Stomatitis, 「アンギーナ」 Angina 等ノ際ニ、小匙ニ1—2杯ヲ一杯(約十倍)ノ水ニ入レテ用ヒル。眼科ニ於テハ、通常0.3—0.5%ノ水溶液トシテ用ヒラル(眼瞼炎・外傷性角膜疾患・匍行性角膜潰瘍・涙囊炎ノ洗滌料、又ハ涙囊周圍炎切開後ノ洗滌料トス)。

【附】 「クロール」酸「カリウム」 Kalium chloricum

「クロール」酸「カリウム」 chlores Kalium, $KClO_3$ ハ之ヲ熱スレバ酸素ヲ分離シ、燃燒シ易キ物質、例ヘバ炭素・硫黃・澱粉・糖ノ如キ燃燒シ易キ物質ヲ酸化スル。

欠

欠

飲料水(井水)ノ消毒ニハ水1立方「メートル」即チ5石5斗ニ付漂白粉約一匁=3.8gノ割合ニ混ズ。(15g=約4匁)。

「クロール」石灰水(20倍)「クロール」石灰5分、水95分ヨリ成ル。用ニ臨ミテ新ラシキ「クロール」石灰ニ徐々ニ水ヲ注ギ振リテ混和シテ製ス。之ヲ貯ヘルニハ密閉スルヲ要ス。其應用及ビ用量ハ石灰乳ト同ジ。即チ吐瀉物其他ノ排泄物等ノ消毒ニハ容量 $\frac{1}{4}$ 以上ヲ加ヘテ攪拌ス。

次亞「クロール」酸「ナトリウム」液 Solutio Natrii hypochlorosi, Natrium hypochlorosum solutum, Labarraques Bleichwasser. 「クロール」臭ヲ有スル透明ナル液デ、食鹽 Chlornatrium 及ビ Natriumhypochlorit (NaClO)ヲ含有スル。外用トシテハ、含嗽水トシテ竝ビニ白帶下 Fluor albusノ際ニハ5%ノ液ヲ用ヒ、惡臭アル創傷ノ繃帯ニハ10%ノ溶液ヲ用フ。

現時創傷ノ治療 Wundbehandlungニ廣ク用ヒラルルダーカン氏液 Dakin-sche Natriumhypochloritlösungハ、「クロール」石灰 Calcaria chlorata 200,0、蒸餾水 10「リートル」、結晶炭酸「ナトリウム」Nat. carbonic. 400,0、硼酸 Acid. boric. 適宜 q. s. (中性反應トナル迄 ad react. neutral) デアル。2週間以上保存シ得ナイ。

「クロールアミン」 Chloraminum, Paratoluolsulfosäurechloraminnatrium, $\text{CH}_3\text{C}_6\text{H}_4\text{SO}_2\text{NaNCl}$ 。白色無臭ノ粉末デ、水ニハ容易ニ溶解シテ弱「アルカリ」性反應ヲ呈ス。働性ノ「クロール」aktives Chlor約12,5%ヲ含有ス。外用ニハ1-4%溶液ヲ用フ。創面ニ用フル濃度ハ1-2% (戦時ニ廣ク用ヒラレタ)、含嗽水トシテハ $\frac{1}{2}$ %, 膀胱ニハ $\frac{1}{4}$ %迄ノ溶液ヲ用ユ。

【「クロール」中毒ノ療法】水蒸氣及ビ稀薄ナル「アムモニア」ヲ吸入セシメテ氣道中ノ刺戟症狀ヲ緩和スル。氣管中ニ於ケル強度ノ分泌ニ對シテハ「アトロピン」ノ注射ヲ行フ。内服ニヨル中毒ノ際ニハ稀薄ナル「アルカリ」或ハ「マグネシア」ヲ與ヘル。

b. 沃度 Jod

【作用】沃度ハ微生物 Mikroorganismenニ對シテハ強力ナル消毒藥 Antiseptikum デアル。サレド如何ナル稀釋度ニ於テ其發育ヲ妨止シ又ハ死滅セシムルカニ就テハ報告ガ一致シナイ。

皮膚ニ強キ沃度溶液例ヘバ局法沃度丁度ヲ塗布スル時ハ、深褐色ニ着色シ、軽度ノ灼熱 Brennen 及ビ刺衝感 Stechen ノ下ニ速カニ丹毒様ノ潮紅ヲ來シ、反覆之ヲ塗布スル時ハ上皮ハ大ナル片トシテ剥離スル。強ク沃度ヲ塗布スル時ハ數時間ニシテ漿液性滲出 seröse Ausschwitzung 及ビ多數白血球ノ游出ヲ見ル。之ハ單ニ皮膚中ノミナラズ、皮下及ビ筋肉内組織并ビニ隣接セル骨膜 Periost 中ニモ起ル。即チ著シク深部ニ迄起ルモノデアアル。二三日後ニナレバ退行變性 regressive Metamorphose ガ初マル。即チ白血球及ビ其所ニ存スル組織ハ變性 Degeneration ニ陥リ、融解 einschmelzen シテ運搬シ去ラル。斯クシテ變化ノ領域内ニアル病的產物ハ吸收セラレル。

粘膜 Schleimhaut ニ對スル作用ハ一層著ルシイ。沃度ハ最モ不快ナル腐蝕性味 ätzender Geschmack ヲ有シ、齒ヲ侵シ、少量ナレバ疼痛ヲ覺ヘ、大量ナレバ胃腸炎 Gastroenteritis ヲ起ス。

沃度溶液ヲ漿液腔 seröse Höhle 或ハ囊胞 Cysten 中ニ注入スル時ハ、最初内容物ノ増加ヲ來シ、次デ癒着性炎症 adhäsive Entzündung ヲ起シ、液ノ吸收後ニハ往々壁ノ癒着及ビ内腔 Hohlraum ノ閉塞 Obliteration ヲ來ス。

【吸收及排出】沃度ハ皮膚并ビニスベテノ粘膜及ビ創面 Wundfläche ヨリ頗ル容易ニ吸收セラレ、恐ラク蛋白化合物 Eiweissverbindung ノ形チニ於テ血液中ニ移行シ、主トシテ沃度「ナトリウム」トシテ尿中（沃度塗布後一時間ニシテ證明セラル）、胃中、氣管枝中（呼氣ハ沃度ノ臭氣ヲ放ツ）及ビスベテノ他ノ分泌物中ニ排出セラル。吸收セラレタル沃度ノ一部ハ、沃度「チリン」 Jodthyrin トシテ甲状腺 Glandula thyreoidea 中ニ蓄積セラル。

【應用】外科ニ於テハ、現今沃度ハ皮膚及ビ小ナル創傷 Wunde ノ

消毒 Desinfektion ニ盛ニ用ヒラル。一回ノ塗布ニテ表面ノミナラズ上皮ノ深層ヲモ消毒シ得。而シテ其前ニ石鹼ニテ洗滌スル事ハ不用デアアルノミナラズ、石鹼ヲ再ビ除去シナイト却ツテ有害デアアル（コレ作用ナキ沃度加里ヲ生成スル故デアアル）。

吸收ヲ促進セシムル爲ニ、沃度丁幾 Jodtinktur ハ屢々皮膚ニ塗布 pinseln セラル。即チ滲出液 Exsudate、炎症 Entzündungen 及ビ各種ノ炎症ノ残りガ存スル際、例ヘバ腺腫脹 Drüsenschwellungen、皮下組織ノ炎症、淋巴管炎 Lymphangitis、靜脈炎 Phlebitis、骨膜炎 Periostitis、腱鞘炎 Tendovaginitis、關節膜炎 Synovitis、漿液腔 seröse Höhle 中ニ於ケル液體集合等ノ場合ニ用ヒラル。炎症又ハ滲出液ガ表面的ニ存スル場合ニハ、沃度ノ塗布ハ往々頗ル有效デアアル。サレド之ガ爲ニ決シテ外科的手術ノ時期ヲ逸シテハナラナイ。

此他沃度丁幾、ルゴール氏液或ハ沃度「グリセリン」ハ、各種ノ粘膜傷害、例ヘバ鼻鼻症 Ozaena、慢性咽頭炎及ビ喉頭炎 chronische Pharyngitis und Laryngitis、水銀中毒及ビ壞血病 Skorbut ノ際ノ齒齦炎 Zahnfleischentzündungen、齒槽骨膜炎 Alveolarperiostitis、腔 Vagina 及ビ子宮 Uterus 中ノ慢性「カタル」ノ際ニモ屢々塗布料トシテ局所ニ用ヒラル。

此他沃度丁幾又ハ沃度沃度加里溶液ハ、漿液腔 seröse Hohlräume 中ニ於ケル液體集合、例ヘバ陰囊水腫 Hydrocele 或ハ囊胞 Cyste ノ際ニ其吸收及ビ癒着ヲ起サシムル目的デ其中ニ注入スル事ガアル。サレド此際ニハ稍々疼痛ヲ伴ヒ、且初メハ却ツテ液體ノ集合ヲ來ス。

【中毒】沃度丁幾ヲ嚥下シタル爲ノ急性中毒ニアリテハ、主トシテ粘膜腐蝕 Schleimhautätzung ノ症狀ガ現ハレル。10—20 g ヲ用ヒタル後ニハ治癒スルモ、30 g ニテハ 1½ 日ノ後ニ死シタ例ガアル。

死シタル中毒例ハ、多クハ大量ヲ漿液腔 seröse Höhle 又ハ囊胞 Cyste、

殊ニ卵巢囊腫 Ovarialcyste 中ニ注入シタ後ニ見ラレタ。

【製劑】 沃度 Jodum, Jod, J. 灰黑色ノ金屬様光澤ヲ有スル小板狀結晶デ、水ニハ殆ンド不溶性デア。之ヲ熱スレバ黄色ノ蒸氣ヲ發ス。通常ノ温度ニテハ揮發性 flüchtig デ「クロール」様ノ臭氣ヲ有ス。

沃度「グリセリン」 Jodglyzerin: 沃度 Jodi 0,2, 沃度加里 Kal. jodat. 2,0, 「グリセリン」 Glycerini 20,0 或ハ之ヨリモ強キ溶液ヨリ成ル。咽頭 Rachen 等ニ塗布 pinseln セラル。

沃度丁幾 Tinctura Jodi, Jodtinktur. 沃度ノ 10% 「アルコール」溶液デア。塗布料 zur Pinselung。

ルゴール氏液 Solutio Lugoli: 沃度 Jod 1, 沃度加里 Jodkalium 2, 水 Wasser 97 ヨリ成ル。

【沃度中毒ノ療法】 沃度丁幾ノ中毒ニアリテハ、蛋白ヲ與ヘテ沃度ヲ結合セシムルカ、或ハ同ジ目的ニ多量ノ稀薄ナル「アルカリ」ヲ與ヘル。澱粉モ推奨セラレルモ、アマリ效力ハナイ。コレ其結合ガ粗 locker ナ爲デア。

注射後ノ中毒ニ對シテハ、大量ノ重曹ヲ試ミ、又疼痛ガ激甚ナル時ハ「モルヒネ」ヲ與ヘル。

4. 沃度「フォルム」 Jodoform

【作用】 以前ハ廣ク用ヒラレタルモ、現今ハアマリ應用セラレナイ。純粹ナ乾燥沃度「フォルム」ハ長イ間不變ニ止マリ、毫モ消毒作用ヲ有シナイガ、溶液中ニ於テハ之ニ反シテ頗ル不安定 unbeständig デアル。即チ沃度「フォルム」ヲ創面ニ用ユル時ハ漸次ニ分泌物ノ脂肪ニ溶解シテ、絶エズ沃度ヲ游離シ、從ツテ微生體ノ發育ヲ妨ゲルモ、一面ニ於テハ同時ニ創傷ヲ著シク刺戟スル。又沃度「フォルム」及ビ其他ノ類似化合物ハ同時ニ分泌ヲ制限スル作用ガアル。故ニ其繃帶ハ長イ間之ヲ交換シナイデ其儘ニシテヨイ。此他沃度「フォルム」ハ弱キ鎮痛作用ヲ有シ、且小ナル血管ヨリノ出血ニ對シテ止血作用ヲ呈ス。

【應用】 以前ハ手術ノ際ノ乾性消毒藥トシテ、並ビニ創傷及ビ各種ノ

潰瘍ニ廣ク用ヒラレタルモ、現今ハ用ヒラレナクナツタ。コレ主トシテ頑固ナル不快ノ臭氣ヲ有スルガ爲デア。

現今尙屢々用ヒラル、ハ結核性喉頭炎 tuberkulöse Laryngitis, 膿胸 Empyem, 沈降膿瘍 Senkungsabszess, 結核性關節傷害等ノ際デア。後ノ二ツノ場合ニハ注射用トシテ用ヒラル。

【中毒】 以前ハ多量ニ用ヒラレタカラ屢々中毒ヲ起シタ。其最モ重要ナル症狀ハ、恐怖及ビ不眠、重篤ナル場合ニハ幻覺 Halluzination, 譫妄 Delirien 及ビ痙攣 Krämpfe ヲ起シ、時トシテハ嗜眠 Sopor 及ビ昏睡 Koma ニ移行スル。又二三日ノ後ニ心臟衰弱及ビ肺水腫 Lungenödem ガ起リ、其爲ニ死スル事ガアル。此等ノ症狀ノ外、沃度症狀 Jodsymptome トシテ鼻「カタル」 Schnupfen 及ビ瘡癩 Akne 等ガ現ハレル事ガアル。

【製劑】 沃度「フォルム」 Jodoformium, CHJ_3 光輝アル黄色ノ小結晶或ハ粉末デ、惡臭ヲ放ツ。水ニハ殆ンド不溶性、「アルコール」及ビ脂肪油ニハ難溶性デア。ガ、「エーテル」ニハ容易ニ溶解スル。小ナル創傷ヲ閉塞スル爲ニハ、沃度「フォルム・コロヂウム」 Jodoformkollodium (1:15) トシテ用ヒル。膿瘍又ハ關節中ヘノ注入ニハ「グリセリン」或ハ油中ニ於ケル 10% 乳劑 Suspension トシテ用ヒル。又瘻管 Fistel 又ハ創傷腔 Wundhöhle ヘノ「タムボン」 Tamponade 又ハ排膿管 Drainage, 沃度「フォルム・ガーゼ」 Jodoformgaze 或ハ綿 Watte トシテ用ヒラル。

沃度「フォルム」ノ代用藥トシテ使用セラル、モノハ多數アル。就中最モヨキハ、「キセロフォルム」 Xeroform, Tribromphenolwismut, 「アイロール」 Airol 等デア (後節着鉛ノ部 424 頁参照)。

又沃度「フォルム」ヲ改良シタルモノニ、「イソフォルム」 Isoform, Parajodanisol $\text{C}_6\text{H}_4\text{OCH}_2\text{JO}_2$, 「ノヴォヂン」 Novojodin (Hexamethylendijodid ト Talk トヨリナル), 「ヤトレン」 Yatren (Jodoxychinolinsulfosäure = 炭酸曹達ヲ加ヘテ水溶性トナシタルモノ) 等ガアル。

【沃度「フォルム」中毒ノ療法】 輕度ノ症狀ハ、沃度「フォルム」ヲ除去スレバ消失スル。既ニ重篤ナル場合ニハ豫後ハ不良デア。游離ノ沃度ノ生成ヲ制限スル爲ニ、一時間毎ニ 0,5—1,0 ノ重曹ヲ與ヘル。

5. 煨製石灰(生石灰) Ätzkalk (酸化「カルシウム」 Calciumoxyd)

著シキ消毒作用 antiseptische Wirkungen ヲ有ス。即チ 1:4000 ノ溶液ハ「コレラ」菌 Cholerabazillen ヲ、又之ヨリモ稀薄ナル溶液ハ「チフス」菌 Typhusbazillen ヲ二三時間ノ内ニ死滅セシメル。

煨製石灰ハ、局所的ニ、濕潤セル組織ニ對シテハ腐蝕性 ätzend ニ作用スル。コレ著シク熱ヲ發生シツ、盛ニ水ト結合スル故デアル。其作用ハ、腐蝕性「アルカリ」ト異ナリテ、表面的デアル。コレ煨製石灰ハ溶解セル状態トシテハ組織中ニ透入シ得ナイデ、粉末狀ノ抱水化物 Hydrat トシテ、或ハ組織ノ酸又ハ脂肪ト結合シテ他ノ難溶性化合物トナリテ到ル處ニ固着セラレルカラデアル。

【應用】煨製石灰ハ安價ニシテ有效ナ藥劑トシテ大量消毒 Massendesinfektion ノ目的、例ヘバ「コレラ」流行ノ際ニ糞便 Dejektionen ノ消毒ニ用ヒラル。

石灰水 Kalkwasser ハ之ヲ創面上ニ用ユル時ハ、分泌物ノ炭酸鹽ニヨリテ微細ナル炭酸「カルシウム」Calciumkarbonat ヲ沈澱シ、小ナル脂肪滴ハスベテ不溶性ノ石灰石鹼 Kalkseife ニ變化スル。斯クシテ微細ナル沈澱ヲ生ジ、保護作用アル被覆ヲ生成シ、收斂作用ヲ呈ス。故ニ石灰水ハ創傷 Wunde 及ビ濕潤セル皮膚傷害 nässende Hautaffektion ノ療法 Umschläge ニ適セル藥劑デアル。又亞麻仁油ト混ジ火傷ノ際ニ屢々用ヒラル。

石灰水ヲ内服セシムル時ハ、酸ヲ中和シ、又牛乳ヲ著シク微細ナル小片ニ凝固セシメ、炭酸鹽及ビ磷酸鹽並ビニ石鹼 Seife トシテ腸ノ上皮ノ上ニ沈澱スル。斯ル化學反應ニ基ヅキテ、石灰水ハ腸ノ分泌ヲ制限シ、下痢ヲ止メル作用ガアル。

【製劑】煨製石灰又ハ生石灰 Calcaria usta, Ätzkalk, gebrannter Kalk (酸化「カルシウム」 Calcium oxydatum), CaO. 灰白色ノ不規則ナル塊デ、之ニ水ヲ加フレバ著シク熱ヲ發生シツ、白色粉末狀ノ抱水化物 $\text{Ca}(\text{OH})_2$ 、即チ消石灰 gelöschter Kalk (普通ノ石灰)トナル。

生石灰末トハ、生石灰ニ少量ノ水ヲ加ヘ粉末ト爲シタルモノヲ云フ。之ハ用ニ臨ミテ製シ、吐瀉物其他ノ排泄物・溝渠等ノ消毒ニ用ヒラル。吐瀉物其他ノ排泄物ヲ消毒スルニハ少ナクモ其容量ノ 50 分ノ 1 ヲ投ジ、ヨク攪拌スルガヨイ。

石灰乳 Kalkmilch トハ煨製石灰 1 部ニ水 9 部ヲ加ヘヨク攪拌シテ得タル白色濃厚ノ混合物デアル。吐瀉物其他ノ排泄物ヲ消毒スルニハ、其容量ノ 4 分ノ 1 以上ヲ混ズル。但シ石灰乳ハ用ニ臨ミテ之ヲ製シ、使用ノ際ハ毎回攪拌スル事ガ必要デアル。生石灰ヲ得ル事能ハザル場合ニハ普通ノ石灰ヲ代用シ、其倍量ヲ用ユ。

石灰水 Aqua Calcis, Aqua Calcariae, Kalkwasser. 抱水石灰 Kalkhydrat ハ僅カニ溶解性ナルガ故ニ、1「リートル」中僅カニ約 1.3g ノ CaO ヲ含有セル飽和溶液デアル。故ニ牛乳 Kuhmilch ヲヨリモ「カルシウム」ノ含量ガ尠ナイ(牛乳 1「リートル」中ニハ 1.7g ヲ含有ス)。

外用ニハ同量ノ亞麻仁油 Leinöl, Oleum Lini ト混ジテ火傷 Verbrennung ノ際ニ療法トシテ用ヒラル。又内用ニハ、稀ニ小兒ノ消化障礙又ハ下痢ニ際シ其マ、又ハ牛乳中ニ入レテ小匙ニ一杯宛ヲ用ヒル。

6. 重金屬化合物

a. 水銀化合物 Quecksilberverbindungen (昇汞 Sublimat 等)

水銀ハ強キ原形質ニ對スル毒物 Protoplasmagift デ、其 Hg「イオン」ハ微生物 Mikroorganismen ニ對シテ大ナル毒性ヲ呈ス。從ツテ例ヘバ昇汞 Sublimat ノ如ク、溶解性デ且解離 dissoziieren シ易キ化合物ハ消毒力ガ強イ。

大多數ノ微生物ノ發育ハ 1:30000 — 1:20000 ノ昇汞溶液ニヨリ妨止

セラレ、而シテ 1:2000 或ハ 1:1000 ノ溶液ニテハ完全ニ死滅スル。サレド結核菌 Tuberkelbazillen ハ $\frac{1}{10}$ % 溶液ヲ 24 時間作用セシメテモ尙生キテ居ル。之ニ反シテ最も容易ニ死滅スル微生物ニ屬スルハ、「コレラ」菌 Cholera-bazillus デアツテ、其發育ハ 1:1000 000 ノ溶液中ニテ著明ニ制限セラレ、1:300000 ノ濃度ニテ發育ガ妨止セラル。然シナガラ其作用ハ、水銀ト化合スルスベテノ物質ニヨリテ妨ゲラル。從ツテ創傷 Wunde ニ於テハ蛋白ニ結合セラレルカラ、其作用ハ僅少デアル。

高等動物ノ細胞ニ對シテモ、昇汞ハスベテノ水銀化合物中最モ有毒デアル。外科ニテ用ヒラル、弱溶液モ、往々皮膚ヲ刺戟スル（昇汞濕疹 Sublimat-ekzem）。而シテ強濃度例ヘバ 1—5 % ノ軟膏 Salbe、擦劑 Lini-ment 或ハ罨法 Umschlag ニテハ皮膚上ニ二三時間内ニ表面的ノ炎症 Entzündung 及ビ水疱形成 Bläschenbildung ヲ見ル。又上皮ノ剝離セル部位ニハ壞死性底面 nekrotischer Grund ヲ有スル深キ創傷ヲ形成スル。

粘膜モ亦解離性水銀鹽ニ對シテハ非常ニ過敏デアル。内服スレバ、昇汞ハ最も強キ腐蝕毒 Ätzgift デアル。特ニ胃ガ空虛ナル場合ニハ其作用ガ強イ。而シテ其際ノ臨牀的症狀(疼痛、血液性嘔吐、虚脱 Kollaps)ハ、恰モ濃鹽酸ニヨル中毒ニ全然等シイ。而シテ急速ナル經過ヲ示ス場合ニハ主トシテ腐蝕 Ätzung ノ結果トシテ死スル。若シ 24 時間以内ニ死ニ至ラナイ場合ニハ、吸收セラレテ全身中毒 Allgemeinvergiftung ヲ來ス(333 頁参照)。昇汞中毒ノ際ニハ往々尿中ニ糖ヲ見、肝臓ノ「グリコゲン」ハ消失スル。

昇汞ノ最少致死量ハ 0.18g デアル。

【應用】 昇汞ハ創傷ノ消毒藥 Antiseptikum トシテハ以前程用ヒラレナイ。創面 Wundfläche ニアリテハ、金屬ガ一部分蛋白化合物 Albuminat トシテ沈澱スル爲ニ其作用ハ弱メラル。又蛋白ニ對シテ親和力 Affinität ヲ有スル爲ニ、同時ニ創傷ノ底面 Wundboden ニ對シテ治癒ヲ妨ゲル作用

ヲナス。加之其毒性が大デアルカラ、從ツテ其應用ガ制限セラレルノデアル。即チ大ナル創傷腔 Wundhöhle、漿液腔 seröse Hohlräume 又ハ子宮ヲ洗滌スル時ハ、金屬ガ蛋白ノ面ニ蛋白化合物トシテ固定セラレ、溶液中ノ水銀ノ含量ハ減ジ、吸收セラレテ重篤ナル中毒ヲ起ス。

上記ノ如キ缺點、即チ Hg-蛋白化物ノ生成ニヨリ消毒力ノ減弱スルノヲ妨グニハ、昇汞ニ少量ノ食鹽ヲ伍スガヨイ(昇汞錠 Sublimatpastillen)。此際食鹽ハ溶液ヲ保存 konservieren スル作用モアル。即チ保存シ得可キ複鹽 Doppelsalz $HgCl_2 \cdot NaCl$ ヲ生ズル。之ニ反シ昇汞ノ純水溶液ハ分解シテ酸鹽化物 Oxychlorid ヲ生成スル。(但シ食鹽ガ多量ナレバ Hg「イオン」ノ解離ヲ妨グ其結果却ツテ殺菌力ヲ減少セシメル)。

或ル種ノ水銀製劑ハ、各種ノ皮膚病ニ用ヒラル。而シテ植物性並ビニ動物性寄生蟲ヲ絶滅スル作用ガ強イ。例ヘバ昇汞ハ癬風 Pityriasis versicolor ノ際、又灰白軟膏ハ虱 Pediculi ニ用ヒラル。此他之ヨリモ緩和ナルモノ、例ヘバ黃降汞ハ軟膏トシテ角膜翳、眼瞼緣炎、「フリクテン」等ニ用ヒラル、又蒸氣製甘汞ハ緩和ナル刺戟及ビ消毒藥トシテ古來「フリクテン」ニ賞用セラル。但シ此際同時ニ沃度加里ヲ用ヒテハナラヌ。コレ涙中ニ排出セラレテ腐蝕性ノ沃化水銀 Quecksilberjodid ヲ形成スル恐れガアル故デアル(70 頁参照)。

此他甘汞 Kalomel ハ以前屢々誘導・吸收並ビニ消炎藥 ableitendes、resorbierendes und antiphlogistisches Mittel トシテ各種ノ炎症ニ際シテ用ヒラレタ。現今モ灰白軟膏 graue Salbe 或ハ水銀硬膏 Quecksilberpflaster ハ稀ニ蜂窩織炎 Phlegmone、腺腫脹 Drüsenschwellungen 等ノ際ニ用ヒラル。サレド果シテ他ノ皮膚刺戟劑 Hautreizmittel 以上ノ效力アリヤ否ヤハ頗ル疑ハシイ。

【製劑】 昇汞 Hydrargyrum bichloratum, Merkurichlorid, Quecksilberchlorid,

Sublimat, HgCl₂. 白色ノ結晶或ハ粉末デ, 16 倍ノ冷水ニ徐々ニ溶解ス。外用ニハ, 消毒藥トシテ 1:5000 乃至 1:1000 (千倍) 溶液ヲ用ユ。

處方例

1) 昇汞 } 各 1,0
食鹽 }
水 1000,0

以上爲 1000 倍昇汞水, 赤色ノ色素ニテ著色ス。
(皮膚消毒用)

2) 昇汞 0,2
食鹽 0,2
水 1000,0

以上爲 5000 倍昇汞水, 赤色ノ色素ヲ以テ著色ス。
眼ノ洗滌又ハ電法料トス

昇汞錠 Pastilli Hydrargyri bichlorati 昇汞, 「クロールカリウム」各等分ヲ混和シ, 「フクシン」等ニテ著色シ, 錠トナシタルモノデ, 一箇中 0,5 ノ昇汞ヲ含有ス(局法)。2 錠ヲ水 1「リートル」ニ溶解スレバ 0,1% 溶液ヲ得。

昇汞水ハ金屬製ノ器物ニ貯藏シテハナラヌ。

昇汞水ハ陶器・硝子器・木製器具又ハ室内ノ消毒ニ適ス。之ニ反シテ飲食用器具・玩具ノ消毒, 飲料水ニ滲透スベキ場所ノ消毒, 及ビ金屬製品・兩便・吐瀉物其他ノ排泄物ノ消毒ニ用ヒテハナラナイ。

甘汞(亞「クロール」汞) Hydrargyrum chloratum, Kalomel. 及ビ蒸氣製甘汞 Hydrargyrum chloratum vapore paratum, Dampfkalomel.

處方例 蒸氣製甘汞

以上廣口瓶ニ容レ, 毛筆ヲ以テ結膜面ニ撒布, 約 1 分間按摩シ 15 分間ノ後硼酸水ヲ以テ洗滌ス。1 日 1 回
(「フリクテン」)

酸化「チアン」汞 Hydrargyrum oxycyanatum, 強キ消毒藥ニシテ, 其效力ハ昇汞ニ等シイ。

處方例 酸化「チアン」汞 0,2—0,5
水(煮沸殺菌) 1000,0

以上洗滌料(結膜囊)(手術用) 又ハ眼電法料

黃降汞(黃色酸化汞) Hydrargyrum oxydatum via humida paratum, Hydrar-

gyrum oxydatum flavum, HgO. 黃色無晶形ノ粉末デ, 微細ニ分布セラル。

2—3% 軟膏 Salbe (Pagenstechers Salbe) トシテ, 眼科ニテ用ヒラル。

處方例 黃降汞 0,05—0,2—1,0
米國製白色「ワゼリン」 10,0

以上研和シ, パーゲンステッヘル氏軟膏トナシ, 不透明器ニ容レ, 硝子棒ヲ添フ。一日 1—2 回 小豆大ヲ點眼シ 3—5 分間按摩ス(或ハ眼瞼縁ニ塗布ス)

白降汞 Hydrargyrum praecipitatum album, Hydrargyrum bichloratum ammoniatum, weißes Quecksilberpräzipitat, NH₂HgCl. 水ニ不溶性ノ白色粉末デア。軟膏(白降汞軟膏 Unguentum Hydrargyri album) トシテ, 皮膚科及ビ眼科ニ於テ用ヒラル。

處方例 白降汞 0,1—0,5
米國製白色「ワゼリン」 10,0

以上研和, 不透明器ニ容レ, 塗布料トナス(眼瞼縁炎)

【水銀中毒ノ療法】 急性昇汞中毒ニアリテハ, 胃洗滌ヲ行ヒ, 鞣酸 Gerbsäure, 蛋白及ビ牛乳ヲ與ヘル。其他 343 頁參照。

b. 銀化合物 Silberverbindungen

最も重要ナルハ硝酸銀 Silbernitrat ノ外, 有機性銀製劑 organische Silberpräparate デアル。

【作用】 銀ハ強キ消毒作用ヲ有ス。例ヘバ乳酸銀 milchsaures Silber ハ 1:1000 ノ溶液ニ於テ 5 分間ニ葡萄狀球菌 Staphylokokken, 連鎖狀球菌 Streptokokken 及ビ脾脫疽菌 Milzbrandbazillen ヲ死滅セシメ, 又血清中ニ於ケル發育ハ 1:80000 ノ稀釋度ニ於テモ妨止セラル。

此乳酸銀及ビ其他ノ銀鹽ハ組織中ニ於テ昇汞ヨリモ強キ滅菌作用 antibakterielle Wirkung ヲ有ス。コレ蛋白化水銀 Quecksilberalbuminat } ハ比較的作用弱キモ, 之ニ反シテ銀ノ蛋白化合物ハ強キ消毒作用ヲ有スル故デア。コレ恐ラク徐々ニ銀「イオン」ヲ解離スル爲デア。

銀ハ蛋白質ニ對シテ強キ親和力 Affinität ヲ有ス。溶解セル蛋白ニ二三滴ノ硝酸銀液ヲ加フル時ハ、直チニ重キ白色ノ沈澱ヲ生ジ、此モノハ空氣ニ遇ヘバ直チニ灰色ニ變ズル。コレ還元セラレテ金屬ヲ析出スル故デアアル。此反應ハ硝酸銀ヲ皮膚、粘膜或ハ創面 Wundfläche ト接觸セシムル際ニモ起ル。即チ蛋白化金屬 Metallalbuminat ノ固キ痂皮 Schorf ヲ生ジ、此モノハ初メノ瞬間ハ白色ナルモ、直チニ灰色トナリ、最後ニ黑色ニ變ズル。コレ銀及ビ酸化銀 Silberoxyd ヲ析出スル爲デアアル。此部ノ細胞層ハ全ク破壊セラレテ固キ痂皮ヲ生ズルヲ以テ、鹽及ビ游離セル硝酸ノ深く侵入スルヲ妨ゲル。斯クノ如ク硝酸銀ノ作用ハ強クシテ然カモ表面的デアアルカラ、其爲ニ實際上廣ク應用セラレルノデアアル。而シテ深部ノ組織ハ收斂作用 Adstringierung 及ビ刺戟作用ノミヲ受ケ、之ガ爲ニ治癒ガ促進セラレル。

非常ニ稀薄ナ溶液ヲ用フル時ハ、菲薄ナル蛋白化銀ノ層ヲ生ジ、單ニ收斂作用ヲ呈ス。若シ強溶液ヲ長イ間罷法 Umschlag トシテ用ヒルカ又ハ硝酸銀ヲ軟膏 Salb^o トシテ塗布スル時ハ、灼熱性疼痛 brennende Schmerzen ヲ覺エツ、炎症及ビ水疱形成ヲ見ル。

硝酸銀ハ不快ナル苦キ收斂性ノ金屬味ヲ有シ、2—3g ヲ内服スルモ著明ナ症狀ヲ呈シナイ。0,05—0,1g ニテハ上腹部ニ溫熱 Wärme 及ビ灼熱 Brennen ノ感ヲ起シ、惡心及ビ時トシテハ嘔吐ヲ催ス。著シク大量(32g) ナレバ激甚ナル急性胃炎ヲ起スモ、生命ノ危險ヲ伴フ事ハ稀デアアル。コレ作用ガ表面的デアツテ、多クハ胃内容物ニ結合シテ蛋白化銀 Silberalbuminat 及ビ鹽化銀 Chlorsilber ヲ生ズル爲デアアル。

全身作用ハ人ニアリテハ知ラレテ居ナイ。吸收後ニ起ル唯一ノ症狀トシテ知ラル、ハ銀沈着症 Argyrie (Argyrose) デアアル。コレハ銀劑ヲ長ク使用シタル後ニ内臓及ビ皮膚ガ一種固有ニ灰黑色ニ着色スルヲ云フ。之ニヨリテ見ルニ銀鹽ハ徐々ニ腸管ヨリ吸收セラレル事ハ明カデアアル。即

チ或ル溶解性ノ化合物トナリテ血液中ヲ循環シ、遂ニ黑色ノ顆粒 Körnchen (Silbersulfid) トシテ種々ナル部位ニ沈着スルノデアアル。好シテ沈着スル器官ハ、皮膚ノ光ニ當ル部分、口腔粘膜等デアアル。往々最初齒齦ニ暗色ノ邊緣ヲ生ズル。銀沈着症ハ治癒シナイ。銀沈着症ヲ起ス量ハ硝酸銀 15—30g、「プロタルゴール」100g トセラル。

動物ノ皮下或ハ靜脈内ニ大量ノ銀化合物ヲ注射スル時ハ、中樞神經系ノ麻痺ヲ起シ、呼吸中樞ノ麻痺ニヨリテ直チニ死スル。

【應用】硝酸銀 Silbernitrat ノ溶液ハ、粘膜ノ急性及ビ慢性炎症又ハ「カタル」ニ際シテ廣ク應用セララル。其用ヒル濃度ハ腐蝕 ätzen スベキカ、收斂 adstringieren スベキカニヨリ、且應用スル場所ニヨリテ異ナル。

特ニ重要ナルハ初生兒ノ眼ノ消毒デアアル。此際ニハ2%硝酸銀溶液ヲ用ユ。之ニヨリテ盲目ノ主ナル原因タル初生兒眼炎 Ophthalmia neonatorum ヲ妨ギ得。

此他各種ノ銀製劑ハ、淋疾性尿道炎 Urethritis gonorrhoeica ノ治療ニ對シテ大ナル意義ガアル。

内用トシテ以前神經疾患ノ際ニ用ヒラレタルモ、今日ハ殆ンド用ヒラレナイ。

近時製出セラレタル有機性銀化合物ハ、蛋白及ビ食鹽ニヨリテ沈澱セラレズ、淋疾ニ際シ銀劑ヲシテ深部ニ作用セシムル目的デアアル。其中最モ重要ナルハ「プロタルゴール」Protargol デアアル。之ハ淋疾ノ際ニ硝酸銀ノ代用トシテ廣ク用ヒラル。

乳酸銀 milchsaures Silber (「アクトール」Actol) 及ビ枸橼酸銀 zitronensaures Silber (「イトロール」Itrol) ハ外科的消毒劑トシテ推奨セラレ、組織中ニ於テモ消毒作用ヲ呈ス。「イトロール」ハ昇汞ニ優ルトセラル。時トシテ淋疾、眼病等ノ際ニ硝酸銀ニ代用セララル。

「コロイド」銀 Kolloidales Silber ハ、外觀的容易ニ水ニ溶解シ、細菌

ニ對スル強キ毒物デ、現時局所並ビニ全身消毒劑トシテ往々推奨セラ
ル。各種ノ細菌性疾病ニ際シ屢々靜脈内注射トシテ試ミラル、モ、其效
果ハ必ズシモ確實デナイ。

【製劑】硝酸銀 Argentum nitricum, Silbernitrat, Lapis, Höllenstein, AgNO₃
白色或ハ灰白色ノ板狀結晶デ、水ニハ容易ニ溶解ス。種々ナル濃度ノ溶液ト
シテ外用セラル。即チ眼ノ消毒ニハ2% (生理的食鹽水ニテ後洗スル)、通常
ノ結膜炎 Konjunktivitis ニハ0,25%, 痲疾ノ際ノ通常ノ注入水 Spritzwasser
トシテハ0,05—0,5%, 口腔・咽頭・鼻腔ニ塗布スルニハ2—10%ヲ用フ。

處方例

- 1) 硝酸銀 0,2
蒸餾水 10,0

以上硝子棒ヲ以テ初生兒ニ點眼(初生兒膿漏眼ノ豫防)

(クレーデ Credé 氏法)

- 2) 硝酸銀 0,1—0,2
蒸餾水 10,0

以上眼瞼ヲ翻轉シ結膜面ニ點眼、後食鹽水ヲ以テ洗滌ス

(1日1回)(急性結膜炎、膿漏眼、急性「トラホーム」等)

「プロタルゴール」(「プロテイン」銀 Protargolum, Argentum proteinicum 8,3%
ノ銀ヲ含有スル「アルブモーゼ」化合物デア。黃色ノ微細ナル粉末デ、水ニ
ハ容易ニ溶解スル。其溶液ハ、蛋白・食鹽・鹽酸或ハ「ナトロン」鹼汁ニヨリテ
沈澱シナイ。外用トシテハ、痲疾ノ際ニハ1/8—1/4%, 後ニハ1/2—1%溶液ヲ
用フ。眼ニハ、膿漏眼 Blennorrhoe ノ豫防トシテ20%迄ノ溶液ヲ用フ。50%
溶液又ハ純粹ナル「プロタルゴール」モ毫モ腐蝕作用ヲ呈シナイ。

處方例

- 1) 「プロタルゴール」 2,0
蒸餾水 10,0

以上褐色瓶ニ入レ、點眼(初生兒膿漏眼ノ豫防)

- 2) 「プロタルゴール」 0,5—2,0
蒸餾水 10,0

以上褐色瓶ニ入レ點眼料トス(結膜炎、「トラホーム」)

- 3) 「プロタルゴール」 1,0

蒸餾水 20,0

以上尿管洗滌料

此他「イヒタルガン」 Ichtharganum (Ichthyolsilberverbindung), 「アクトー
ル」 Actol (乳酸銀 Argentum lacticum), 「イトロール」 Itorol (枸橼酸銀 Ar-
gentum citricum) 等ガアル。

「コロロイド」銀 Argentum colloidal ニハ、「コラルゴール」 Collargol,
「エレクトラルゴール」 Elektrargol 等ガアル。

【硝酸銀中毒ノ療法】 化學的拮抗劑トシテ蛋白及ビ食鹽ヲ與フ。大量ガ胃
中ニ入レル場合ニハ胃洗滌ヲ行フ。銀ノ斑點 Silberflecke ハ濃厚ナル沃度加
里或ハ「チアン」加里 Cyankalium ノ溶液ニテ除去シ得。

7. 「フォルムアルデヒード」 Formaldehyd

「フォルムアルデヒード」ハ蟻酸 Ameisensäure ノ無水化物 Anhydrid デ、
眼及ビ鼻ヲ強く刺戟スル所ノ無色ノ瓦斯デア。水ニ溶解シタルモノ、
即チ「フォルマリン」 Formalin ハ消毒藥 Desinfektionsmittel トシテ廣ク用
ヒラル。

「フォルムアルデヒード」ハ、スベテノ「アルデヒード」ノ如ク、頗ル反應
シ易キ物質デ、各種ノ有機物ト化合シ或ハ之ヲ變化セシム。即チ血液及
ビ蛋白ヲ凝固 koagulieren セシメ、皮膚ヲ收斂セシム。細菌體ヲモ侵害
スルガ故ニ、強力ナ消毒劑デア。

高等動物ニ對シテハ比較的毒性ガ尠ナイ。

【中毒】 今迄ニ稀ニ見ラレタ人間ノ中毒死ハ局法ノ25%溶液ノ大量ヲ飲
用シタ場合デアツタ。斯ル場合ニハ胃腸腐蝕 Magendarmätzung ノ通常ノ症
狀ガ現ハレ、強キ疼痛、血液性嘔吐及ビ下痢、譫妄 Delirien ガ現ハレ、速カニ
意識消失シ、脈搏ハ弱ク不規則トナリ、呼吸ハ淺ク、無尿 Anurie ヲ起シ、昏
睡 Koma ニ陥リテ死ス。

【體內ニ於ケル運命】 一部ハ酸化セラレテ、蟻酸 Ameisensäure トシテ尿中
ニ排出セラル。「フォルムアルデヒード」製劑ヲ内服シタル後ノ尿ハ腐敗
Fäulnis ヲ起ス事ガ徐々デア。點ヨリ見レバ、一部ハ不變ノマ、尿中ニ排出セ

ラル、モノト考ヘラル。

【應用】 非常ニ稀薄ナル溶液ハ、化膿性眼傷害 eitrige Augenaffectationen 及ビ角膜創傷 Hornhautwunde ノ際ニ推奨セラル。又濃厚液ハ腫「カタル」 Vaginalkatarrh 又ハ子宮内膜炎 Endometritis ノ際ニ洗滌料 Ausspülung トシテ用ヒラレ、此他限局性結核 lokale Tuberkulose 及ビ沈降膿瘍 Senkungsabszess ノ際ニ注射セラル。強溶液ニテ洗滌スレバ、皮膚ハ容易ニ收斂セラレ、足汗 Fusschweiss 又ハ其他ノ發汗ハ減退スル。サレド結核患者ニハ適當デナイ。コレ刺スガ如キ臭氣ノ爲ニ咳嗽ヲ起ス故デアル。

強キ刺激性ヲ有スルヲ以テ、一般ノ創傷消毒藥 Wundantiseptikum トシテハ使用セラレナイガ、物體ノ消毒藥トシテハ頗ル適當デアル。其優レタル點ハ、作用ガ強キ外、瓦斯トシテ到ル所ニ擴ガリ、衣服等ノ中ニモ透入スル點デアル。而シテ「クロール」Chlor ヲ應用シ得ナイ場合（色ヲ破壊スル爲）ニモ用ヒラレ得ベク、又乾性或ハ濕性溫熱ニヨリテ傷害セラルル物體、例ヘバ書籍又ハ毛皮製品 Pelzwerk 等ノ消毒ニモ適スル。サレド著シク厚ク且容積ノ大ナル物體、例ヘバ夜具 Bettzeug 等ノ消毒ハ必ズシモ完全ニ行ハレナイ。室ノ消毒ニハ「フォルムアルデヒード」ヲ噴霧器 Sprayapparat ヲ用ヒテ微細ニ分布セシメタル後、室ヲ少ナクトモ7時間以上密閉スル。其内ニ細菌ノ培養ヲ置ク時ハ此時間後ニハ死滅スル。書籍、衣服、刷毛等ハ「フォルマリン」ヲ濕シタル「タオル」ニクルミテ24時間密閉シタル容器中ニ入レル。

「フォルムアルデヒード」モ亦他ノ「アルデヒード」ト同様ニ重合 Polymerisation ヲ起シ易ク、「バラフォルムアルデヒード」ヲ生ズル。此モノハ固キ白色ノ物體ヂアツテ、之ヲ温ムレバ再ビ「フォルムアルデヒード」トナル。故ニ特別ノ装置ニテ室ノ消毒ニ用ヒラル。

此他實際上ニハ、近時屢々「フォルムアルデヒード」或ハ「バラフォルム

アルデヒード」ト過酸化金屬 Metallsuperoxyde 或ハ過「マンガン」酸加里 Kaliumpermanganat トノ混合物ヲ用ユ。此混合物ニ水ヲ加フル時ハ、水ガ過酸化物質ニ作用シテ強キ熱ノ發生ヲ促シ、濃厚ナル水蒸氣及ビ「フォルムアルデヒード」蒸氣ヲ發散セシメル。

「フォルムアルデヒード」ハ動物又ハ解剖的標本ノ貯藏ニモ缺ク可カラザルモノデアル。其固定ニヨリテ標本ノ形ヲ保持シ、又其脱色スル事モ「アルコール」中ニ保存スル際ヨリモ少ナイ。細菌培養モ「フォルムアルデヒード」ニテ固定シ、不變ノ状態ニテ保存シ、「デモンストラチオン」ヲナシ得。

食物ノ貯藏劑 Konservierungsmittel トシテハ不適當デアル。コレ蛋白ガ變化スル故デアル。

【製劑】「フォルマリン」Formaldehydum solutum, Formalin, Formol. 刺スガ如キ臭氣ヲ有スル無色ノ液體デ、35重量%ニ40容積%ノ「フォルムアルデヒード」HCHO ヲ含有ス。外用トシテハ、眼ニハ水100ccmニ2滴ヲ加ヘタルモノ、粘膜ニハ1/2—1%、洗滌ニハ10%溶液、局所ノ結核ニハ1—5:100「グリセリン」ヲ注射スル。

消毒ニハ蒸氣又ハ水溶液トシテ使用ス。

「フォルマリン」蒸氣ニテ消毒ヲ行フニハ、「フォルマリン」ヲ適當ナル裝置ニ入レ、水ト共ニ蒸發又ハ噴霧セシム。

此消毒ニ適スルハ、氣密ニ閉鎖シ得ル室、又ハ同様ノ消毒函ニ納メタル物デアル。室壁・物品等其表面ノ消毒ヲ行ヘバ充分デ内部ニ至ル迄消毒方法ヲ施ス必要ノナイ場合、又ハ他ノ消毒ヲ行ヒ得ザル貴重品其他ノ物件ノ消毒ニ用ヒラル。室又ハ函ノ消毒ニハ、其容積百立方尺ニ付「フォルマリン」40g以上ヲ噴霧セシメルカ、又ハ「フォルムアルデヒード」瓦斯15g以上ヲ發生セシメ、同時ニ約100g以上ノ水ヲ蒸發セシムルノ比例ヲ以テ處置シタル後7時間以上密閉シ置クガヨイ。

刺スヤウナ酸性臭ハ、消毒ガ終リタル後ニ「アムモニア」ニテ容易ニ除去シ得。

「フォルマリン」水 「フォルマリン」1分ニ水34分ヲ加ヘタルモノデ、用ニ臨ミテ製スル。「フォルマリン」水ハ家屋・什器及ビ衣類等ノ消毒ニ適スル。什器ヲ消毒スルニハ之ヲ撒布シ、衣服等ハ2時間以上浸漬スル。但シ兩便・吐瀉物其他ノ排泄物ノ消毒ニハ用ヒラレナイ。コレ昇飛ノ如ク蛋白ニ強ク作

用スル故デアル。

【「フォルマリン」中毒ノ療法】胃洗滌ヲ行ヒ、稀薄ナル「アムモニア」溶液或ハ易溶解性「アムモニウム」鹽ヲ與フ。然ル時ハ、腐蝕性ナク毒性少ナキ「ヘキサメチレンテトラミン」Hexamethylentetramin（「ウロトロピン」）ヲ生ズル。

8. 「アルコール」 Alkohol

「アルコール」ハ消毒作用 antiseptische Wirkung ヲ有スルモ高度デハナイ。細菌ニ對シテハ 70%「アルコール」ハ濃厚ナル「アルコール」ヨリモ作用ガ強イラシイ。葡萄酸酵 Weingärung ハ、約 15%ノ「アルコール」ガ生成セラレルト停止スル。

局所 Lokal ニ對シテハ、「アルコール」ハ刺激性 reizend ニ作用スル。コレ蛋白ガ沈澱シ且水分ヲ牽引スル故デアル。皮膚上ニハ、蒸發ニヨリテ寒冷 kühl ノ感ヲ起ス。罨法 Umschläge トシテ、厚キ被覆ヲ行ヒテ長キ間作用セシメル時ハ、潮紅 Rötung、炎症及水泡ヲ生ズル。70%以上ノ「アルコール」ハ粘膜ニ對シテハ殆ンド腐蝕性 ätzend ニ作用スル。

【應用】外用 äusserlich ニハ、「アルコール」ハ結核病者ノ發汗ヲ洗拭スル爲ニ用ヒラレ、又發熱時ニ摩擦シテ爽快ナラシメル爲、又鎮痒並ビニ冷却性ノ罨法 juckenlindernde und kühlende Umschläge トシテ、及ビ各種ノ鎮痛及ビ皮膚刺激性擦劑 schmerzstillende und hautreizende Lini-mente ノ成分トシテ使用セラル。

手又ハ手術ヲスル部位ノ消毒 Desinfektion ニハ、先ツ「アルコール」及ビ「エーテル」ニテ洗フ。コレ水溶性消毒劑ノ皮膚ニ對スル作用ヲ妨ゲル所ノ脂肪ヲ溶解スル爲デアル。又同理ニヨリテ、器械類 Instrumente ヲ清淨トナスニモ適スル。

「アルコール」罨法 Spiritusumschläge (96%, 24時間) ハ淋巴管炎 Lymphangitis、蜂窩織炎 Phlegmone、「フルンケル」Furunkel、「バナリチウム」

Panaritium 及ビ丹毒 Erysipel ノ際ニ推奨セラル。然ル時ハ炎症ハ往々消退スルカ或ハ擴ガル事ガ妨ゲラレル。コレ一部ハ「アルコール」ノ消毒作用 antiseptische Wirkung ニヨリ、一部ハ充血 Hyperämie ガ起リテ其爲ニ細菌ガ弱メラレル爲デアル。

【製劑】無水(純)「アルコール」Alcohol absolutus, 99,4—99,7 容積%ノ「アルコール」デアル。

酒精 Spiritus ハ 90—91 容積%ノ「アルコール」、稀酒精 ハ 68—69 容積%ノ「アルコール」ヲ含有ス。此兩者ハ「エキス」Extrakt、丁酸 Tinktur 及ビ多クノ他ノ藥劑ヲ製スルニ用ヒラル。

9. 硼酸 Borsäure 及 硼砂 Borax

硼酸 Borsäure ハ他ノ同濃度ノ鹽酸ヨリモ弱キ消毒作用ヲ有ス。通常使用セラル、1—4% 溶液ニテハ大多數ノ細菌ハ死滅シナイ。只溶液ト接觸スル間其發育ガ防止セラレルノミデアル。

創面ニ對シテモ、硼酸ハアマリ刺激ヲ與ヘナイ。コレ硼酸ハ弱イ酸デアツテ、濃厚ナル溶液ニテモ強酸性反應ヲ呈セズ且蛋白ヲ沈澱シナイ故デアル。

内用スレバ、硼酸溶液ハ多クハ單ニ胃及ビ腸ヲ刺激スルノミデアル。硼砂モ同様デアル。

【中毒】大量ノ硼酸溶液ニテ漿液腔・膀胱内・直腸又ハ胃ヲ洗滌シ其後之ヲ完全ニ排除シナカッタ場合ニ、重篤ナル中毒ヲ起シテ死シタル例ガアル。

中毒ノ症狀トシテハ、下痢、嘔吐、腎臟刺激(疼痛・蛋白尿・血尿 Hämaturie)、精神的興奮ヲ起シ、時トシテハ一兩日間嗜眠 Sopor ニ陥リ、遂ニ虚脱 Kollaps ニ陥ル。此他多クノ場合ニハ固有ノ皮膚障礙ガ現ハレル。即チ膿疱狀 pustulöse 及ビ丘疹狀發疹 papulöse Ausschläge ノ形ヲナシ

蕁麻疹 Urticaria 或ハ乾癬 Psoriasis (Psoriasis borica) トシテ現ハレ、長
イ間持續スル事ガアル。動物試験ニテハ、上行性中樞麻痺ガ死因デア
ル。

近來硼酸ハ貯藏薬 Konservierungsmittel トシテ使用セラル。味モ臭氣モ不
變デ且安價デアアル爲ニ、一般ニ用ヒラレルニ至ツタ。硼酸ハ多數ノ果實中ニ
天然ニ含有セラル(林檎、梨 100g 中ニ 1—2 mg, 1「リール」葡萄酒中ニ
ハ 1,5—40 mg)。然シ其量ハ僅少デアアルカラ、意味ヲナサナイ。然ルニ貯藏ノ
目的ニハ、硼酸或ハ硼砂ハ多量(0,5—3%)ニ用ヒナケレバナラナイ。故ニ通
常ノ食品中ニ硼酸ヲ加フルトセバ一日量 1—2—3g 又ハ其以上ヲ服用スル事
トナル。此量ガ果シテ無害ナルヤ否ヤト云フニ、既ニ一日量 0,5—1,0g ノ硼
酸ヲ服用シテモ腸中ニ於ケル食物ノ利用率 Ausnutzung ガ減少シ、此他炭酸
排出量ガ増加シ、斯クテ栄養障碍ヲ來シ、體重ハ減少スル。故ニ硼酸又ハ硼
砂ハ食物ノ貯藏ニハ之ヲ禁ズベキデアアル。

硼砂 Borax ハ硼酸ト同様ニ弱キ消毒作用ガアル。サレド「アルカリ」
性反應ヲ呈スルカラ、石鹼ノ如ク、皮膚ヲ清淨ニスル性質ガアル。

内服セシムレバ、硼砂ハ恰モ弱キ「アルカリ」ノ如ク作用スル。

硼砂ハ容易ニ吸収セラレ、一部ハ唾液中、大部分ハ尿中ニ排出セラル。

【應用】 硼酸ハ水溶液又ハ軟膏 Salbe ノ形チニテ、創傷薬 Wundmittel
トシテ廣ク用ヒラル。又硼酸綿 Borwatte ハ適當ナ綿帶材料デアアル。
消毒作用ハ僅少デアアルカラ、硼酸ハ新鮮ニシテ且或ル度迄清淨ナ創傷
frische und reine Wunde ニ最モ適スル。之ニ反シテ傳染ヲ起シ且分泌ノ
強イ潰瘍ニ對シテハアマリ適シナイ。此場合ニハ強キ藥劑ヲ要スル。

此他其刺激作用ハ尠ナイカラ、眼ノ洗滌、含嗽水 Mundwasser、胃ノ醗
酵(擴張 Dilatation) ノ際ノ洗滌、膀胱炎 Cystitis ノ際ニ於ケル膀胱ノ洗
滌、白帶下 Fluor albus ノ際ニ腔ノ洗滌ニ用ヒラレ、此他耳又ハ鼻疾患
ノ際ニ吹入 Einblasung ニ用ヒラル。麻菌 Gonokokken ニ對シテハ作用シ
ナイ。

硼砂 Borax モ同様ニ應用セラル。特ニ「アフター」性口内炎 Stomatitis

aphthosa 又ハ鷺口瘡 Soor ニ對シテ屢々用ヒラル。

【製劑】 硼酸 Acidum boricum, Borsäure, H_3BO_3 、白色ノ光輝アル小鱗片狀體
デ、25倍ノ冷水ニ溶解シ、温湯ニハ容易ニ溶解シ、「グリセリン」ニモ溶解スル。
外用ニハ、創傷 Wunde ノ濕布又ハ腔及ビ眼ノ洗滌ニハ 2%ヲ用ヒ、胃・膀
胱ノ洗滌ニハ 1%溶液ヲ用ユ(胃中ニ大量ガ残留シナイヤウニ注意シナケレ
バナラヌ)。

處方例 硼酸 20,0—30,0
水 1000,0

以上洗滌料或ハ藥法料(眼科)

硼酸軟膏 Unguentum acidi borici, Borsalbe, 10%:

處方 硼酸 Acid. borici 10,0
單軟膏 Ung. simpl. 90,0

以上混和

硼酸亞鉛華軟膏 Borzinksalbe:

處方 硼酸 Acid. borici } 各 5,0
亞鉛華 Zinci oxydati }
單軟膏 Ung. simpl. 100,0

以上混和

用途硼酸軟膏ニ似タレドモ、硬度ヤ、硬ク、夏季ニモ流レ出サナイ故、專
問家ニハ硼酸軟膏ヨリモ廣ク用ヒラル。

硼酸「グリセリン」Glycerinum boricum, Boroglycerinum、流動性ノ淡黃色ノ
物質デ、水ニ溶解スル。約 1 部ノ硼酸ヲ 2 部ノ「グリセリン」ト共ニ熱シテ
製ス。外用トシテハ、潰瘍 Geschwüre ニ用ヒラル。コレ硼酸ハ、此形チニテ
ハ純粹ナ硼酸ヨリモ容易ニ水ニ溶解スルカラデアアル。

硼砂 Borax, Natrium boracicum, tetraborsures Natrium, $Na_2B_4O_7 + 10H_2O$ 。
無色透明ノ結晶デ、17 部ノ冷水ニ溶解シ、「グリセリン」及ビ熱湯ニハ頗ル容
易ニ溶解スル。

外用ニハ、10%「グリセリン」溶液トシテ鷺口瘡 Soor 又ハ他ノ口腔疾病ニ
塗布 pinseln セラル。又眼科ニテモ用ヒラル。

處方例 硼砂 0,5
蒸餾水 20,0

以上點眼料, 1 日 3 回(慢性結膜炎)

10. 「アニリン」色素 Anilinfarbstoffe

「メチレン」青 Methyleneblau. $C_{16}H_{18}N_3SCl$. 鎮痛劑トシテ又ハ稀ニ「マラリア」ニ對シテ使用セラル。

「ピオクタニン」Pyoktaninト稱セラル、モノニハ、「メチル」堇 Methylviolett (「ピオクタニン」青 Pyoctanium caeruleum) 及ビ「アウラミン」Auramin (「ピオクタニン」黄 P. aureum) ガアル。消毒劑 Antiseptika トシテ、撒布料 (0.1—1%)、軟膏 Salbe (2—10%) 或ハ溶液 (0.1—1%) トシテ主トシテ眼科ニ於テ角膜潰瘍、「フリクテン」等ニ用ヒラル。

處方例 青色「ピオクタニン」 0.1—0.5

蒸餾水 10.0

以上點眼、後水ニテ洗滌ス

「トリパフラヴィン」Trypaflavin. 消毒劑トシテ創傷療法 Wundbehandlung 又ハ淋病 Gonorrhoe ニ用ヒラル、事ガアル。

「リヴァノール」Rivanol 消毒劑トシテ用ヒラル。

「フルオレスチン」Fluorescin 及「フルオレスセイン」Fluorescein 酸性「アニリン」色素ニ屬シ、黄赤色ノ粉末デアル。水ニ不溶性、「アルカリ」ニハ溶解ス。然レドモ本品ノ「アルカリ」鹽ハ直チニ水ニ溶解ス。兩種共ニ角膜表皮損傷ノ診斷ニ用ヒラル。

處方例 「フルオレスチン」 0.4

炭酸曹達 0.7

蒸餾水 20.0

以上 1 滴ヲ點眼シ、3—3 秒ノ後水ニテ洗滌ス

〔附〕 手術ニ必要ナル消毒法又ハ滅菌法

Sterilisation oder Desinfektion.

I. 手ノ消毒法 Desinfektion der Hand.

最も多く用ヒラルハ「フュールブリンゲル」氏法 Fürbringersche Methode デアル。

(1) 先ヅ手指ノ爪ヲ剪除シテ爪間ノ垢ヲ除去ス。

(2) 殺菌水ヲ用ヒ、深メ消毒セル刷毛 Bürste ト石鹼 Seife ニテ手及ビ前膊ヲ充分ニ摩擦洗滌ス(5—10 分間)。

(3) 1% 昇汞水 Sublimatlösung ニテ手及ビ前膊ヲ充分ニ洗フ(但シ昇汞ノ爲ニ皮膚炎 Dermatitis ヲ起ス人ハ 2% 「リゾール」、1% 青酸酸化汞 Hydrargyrum oxycyanatum, 1% 重沃度汞 Hydrargyrum-bijodatum ヲ用ユ)。

(4) 普通「アルコール」(70—80% 「アルコール」) ニテ手及ビ前膊ヲ充分ニ清淨ス。

II. 手術部ノ消毒法 Desinfektion des Operationsfeldes.

(1) 皮膚ノ消毒法 Desinfektion der Haut: 先ヅ手術部ノ毛髮ヲ充分ニ剃去ス。次デ手ト同様ノ消毒法ヲ行フ事アルモ、最も多く用ヒラルハ次ノ「グロッシヒ」氏法 Grossihische Methode デアル:

乾燥セル手術部ニ 5—10% 沃度丁幾ヲ廣ク 1—2 回塗布ス。更ニ之ヲ「アルコール」ニテ拭取ス。之ニヨリテ其消毒力ヲ深部ニ達セシメ、過剰ノ沃度ヲ除去シ、皮膚炎ヲ起ス事ヲ防ナクシ得。

皮膚ガ若シ甚ダシク不潔ナル時ハ、「ベンゼン」Benzin 又ハ「エーテル」ニテ清淨ニシタル後、沃度丁幾ヲ塗布スルガヨイ。(此方法ハ最も簡便ナレドモ陰囊 Skrotum, 結膜 Konjunctiva 等ニ觸ル、時ハ疼痛激甚デアル)。

(2) 粘膜ノ消毒 Desinfektion der Schleimhaut:

口腔ニ於テハ齒齦 Gingiva, 齒ノ間ヲ器械的ニ清淨ニシタル後、沃度丁幾ヲ塗布シ、3% 過酸化水素 Wasserstoffsuperoxyd ニテ屢々含嗽セシム。

陰 Scheide・肛門 Rektum 等ニ於テハ石鹼、「ガーゼ」ヲ以テ清淨ニシタル後、1—2% 「リゾール」溶液ヲ以テ洗滌スルヲ常トス。

III. 器械ノ消毒 Desinfektion der Instrumente.

之ニハ多く煮沸消毒法 Kochsterilisation (シムメルブッシュ氏煮沸器 Schimmelbuschsche Kochapparat) ヲ用フ (3—5 分)。

IV. 縫合材料ノ消毒 Desinfektion der Nahtmaterial.

1. 絹絲縫合絲 Seidennaht: 「エーテル」及ビ純「アルコール」中ニ 12 時間宛浸置シタル後、1% 昇汞水ヲ以テ 10 分間或ハ普通ノ湯ニテ 20 分間煮沸シテ用フ。之ヲ貯藏スルニハ「エーテル」及ビ「アルコール」ノ等分液中ニ於テス。而シテ用ニ臨ミ 3 分間普通ノ水ニテ煮沸シテ用ユ。(普通ノ煮沸消毒ニテハ消毒ガ充分デナイ。又餘リ長ク煮沸スル時ハ脆弱トナル懼ガアル)。

2. 腸腺 Catgut: 之ニハ種々ノ消毒法ガアル:

a. 2—4%「フォルマリン」溶液ニ約24時間浸置シ、次ニ少ナクモ12時間流水ニテ洗滌シ、次デ10, 30分間水中ニテ煮沸シ、昇汞「グリセリン・アルコール」(1,0—5,0—100,0) 中ニ貯藏スル。

b. 「エーテル」中ニ腸線ヲ入レ、全ク潤濁ノ生ゼザル迄、「エーテル」ヲ換ヘテ、脂肪ヲ全ク去リ、次デ沃度沃度加里溶液(1,0—3,0—30,0)ニ8日間浸置シ、用ニ臨ミテ滅菌水又ハ3%石炭酸水ニテ洗フ。之ヲ貯藏スルニハ純「アルコール」中ニ浸置ス。

V. 綿帯材料類消毒 Desinfektion der Verbandmaterial etc.

綿帯及ビ手術ニ用ユベキ「ガーゼ」、綿、綿帯、布類、手術着、手袋等ハ通常蒸氣消毒ヲ行フ。

II. 收斂劑 Adstringentia, zusammenziehende Mittel

一般的事項

スベテ收斂劑ニハ共通ナ性質トシテ、組織ノ表面ヲ凝結シテ蛋白ト不溶解性ノ化合物ヲ形成スル作用ガアル。化學的關係ニ於テハ、收斂劑ハ之ヲ二大別シ得。即チ(1)礬土 Tonerde 及ビ多數重金屬ノ鹽類、(2)鞣酸 Gerbsäure 之デアアル。

此等ノモノ、作用ハ大體ニ於テ同一デアアル。即チ細胞内及ビ其周圍ニ微細ニシテ稠密 dicht ナル沈澱 feiner und dichter Niederschlag ヲ形成スル。例ヘバ石灰水 Kalkwasser ノ如キモ、組織中到ル所ニ存スル炭酸「アルカリ」及ビ游離ノ炭酸ニ遇ヒテ不溶性ノ炭酸「カルチウム」Calcium-karbonat ヲ沈澱シテ收斂作用ヲ呈シ、又滑石 Talk, 白陶土 Bolus alba 或ハ石松子 Lycopodium ノ如キ化學的ニ無爲性 indifferent ナル物質モ、微細ナル被覆粉 deckende Pulver トシテ之ヲ粘膜又ハ創面上ニ與フル時ハ或ル度迄收斂作用ヲ呈スル。

サレド通常狹義ノ收斂劑ト稱スルハ、蛋白ヲ沈澱セシムル物質、即チ

金屬鹽及ビ鞣酸ノミデアアル。

1. 鞣酸 Gerbsäure

鞣酸ハ植物界ニ廣ク存スル物質ノ總稱デ、次ノ如キ特有ナル性質ヲ共有ス。即チ恰モ酸ノ如ク、酸性又ハ中性液ヨリ蛋白ヲ沈澱セシメ、生膠組織 leimgebende Gewebe ト固キ不變ノ化合物(革 Leder) ヲ形成シ(鞣皮ヲ形成 gerben ス)、且大多數ノ「アルカロイド」及ビ重金屬ノ鹽類ヲ沈澱セシメル。

或ル鞣酸ハ没食子酸 Gallussäure ト糖(即チ「グリコジッド」Glykoside) 或ハ「フロ、グルチン」Phloroglucin トノ化合物デアアルガ、多數ノモノハ、化學的ニアマリヨク知ラレテ居ナイ。此等ノモノニハ無數ノ種類ガ含マレ、其植物ニヨリテ、例ヘバ珈琲鞣酸 Kaffeegerbsäure、檳榔鞣酸 Fichengerbsäure、規那鞣酸 Chinagerbsäure、「ラタニア」鞣酸 Ratanhiagerbsäure 等ト稱セラル。

又往々、(1)例ヘバ「タンニン」Tannin ノ如ク、鐵鹽ヲ青黑色ニ沈澱セシメ且乾餾 trockene Destillation ニ際シテ「ピロガロール」Pyrogallol ヲ生ズルモノト、(2)綠色ノ鐵化合物ヲ生ジ、乾餾ニ際シテ「ブレンツカテヒン」Brenzkatechin ヲ生ズルモノトニ區別セラル。

【作用】粘膜ニ對シテハ次ノ如キ作用ヲ呈スル。即チ組織ニ接觸スレバ蛋白ヲ沈澱シテ、之ヲ凝固 koagulieren セシム。表面ノ細胞ハ正常ノ軟カサヲ失ヒ、稠密ナル硬キ層ニ變ジ、前ヨリモ容積ヲ減ズル。故ニ粘膜ハ萎縮 schrumpfen シテ蒼白 blass トナル。コレスベテノ小血管ガ收縮スルカ或ハ壓搾セラル、爲デアアル。從ツテ血液ハ凝結 koagulieren シ其爲ニ出血ハ止マル。溶解セル藥劑ハ輸出管 Ausführungsgänge ヲ通ジテ腺 Drüse 中ニ浸入シ、分泌細胞ニ對シテ表面ニ於ケルト同様な變化ヲ與ヘ、爲ニ分泌ハ止ミ粘膜ハ乾燥スル。

此他大多數ノ收斂劑ハ弱キ局部麻醉 schwach lokalanästhesierend ノ作用ガアル。コレ神經末梢部中ノ蛋白ガ沈澱スル故デアアル。

又表面ヲ化學的ニ變化セシムルガ故ニ、細菌ノ繁殖ニ不適當ニナル。即チ收斂セシ皮膚(革 Leder)ハ腐敗作用ニ抵抗シ、腐敗シツ、アル血液ハ其臭氣ヲ失フ。「タンニン」溶液ヲ加フル時ハ週餘ニ互リテ之ヲ貯藏シ得。又蛋白化金屬 Metallalbuminate モ長イ間細菌ノ作用ニ抵抗スル。斯クシテ收斂劑ハ往々本來ノ消毒劑ヨリモ長イ間持續的ニ消毒作用ヲ呈スル。本來ノ消毒劑ハ、其瞬間ハ強キ作用ヲ呈スルモ、其場所ニ固定セラレナイデ、直チニ再ビ運搬シ去ラル。

上記ノ如キ作用ガ單ニ表面 Oberfläche ニノミ止マル場合ニハ之ヲ收斂 Adstringieren ト云ヒ、之ニ反シテ若シ化學作用ガ深部ニ進ミテ組織ヲ全ク死滅セシメ、眼ニ見ユル物質缺損 Substanzverlust ヲ起ス時ハ、之ヲ腐蝕 Ätzung ト云フ。

故ニ蛋白ヲ沈澱セシムル物質ニヨル收斂作用ト腐蝕作用トハ、其間ニ毫モ明確ナル區別ガアルワケデハナイ。只量的ノ差異アルノミデア。同一物質ニテモ、稀薄ナル時ハ收斂劑 Adstringens トシテ作用シ、濃厚ナレバ腐蝕劑 Ätzmittel トシテ作用スル。

【應用】收斂劑ハ主トシテ粘膜炎「カタル」Schleimhautkatarrh ノ際ニ用ヒラル。コレ其主症狀ハ腫脹 Schwellung・潮紅 Rötung・及ビ分泌亢進ナルガ、收斂劑ノ主作用 Kardinalwirkungen ハ之ト反對ニ萎縮 Schrumpfung・蒼白 Blässe・乾燥 Trockenheit デアル爲デア。且粘膜炎「カタル」ノ病原ハ屢々細菌ナルガ、其發育ハ收斂劑ニヨリテ妨止セラレル故デア。

收斂劑ハ特ニ慢性「カタル」chronischer Katarrh ノ際ニ適シテ居ル。未ダ病變ノ初マリデ、激甚ナル炎症症狀 Entzündungssymptome ガ存スル場合ニハ、表面ノ化學的變化ハ刺戟トナリテ感受性ノアル組織ニ對シテ強キ刺戟トナリ、却ツテ腫脹・潮紅ハ増加シ、其結果疼痛ヲ覺ヘル。故ニ急性炎症ニアリテハ、激甚ナル刺戟症狀ガ消失スル迄收斂劑ノ應用ヲ

避ケルガヨイ。

例ヘバ新鮮ナル結膜炎 Konjunktivitis ハ鉛水 Bleiwasser 或ハ亞鉛水 Zinkwasser ニテ治療シナイ。淋疾 Gonorrhoe ニ際シテモ二三日間ハ過ギテカラ初メテ注入ヲ行フガヨイ。

次ニ收斂劑ノ作用ハ蛋白ヲ沈澱セシムルニアルカラ、其作用スルノハ溶解性蛋白ト直接ニ接觸スル場所、即チ達シ得ラル可キ創面・粘膜炎或ハ漿液腔 seröse Höhle ノミデア。

【吸收作用】Resorptive Wirkungen ハナイ。コレ蛋白ヲ沈澱セシメルカラ、從ツテ吸收セラレナイ故デア。血液中ニ於テハ、蛋白ニ對シテ毫モ親和力 Affinität ヲ有シナイ化合物、即チ毫モ收斂作用ヲ有シナイ化合物トシテ循環スルノミデア。

收斂劑ノ作用ハスベテ同一ナルモ、實際上ニ於テハ多少ノ差異ガアルカラ、其各々ニ就テ述ベル必要ガアル。

「タンニン」Tannin ハ收斂性ノ苦甘味(「インキ」様ノ味)ヲ有シ、1:10000 ノ稀釋度ニ於テモ尙之ヲ認知シ得。濃厚ナル溶液ハ粘膜炎ヲ粗糙トナシ且乾燥 trocken セシム。收斂劑トシテ、直接達シ得可キ粘膜炎ノ「カタル」及ビ炎症ニ對シテ用ヒラル。例ヘバ口内炎 Stomatitis 又ハ「アングーナ」Angina ノ際ニ含嗽水トシテ用ヒラレ、又慢性喉頭炎 chronischer Laryngitis ノ際ニ塗布セラル。此他泌尿生殖器ノ粘膜炎ノ際ニ洗滌料トナシ、又多量ノ粘液分泌ヲ伴ヘル大腸「カタル」ノ際ニ往々洗滌料トシテ用ヒラル。例ヘバ「コレラ」Cholera ノ際ニハ腸ヲ數「リール」ノ稀薄ナル「タンニン」溶液ニテ洗滌スル事ガアル。

止血劑トシテノ作用ニ就テハ 284 頁參照。

此他「タンニン」ハ、「アルカロイド」中毒ノ際(「モルヒネ」ノ際ハ用ヒナイ)、吐酒石 Brechweinstein、又ハ鞣酸ニヨリテ沈澱セラルベキ金屬鹽 Metallsalze ニヨル中毒ノ際ニ、解毒劑 Antidot トシテ用ヒラル。サレド

之ハ胃洗滌、下劑、又ハ吐劑ヲ與ヘタル後ノ補助タルニ過ギナイ。コレ沈澱セル「タンニン」化合物モ全然不溶解性ニハナラナイデ、腸管中ニ於テ再ビ徐々ニ吸收セラレ得ルカラデアアル。

腸管中ニ於テ收斂作用ヲ發揮スル「タンニン」製劑ニ就テハ 270 頁参照。

【製劑】「タンニン」酸 Acidum tannicum, Galläpfelgerbsäure, Gallusgerbsäure, Tannin. 白色又ハ淡黄色ノ粉末デ、水、「アルコール」及ビ「グリセリン」ニハ容易ニ溶解シ、酸性反應ヲ呈シ且強キ收斂性ノ味ヲ有ス。外用ニハ、含嗽水又ハ吸入ニハ 2%, 尿道中ヘノ注入ニハ 1—2%, 腔内ニハ 5%, 注腸ニハ 1—2%, 洗腸ニハ 1/4—1/2%, 塗布又ハ罨法 Umschlag ニハ 5—20% 溶液ヲ用ユ。坐藥トシテハ 0,2—0,5 ヲ 2,0「カ、オ」脂 Ol. Cacaoニ混ジテ用ユ(156 及 285 頁参照)。「タンニン」酸「グリセリン」 Tanninglyzerin (30%) ハ時トシテ軟膏ノ成分トシテ用ヒラル。

處方例 「タンニン」酸 1,0
蒸留水 100,0
以上罨法料(眼)

没食子酸 Acidum gallicum, Gallussäure $C_6H_2(OH)_3COOH + H_2O$, 阿仙藥 Cetechu, 五倍子 Gallae (五倍子丁幾 Tinctura Gallarum), 「ハマメリス」葉 Folia Hammamelidis 等ハ何レモ鞣酸ヲ含有ス。

2. 重金屬鹽類 Salze d. schweren Metalle.

a. 亞鉛化合物 Zinkverbindungen.

【作用】局處的ニハ、亞鉛鹽類 Zinksalze ハ金屬ト化合セル酸ノ種類ニ從ヒテ收斂或ハ腐蝕作用ヲ呈ス。而シテ「クロール」亞鉛 Chlorzink ハ強キ腐蝕劑デアアル(後章参照)。

吸收後ノ作用ニ就テハ長ク知ラレテ居ナイ。

内服スレバ、恰モ濃厚ナル鞣酸ノ如ク、激甚ナル胃腸炎ヲ起ス。

【應用】酸化亞鉛 Zinkoxyd ハ乾燥作用及ビ弱キ消毒作用アル藥劑トシテ屢々濕性濕疹 nässende Ekzem, 濕リタル皮膚皸裂 feuchte Hautfalte

ニ於ケル剝離 Exkoration, 潰瘍 Ulzeration 等ニ用ヒラル。サレド強キ炎症ノ存スル場所ニハ、アマリニ強ク刺戟スルカラ用ヒラレナイ。

硫酸亞鉛 Zinksulfat ハ最も廣ク用ヒラル、收斂劑ニ屬スル。特ニ結膜炎 Konjunktivitis 及ビ痲疾ノ際ニ用ヒラル。弱キ溶液ノ作用ハ頗ル緩和デアアル。サレド結膜炎ノ際ニハ急性刺戟症狀ガ消退シテ後ニ用ヒル。

【用量】酸化亞鉛 Zincum oxydatum, Zinkoxyd, (亞鉛華 Flores Zinci), ZnO 水ニ不溶性ノ輕キ白色ノ粉末デアアル。

處方例

1) 亞鉛華 Zinci oxydati } 等分 aa
澱粉 Amyli oryzae }
以上混和(爲撒布藥 Streupulver (亞澱散 Zincum Amylum))

2) 亞鉛華 Zinci oxydati } 等分 aa
「オレフ」油 Ol. olivar. }
以上混和(鎮炎性油劑) (亞鉛華油 Oleum Zinci)

3) 亞鉛華 Zinci oxydati }
澱粉 Amyli oryzae } 各 500,0
豚脂 Adipis suilli }
安息香酸 Acid. benzoic. 7,5

以上混和(鎮炎性軟膏) (亞鉛華「バスタ」 Zinkpasta)

亞鉛華「バスタ」ニハ此外ニ、ウイルソン氏「バスタ」 Wilson'sche Pasta (亞鉛華 6,0 安息香酸 1,0 豚脂 30,0), ラッサル氏「バスタ」 Lassarsche Pasta (亞鉛華・澱粉各 25,0 米國製「ワゼリン」 50,0) 等アルモ、上記 3) ノ處方ガ最も適當デアアル。尙亞鉛華「バスタ」ハスバテノ「バスタ」ノ基礎ナルガ故ニ、皮膚科ニ於テハ最も重要ナル處方デアアル。而シテ其中ニ「イヒチオール」 Ichthyol (2—10%), 「ツメノール」 Tumenol (2—10%) 等各種ノ藥劑ヲ加ヘテ使用シ得。

硫酸亞鉛(結晶) Zincum sulfuricum, Zinksulfat, Zinkvitriol, $ZnSO_4 + 7H_2O$. 溶解シ易キ白色結晶デアアル。外用トシテ結膜炎 Konjunktivitis ニハ 1/4—1/2%, 痲疾ニハ 1/4—1% 溶液ヲ用ユ。

處方例 硫酸亞鉛 0,03—0,05
蒸溜水(或ハ1%食鹽水) 10,0
以上點眼 1日3回(結膜炎)

【急性亞鉛中毒ノ療法】 胃洗滌ヲ行ヒタル後、炭酸「アルカリ」、例ヘバ重炭酸「ナトリウム」ヲ與ヘテ不溶性ノ炭酸亞鉛 Zinkkarbonat ヲ沈澱セシムルカ、或ハ鞣酸 Gerbsäure (強キ「コーヒー」或ハ茶) ヲ與ヘテ金屬ヲ難溶性ノ「タンニン」化合物 Tannat ニ變ゼシム。後ニハ症候療法ヲ行フ。

b. 鉛化合物 Bleiverbindungen.

【局所作用】 蛋白質ト不溶性ノ硬キ沈澱ヲ生ジ、固キ苔 Belag ヲ形成スルヲ以テ、其作用ハ表面ニ止マル。故ニ收斂性金屬ノ性質ヲ有ス。健康ナ皮膚ニ對シテハ其化合物ハ殆ンド何等ノ作用ヲモ呈シナイ。サレド溶液或ハ鉛含有硬膏 Pflaster 又ハ軟膏 Salbe ヲ長イ間用ヒテ其爲ニ皮膚ガ浸漬 mazerieren シ、粘膜ニ類似セルヤウニナレル場合ニハ、收斂性ヲ呈スル。又此要約ノ下ニテハ恐ラク吸收セラレ得。創面 Wundfläche ニ對シテハ無菌性ノ痂皮 aseptischer Schorf ヲ形成スル。之ハ空中ノ炭酸及ビ組織ノ「アルカリ」ニヨリテ炭酸鉛 Bleikarbonat ヲ沈澱セシムル事ニヨリテ一層硬クナル。

溶解セル鉛鹽ハ、初メハ甘味ヲ有シ(其爲ニ醋酸鹽 essigsaures Salz ハ鉛糖 Bleizucker ナル名ガアル)、次デ不快ナル收斂性ノ味ヲ有ス。稀薄ナル溶液ハ粘膜上ニ於テハ極メテ表面的ナ蛋白凝固 Eiweisskoagulation ヲ生ズ。其爲ニ分泌ハ制限セラレ、組織ハ貧血性トナリ、血管ハ凝血 Gerinnsel ニテ閉鎖サレル爲、小出血ハ止マル。薄キ壊死性痂皮 nekrotischer Schorf ハ強キ反應ヲ呈スル事ナシニ又物質缺損 Substanzverlust ヲ起ス事ナシニ剝離セラレ得。

濃厚ナル溶液ヲ内用スレバ、急性胃及ビ腸刺戟ノ通常ノ症狀ヲ呈ス。即チ惡心・嘔吐・急性下痢ヲ起シテ血液性糞便ヲ排出シ、最モ重篤ナル虚脱症狀

Kollapssymptome ヲ呈ス。

【吸收及排出】 腸管ヨリハ徐々ニ吸收セラレ、サレド其吸收ハ他ノ多數ノ重金屬ヨリモ容易デアル。創面ヨリモ吸收セラレ、又其化合物ハ微細ナル塵埃 Staub ノ形チトナリテ吸入セラレ、肺ヨリ攝取セラレル。

既ニ吸收セラレル時ハ、頗ル長イ間體內ニ止マリ、殆ンドスベテノ器官中ニ沈着スル。而シテ大部分ハ肝臓、脾臓、腎臓及ビ腦中ニ沈着スル。

排出ハ徐々デアツテ、腎臓、腸上皮及ビ膽汁并ビニ唾液及ビ乳汁中ニ出ル。腸中ニ排出セラレタル金屬ハ、腸内容物ノ硫化「アルカリ」ノ爲ニ不溶性ノ硫化鉛 Schwefelblei ニ變ジ、糞便ト共ニ體外ニ排出セラレル。

【應用】 外用トシテ、鉛ヲ含有セル罨法 Umschläge (鉛水 Bleiwasser)、軟膏 Salbe 及ビ硬膏 Pflaster ハ皮膚剝離 Exkoration, 褥瘡 Dekubitus, 分泌性潰瘍 sezernierende Ulzeration, 壞疽性創傷等ニ屢々用ヒラル。創面ハ乾燥シ、良キ肉芽組織 Granulation ノ形成ヲ助ケ、往々速カニ治癒セシメル。非出血性挫傷 unblutige Kontusion, 急性關節炎等ノ際ニモ鉛水罨法ヲ行ヘバ快ヨキ冷却作用ヲ呈スル。サレド深達作用ハ望マレナイ。

此他醋酸鉛 Bleiacetat ノ溶液ハ收斂劑 Adstringens トシテ粘膜ノ慢性炎症ノ際、例ヘバ痲疾 Gonorrhöe, 膻炎 Vaginitis 又ハ結膜炎 Konjunktivitis ノ際ニ用ヒラル。又酸化鉛 Bleioxyd (ヘブラ氏軟膏 Hebras Salbe) ハ、慢性濕疹 chronische Ekzema ノ治療ニ用ヒラル。

【中毒】 急性鉛中毒ハ極メテ稀デアル。コレ吸收ガ遅イ爲デアル。非常ニ大量、例ヘバ醋酸鉛 Bleiacetat 15—30g 或ハ鉛白 Bleiweiß ヲ嚥下シタ後ニハ通常胃腸炎ノ症狀ガ現ハレルノミデアル(死シ得)。有毒ナル鹽類ハ、吸收セラレル前ニ嘔吐及ビ下痢ニヨリテ排出セラレル。

之ヨリモ重要ナルハ絶エズ鉛製劑ト接觸スル者ニ見ラル、慢性鉛中毒デアル。之ハスベテノ慢性金屬中毒中最モ屢々見ラル。而シテ之ハ多クハ鉛ノ入レル「オシロイ」ヲ用フル事ニヨリ、又ハ活字工、鑄造所職工等ニ見ラル。

慢性鉛中毒ハ、不規則ニシテ且間歇的ナル經過ヲ示ス。而シテ往々發作ト

シテ現ハレル。初メニ現ハレル症状ハ、全身状態違和、食慾減退、屢々便秘、作業力減退、羸瘦、貧血、無月經 Amenorrhöe ヲ見、又婦人ニテハ屢々流産ヲ起ス。診斷上重要ナルハ、此時期ニ必ズ現ハレル血液ノ變化 Blutveränderung デアル。即チ赤血球ハ鹽基性色素 basische Farbstoffe ヲ攝取スル顆粒ヲ含有スル(顆粒性赤血球 punktierte Erythrocyten)。尙早期症状ニ屬スルハ、所謂鉛毒齒齦縁 Bleisaum デアル。即チ金屬ガ口腔中ニ排出セラレル爲ニ、齒齦 Zahnfleisch ガ暗灰色 schiefergrau ニ著色スル。

此他見ラルハ、鉛毒痙攣 Bleikolik、鉛毒關節炎 Bleiarthralgie 鉛毒麻痺 Bleilähmung 及ビ各種ノ腦疾病(鉛毒性腦疾患 Encephalopathia saturnina) デアル。(簡明内科學下巻参照)。

【劑製】 醋酸鉛 Plumbum aceticum, Bleiacetat, (鉛糖 Bleizucker), $Pb(CH_3COO)_2 + 3H_2O$ 白色ノ結晶デ、水ニハ容易ニ溶解シ、收斂性ノ甘キ味ヲ有ス。尿道中ヘノ注入ニハ $1/4-1/2\%$ 、腔内ニハ $1-4\%$ 、又眼水ニハ $1/4-1\%$ 溶液ヲ行フ。

處方例 醋酸鉛 0,1—0,5
浄水 100,0

以上眼薬法料

次醋酸鉛液 Liquor Plumbi subacetici, Acetum saturninum, (鉛醋 Bleiessig), 酸化鉛 Bleioxid ノ醋酸鉛液 Bleiacetatlösung 中ニ於ケル溶液デアル。多クハ 40—60 倍稀薄液トナシテ薬法料 Umschlag トナス。

稀次醋酸鉛液 Liquor Plumbi subacetici dilutus (Aqua Goulardi), 鉛醋 2 部及ビ水 98 部ヨリ成ル。挫傷 Kontusion, 及ビ皮膚損傷ヲ伴フカ又ハ伴ハナイ損傷ニ薬法トシテ外用セラレ、表面的收斂作用ガアル。

處方例 單鉛硬膏 Empflastr. Lithargyri 70,0
黄蠟 Cerae flavae 10,0
藥用石鹼末 Sapo medic. 5,0
精製樟腦末 Camphora tritae 1,0
「オレフ」油 Ol. oliv. 1,0
「ザリチル」酸 Acid. salicylic. 9,0

(「ザリチル」酸ハ 50% マデ入ル、ヲ得)

以上混和 (ピック氏硬膏 Picksches Pflaster,

「ザリチル」酸石鹼硬膏 Salicylseifenpflaster)

單鉛硬膏 Emplastrum Lithargyri, Emplastrum Plumbi, Bleipflaster. 落花生油 5 分、豚脂 5 分、酸化鉛細末 5 分ヲ以テ製ス(局法)。他ノ多數ノ硬膏ノ基礎トナル。

【鉛中毒ノ療法】 急性中毒ニアリテハ、胃洗滌ヲ行ヒ、漿液性飲料、牛乳、蛋白ヲ與ヘ且硫酸鹽(硫酸「ナトリウム」及ビ硫酸)ヲ與ヘテ不溶性ノ硫酸鉛 Bleisulfat ヲ形成セシム。

慢性中毒ニアリテハ、金屬ノ排出ヲ促シ(沃度加里、溫浴、鹽泉)、症候療法ヲ行フ。

c. 蒼鉛化合物 Wismutpräparate.

【局所作用】 次硝酸蒼鉛ハ、創面 Wundfläche 又ハ粘膜ニ對シテ分泌ヲ制限シ且消毒作用ヲ呈ス。コレ其僅少部ハ分泌液中ニ溶解シ、一部ハ微細ナル粉末トシテ純器械的ニ收斂作用ヲ呈スルニヨル。

【全身症状】 注射スル場合ノ症状ニ就テハ特異消毒劑ノ部 350 頁参照。新鮮ニシテ肉芽組織ヲ有シナイ創面ヨリハ著シク吸收セラレルカラ、次硝酸蒼鉛ヲ大ナル創面ニ不注意ニ使用スル時ハ頗ル重篤ナル中毒ヲ起ス事ガアル。即チ症状トシテハ流唾 Salivation・齒ガ粗トナル事 Lockerwerden・及ビ潰瘍性口内炎 ulzeröse Stomatitis・下痢及ビ腎臟炎ヲ起ス。藥劑ヲ創面ヨリ除ク時ハ、通常豫後ハ良イガ、然シ死ノ經過ヲ取ル事モアル。

【應用】 次硝酸蒼鉛ハ時トシテ乾性消毒藥 trocknes Antiseptikum トシテ外用セララル。サレド往々吸收セラレテ中毒症状ヲ起ス事ガアルカラ、注意シテ使用シナケレバナラナイ。

近來多數ノ蒼鉛製劑ノ製出ヲ見ルニ至ツタ。其目的ハ蒼鉛ノ收斂作用ト各種「ベンゾール」誘導體 Benzolderivate ノ消毒作用トヲ共有セシムル爲デアル。就中外用藥トシテノ最モ重要ナル製劑ニハ、次ノ如キモノガアル。

「**デルマトール**」 Dermatol (次没食子酸蒼鉛 basisch gallussaures Wismut) は、創傷劑 Wundmittel トシテ、又皮膚病ニ用ヒラル。此モノハ乾燥セシムル力強く、刺戟性が少ナイ。サレド不純ナルカ或ハ分泌ノ強イ創傷ニハ適シナイ。コレ創傷分泌物ト硬キ痂皮ヲ形成シ其下ニ濃汁 Eiter ガ集積スルカラデアアル。

「**キセロフォルム**」 Xeroform (「トリブーム」石炭酸蒼鉛 Tribromphenolwismut) は、沃度「フォルム」ノ代用藥トシテ最モ賞用セラル。乾性創傷療法 trockne Wundbehandlung ニ用ヒラレ、殆ンド無臭ニシテ且乾燥性ノ無毒ナル消毒藥デアアル。

【用量】「**デルマトール**」 Dermatol (次没食子酸蒼鉛) Bismutum subgallicum, $C_6H_2(OH)_3COOBi(OH)_2$ 。硫黄ノ如キ黄色ヲ有シ、無臭ニシテ水ニ不溶性ノ粉末デアアル。外用ニハ其マ、或ハ澱粉或ハ滑石 Talk (1:4) ト混ジテ撒布藥 Streupulver トナシ、又ハ軟膏 Salbe (1:5) トナシ、或ハ「コロヂウム」 Kolloidum (1:10) トシテ用ヒラル。

處方例 「**デルマトール**」

以上毛筆ヲ以テ撒布(眼ノ化膿セザル創面)

「**キセロフォルム**」 Xeroform (「トリブーム」石炭酸蒼鉛 Bismutum tribromphenolicum, $(C_6H_2Br_3O)_2BiOH + Bi_2O_3$ 。殆ンド無味無臭ノ粉末デアアル。撒布藥トシテ外用セラル。

處方例

1) 「**キセロフォルム**」

以上毛筆ヲ以テ撒布(眼ノ化膿セザル創面)

2) 「**キセロフォルム**」 0,2

米國製白色「ワゼリン」 } 各 5,0
「ラノリン」 }

以上研和點眼(角膜潰瘍)

「**ノヴィフォルム**」 Noviformium, Tetrabrombrenzkatechinwismut, 黄色無臭ノ粉末デ、消毒性撒布藥トシテ外用セラル。

「**アイロール**」 AiroI (Wismutoxyjodidgallat) 消毒性撒布藥トシテ用ヒラル。

處方例 「**アイロール**」

以上毛筆ヲ以テ撒布(眼ノ化膿セザル創面「パンヌス」)

d. 「アルミニウム」化合物 Aluminiumverbindungen.

「アルミニウム」ハ藥理學上重金属ニ屬スル。大多數ノ可溶性「アルミニウム」鹽ハ蛋白ヲ沈澱セシメ、恰モ亞鉛鹽 Zinksalze ノ如クニ、收斂作用ヲ呈シ、且此モノヨリモ消毒性が強イ。大量ノ明礬 Alaun ハ致死的胃腸炎ヲ起ス事アルモ、吸收後ノ作用ハ知ラレテ居ナイ。

現今「アルミニウム」ハ食器トシテ用ヒラル、モ、毫モ危険ハナイ。

【應用】「アルミニウム」ハ各種ノ金屬及ビ硫酸ト美麗ナル結晶性化合物、所謂 明礬 Alaun ヲ形成スル。就中「カリウム」明礬 Kaliumalaun ガ最モ廣ク用ヒラル。此モノハ甘味ヲ有シ、著シク收斂作用ヲ呈ス。此モノヲ内服セシムレバ強キ刺戟作用ヲ有シ、其溶液ハ收斂性作用ヲ呈シ、各種粘膜ノ「カタル」ニ用ヒラル。「アンギーナ」ニ際シ含嗽 Gurgeln トシテ用ヒラレ、又白帶下 Fluor albus ノ際ニ洗滌料トナス。

加里明礬ヲ注意シツ、熱スル時ハ、結晶水 Kristallwasser ヲ失ヒ(強ク熱スレバ硫酸ヲモ失フ)、所謂 枯礬 Alumen ustum, gebrannter Alaun ヲ得。結晶水ヲ失フ時ハ潮解性 hygroskopisch トナリ、局所作用ハ強メラル。

醋酸「**アルミニウム**」 Aluminiumacetat 此モノハ蛋白ヲ沈澱セズ、收斂性ヲ有シナイ。サレド強キ消毒作用ヲ有スルヲ以テ、往々創傷療法 Wundbehandlung ニ用ヒラル。

【製劑】 明礬 Alumen, Kalium-Aluminiumsulfat, Alaun, $KAl(SO_4)_2 + 12H_2O$ 。無色ノ結晶性小片デ、10倍ノ水ニ徐々ニ溶解ス。「アンギーナ」ノ際ノ含嗽料トシテハ2%溶液ヲ用フ。往々 鹽剝 Kal. chloric. ト併用ス(鹽剝 Kal. chloric. 10,0, 明礬 Alum. 6,0, 薄荷水 Aqu. Menth. pipert. 全量 ad 300,0)。微細ナル粉末トシテ喉頭中ニ吹入 einblasen シ、又5倍ノ滑石 Talk ト混ジ撒布藥トシテ用ヒラル。

處方例 明礬(結晶)

以上稜角ヲ去リテ平滑トナシ結膜面ヲ輕ク 2—3 回擦過シ
直チニ水ニテ洗滌ス(豫メ「コカイン」ヲ點眼ス)
(慢性「トラホーム」)

枯礬 Alumen ustum, gebrannter Alaun. $KAl(SO_4)_2$. 白色ノ粉末ニシテ、通常ノ明礬ヨリモ收斂性が強い。痲疾性陰炎 gonorrhoeische Vaginitis = 「タンボ」トナス。

醋酸「アルミニウム」液 Liquor Aluminium acetici, Aluminiumacetatlösung. Burowsche Flüssigkeit (醋酸礬土液 essigsäure Tonerdelösung) 約 8% 鹽基性醋酸鹽ヲ含有ス。5—10 倍ノ水ニテ稀釋シ、創傷性ヲ洗滌シ、創傷 Wunde 又ハ癢痒性痔 juckende Hämorrhoid ノ洗滌又ハ瘡法ニ用ヒラル。

硫酸「アルミニウム」 Aluminium sulfuricum, Aluminiumsulfat, $Al_2(SO_4)_3 + 18H_2O$. 白色結晶性ノ水ニ溶解シ易キ小片デア。強キ收斂作用ヲ有シ、明礬ト同様ニ用ヒラル。

「アルゾール」 Alsolum, Alsol (Aluminium acetico-tartaricum), 水・「アルコール」及ビ「エーテル」ニ溶解性ノ無色結晶デ甘味ヲ有ス。消毒薬又ハ含嗽薬トシテ 1/2—1% 溶液トシテ用ヒラル。

III. 腐蝕劑 Caustica, Ätzmittel.

1. 苛性「アルカリ」 Ätzalkali.

固形苛性「アルカリ」 feste Ätzalkali ハスベテノ酸ヲ中和シ、蛋白ト可溶性ノ膠様蛋白化物 gallertartige Albuminate ヲ形成シ、角化組織 verhorntes Gewebe ヲ溶解シ、脂肪ヲ鹼化スル。之ニ加フルニ水ニ對シテ強キ親和力 Affinität ヲ有ス。上記ノ性質ハ相集マリテ、水酸化加里 Kaliumhydroxyd 及ビ水酸化「ナトリウム」 Natriumhydroxyd ハ強力ナル腐蝕劑 Ätzmittel トナル。而シテ激甚ナル疼痛ノ下ニ組織ハ速カニ灰白或ハ褐色ノ粥狀物質ニ變ズル。物質ノマ、又ハ其濃厚溶液ニ對シテハ皮膚サヘモ侵サレル。作用スル領域内ニ乾性ノ固キ痂皮ヲ生ジナイカ

ラ、破壊ハ周圍ニ及ビ、二三日ノ後ニハ元ヨリモ 2—3 倍ノ物質缺損ヲ生ズル。空氣ニ遇フ場所ニテハ、半液狀組織ハ、二三日ノ經過中ニ乾燥シテ壞疽性ノ痂皮ヲ形成シ、2—3 週間ニ剝離シ、而シテ著シキ癢痕 Narbe ヲ形成シツ、治癒スル。

消化管ノ粘膜ハ、加里或ハ「ナトロン」鹼汁 Kali-oder Natronlauge ニヨリテ速カニ腐蝕セラル。最初ノ症狀トシテハ激甚ナル疼痛ヲ口腔内、食道ニ沿ヒ竝ビニ上腹部ニ感ジ、且激甚ナル嘔吐ガ起ル。初メハ強「アルカリ」性ノ胃内容物ナルモ、後ニハ粘液様及ビ血液様物質ヲ排出ス。粘膜ハ種々ナル深サニ溶解シ膠様ニ膨脹シ、血液滲漏シテ爲ニ暗褐色ヲ呈ス。最モ激烈ナル場合ニハ穿孔性腹膜炎ノ症狀ノ下ニ直チニ死スル。然ラザル場合ニハ食道ニ長キ狭窄 Striktur ヲ殘ス。

【應用】 水酸化「カリウム」 Kaliumhydroxyd ハ之ニ相當セル「ナトリウム」化合物ヨリモ作用強ク、時トシテ腐蝕劑 Ätzmittel トシテ、傳染性創傷 infizierte Wunde (脾脫疽 Milzbrand, 狂犬病 Tollwut), 大ナル狼瘡結節 Lupusknoten, 皮膚ニ於ケル色素沈着 Pigmentablagerungen, 空洞性皮膚腫瘍 kavernöse Hautgeschwulst 等ノ際ニ用ヒラル。物質缺損ハ二三日ノ中ニ其大サヲ増スカラ、顔面、關節、大ナル血管或ハ神經幹ノ附近ニハ用ヒナイガヨイ。限局セル作用ヲ望ム場合ニハ、煇製石灰 gebrannter Kalk ヲ加ヘル。然ル時ハ腐蝕痂ハ乾燥シ且固クナル。

苛性「カリ」ノ濃厚溶液ハ、狼瘡 Lupus, 頑固ナル濕疹 hartnäckige Ekzema 又ハ上皮形成(鶏眼 Hühneraugen) ヲ溶解スル爲ニ塗布 pinseln セラル。

【製劑】 苛性「カリ」 Kali causticum, Ätzkali, (水酸化加里 Kaliumhydroxyd), KOH. 白色ノ小片或ハ棒狀體デ、空中ニテハ好シク炭酸及ビ水ヲトリテ潮解ス。腐蝕劑 Ätzmittel トシテハ物質ノマ、或ハ同量乃至 2—3 倍ノ水ト混ジテ濃厚溶液トシテ用ヒル。狼瘡 Lupus, 頑固ナル濕疹又ハ上皮肥厚ノ際ニ、皮膚ニ塗擦 einreiben スルニハ、10—20% 溶液ヲ用ヒル。周圍ノ皮膚ハ中央ニ穴ヲ開ケタ絆創膏 Heftpflaster ニテ保護スルガヨイ。ウーシナ腐蝕

「バスタ」Pasta caustica Viennensis, Wiener Ätzpasta ハ同量ノ煨製石灰 Ätzkalk 及ビ苛性加里 Ätzkali ヨリ成ル。之ニ 2—3 滴ノ「アルコール」ヲ加ヘテ攪拌シテ濃厚ナル泥狀トナシ、布片ニ塗布シテ 10—30 分間腐蝕ス可キ部分ニ貼用ス。

「カリ」鹼液 Liquor Kali caustici, Kalilauge, 約 15% KOH ヲ含有ス。

2. 強酸類 Starke Säuren

すべて濃厚ナル酸ハ好ンデ水分ヲ牽引シ、蛋白ヲ沈澱セシム。從ツテ強力ナル腐蝕劑トシテ激甚ナル疼痛ノ下ニ生活組織ヲ破壊シ、深キ物質缺損ヲ殘ス。其作用ハ濕潤セル粘膜ニ對シテハ特ニ強イ。酸ノ爲ニ腐蝕セル粘膜ハ、最初ハ白色デ、其表面ハ乾燥性ノ煮沸シタルカ或ハ鞣皮様ノ外觀 gegerbtes Aussehen ヲ呈ス（「アルカリ」ニヨル腐蝕ニアリテハ粘膜ハ膠様ニ膨脹シ、平滑ニシテ暗色ヲ呈ス）。後ニハ血液ノ滲漏及ビ血色素ノ破壊ニヨリテ、其色ハ褐色或ハ黒色ニ移行スル。

稀薄ナル硝酸 Salpetersäure ハ蛋白ヲ沈澱セシムルモ、濃厚ナル酸ハ蛋白ヲ溶解シテ「キサントゲン」酸 Xanthogensäure ヲ生ジ、其爲ニ腐蝕癩ハ黄色ヲ呈ス（中毒ノ診斷上参考トナル）。

乳酸 Milchsäure ハ、特ニ抵抗力ノ少ナイ病的組織ヲ腐蝕スル作用ヲ有シ、周圍ノ健康組織ニ對シテハアマリ作用シナイ。腐蝕ニ際シテハ長イ間疼痛ヲ伴フ。

【應用】濃硝酸或ハ發煙硝酸並ビニ氷醋酸 Eisessig ハ傳染セル創傷 infizierte Wunde, 毛細管擴張 Teleangiectasie, 色素斑 Pigmentflecke 及ビ小ナル上皮新生物 epitheliale Neubildungen, 例ヘバ疣 Warzen 又ハ鶏眼 Hühneraugen ヲ腐蝕スル爲ニ用ヒラル。

現今ハ「トリクロール」醋酸 Trichloressigsäure ガ推奨セラル。此モノハ強キ腐蝕作用ヲ有シ、然カモ其作用ヲ一定ノ領域内ニ止メ得ベク、且

疼痛ハ短時間續クノミデアル。

乳酸 Milchsäure ハ狼瘡 Lupus ノ際ニ試ミラレ、又喉頭中ノ結核性潰瘍ニ塗布スル爲ニ用ヒラル。

醋酸 Essigsäure ハ汗分泌ヲ制限シ、且揮發スル爲ニ寒冷ヲ覺ユルガ故ニ、發熱ニ際シ之ヲ皮膚ニ用フル時ハ爽快ヲ覺ヘル。

【製劑】硝酸 Acidum nitricum, Salpetersäure. 無色ノ液體デ、約 25% HNO₃ ヲ含有ス。腐蝕劑トシテ外用セラル。

發煙硝酸 Acidum nitricum fumans, Acidum nitricum nitrosum, rauchende Salpetersäure, 黄色或ハ赤褐色ノ液體デ、空中ニテハ赤褐色ノ刺スガ如キ蒸氣 (Stickstoffdioxid) ヲ生ズ。腐蝕劑トシテ外用セラル。

醋酸 Acidum aceticum, Essigsäure. 寒冷ニ於テハ結晶スル液體デ、約 96% C₂H₄O₂ ヲ含有ス。腐蝕ノ目的ニ外用セラル。

「トリクロール」醋酸 Acidum trichloroaceticum, Trichloressigsäure, CCl₃COOH. 白色ノ潮解性結晶デ、弱キ酸臭ヲ有シ、水ニハ溶解スル。物質ノマ、腐蝕劑トシテ贅肉 Kondylome, 乳嘴腫 Papillome 又ハ鶏眼 Hühneraugen ニ對シテ用ヒラル。1% 溶液ハ鼻炎 Rhinitis, 臭鼻症 Ozaena, 扁桃腺肥大 Tonsillenhypertrophie, 「アングーナ」ノ際塗布セラル。

乳酸 Acidum lacticum, Milchsäure. 無色或ハ黄色ノ濃厚ナル液體デ強酸臭ヲ有シ、75% C₃H₆O₃ ヲ含有ス。喉頭結核ニ塗布スルニハ 20% 溶液ヨリ初メ、漸次ニ純粹ナ酸ヲ用ユ。強キ疼痛ニ對シテハ「コカイン」ヲ用ヒテ緩解ス。

處方例 乳酸 } 各 5.0
蒸餾水 }

以上結膜面ニ塗布後直チニ水ヲ以テ洗滌ス(結膜結核)

3. 重金屬鹽 Salze d. schweren Metalle

a. 硝酸銀 Silbernitrat

硝酸銀ハ表面的ノ腐蝕ヲ起ス。故ニ硝酸銀其モノハ腐蝕劑 Ätzmittel トシテ小ナル上皮新生 (疣 Warzen) 又ハ不潔ナル潰瘍等ニ對シテ用ヒラル。

此他銀化合物ニ就テハ消毒劑ノ部 401 頁參照。

【製劑】 硝酸銀加硝石 Argentum nitricum cum Kalio nitrico, Lapis mitigatus, AgNO₃ 1 部及ビ KNO₃ 2 部ヨリ成レル細キ棒デ、腐蝕劑トシテ外用ス。

b. 「クロール」亞鉛 Chlorzink

此モノハ強キ腐蝕劑デア。其作用ハ金屬又ハ酸ニヨリモ、寧ロ鹽其モノガ水ニ對シテ大ナル親和力 Affinität ヲ有スルニ歸セラル。濕潤セル組織上ニテハ潮解シ、溶解シテ深部ニ及ビ以テ腐蝕作用ヲ呈シ、激甚ナル疼痛ヲ伴フ。深部ニ及ベル淡灰白色ノ腐蝕痂ハ、1—2 週後ニ剝離シテ、肉芽組織ヨリ成レル創面ガ現ハレル。

「クロール」亞鉛ハ物質ノマ、「バスタ」(泥膏) Pasta, 又ハ腐蝕桿 Ätzstifte トシテ傳染性創瘍、微毒性「コンヂローム」syphilitische Kondylome, 狼瘡 Lupus, 腺腫瘍 Drüsengeschwülste 並ビニ惡性新生物例ヘバ乳癌 Mammakarzinom ノ際ニ用ヒラル。濃厚ナル溶液ハ、壞疽性 gangränös ニシテ且惡臭アル創傷ニ對シ、防臭性 desodorierend ニ作用スル。

【用量】 「クロール」亞鉛 Zincum chloratum, Chlorzink, Zinkchlorid, ZnCl₂, 白色ノ棒狀體或ハ白色ノ粉末デア。好シテ水ヲ引キ、空中ニテ潮解ス。外用ニハ腐蝕「バスタ」トシテ、或ハ 1—5 部ノ硝石ト融合シ腐蝕桿 Ätzstift トシテ用ヒラル。創傷 Wunde 及ビ子宮頸部 Cervix uteri ノ増殖 Vegetation ヲ腐蝕スル爲又ハ子宮内腐蝕 intrauterine Ätzung ニハ 50%, 消毒的洗滌ニハ 8—10%, 創傷ノ綳帶ニハ 0.5%, 淋疾性膣炎 gonorrhöische Vaginitis 及ビ子宮内膜炎 Endometritis ニハ 1% 溶液ヲ用フ。

c. 銅化合物 Kupferverbindungen

【作用】 局所作用ニ就テハ、銅ハ腐蝕性金屬 ätzende Metalle ト收斂性金屬 adstringierende M. トノ中間ニ位スルモ、寧ロ前者ニ近イ。

強濃度ニ於テハ胃腸粘膜ヲ腐蝕スル。サレド其大量ヲ與フル時ハ反射的ニ

嘔吐ヲ起シテ再ビ速カニ排出セラレルカラ、害ヲ及ボサナイ。銅鹽ハ他ノ吐劑ト異ナリテ、惡心及ビ分泌亢進ヲ伴ヘル不快ナル前驅期 Vorstadium ガアマリ著明デナイカラ、此點ハ利益デア。サレド他ノ吐劑ノ如ク、少量デハ嘔吐ヲ起サナイ (245 頁參照)。

【吸收及排出】 銅ハ創面ヨリハ容易ニ吸收セラレ、腸ヨリハ難吸收性ナルモ、然シ證明シ得可キ量ニ於テ吸收セラレ、主トシテ肝臓中ニ蓄積セラル。排出ハ速カデ、主トシテ胆汁中ニ排出セラレ、少部分ハ尿・唾液及ビ乳汁中ニ出ル。

【中毒】 時トシテ見ラル、急性銅中毒 akute Kupfervergiftung ハ、多クハ酸性ノ食物、例ヘバ果物等ヲ銅釜ニテ煮沸セシ場合ニ見ラレル。通常ハ粘膜刺戟ノ症狀(青綠色ノモノヲ吐出シ、腹痛、「テネスムス」又ハ激甚ナル下痢ヲ起スニ止マルモ、昏瞶・痙攣及ビ黃疸ヲ起シ、心臓及ビ呼吸麻痺ノ爲ニ死スル事ガアル。

慢性銅中毒ノ存在ハ未ダ確實デナイ。

蛋白ニテ沈澱シナイ可溶性鹽ヲ動物ノ血液又ハ皮下ニ注射スル時ハ、非常ニ有毒デ、上行性脊髄麻痺ヲ起シテ遂ニ死スル。

【應用】 外用トシテハ、硫酸銅其ノモノハ表面的ノ強キ腐蝕劑トシテ、「トラホーム」性結膜炎 trachomatöse Konjunktivitis ノ際ニ肉芽組織 Granulation ヲ破壊スルニ用ヒラル。此際銅ハ蛋白ト結合シテ固キ蛋白化合物 Albuminat ヲ生ジ、游離セル硫酸モ亦腐蝕作用ニ與ル。通常ノ結膜炎ニアリテハ稀薄溶液ヲ用ユ。

【用量】 硫酸銅 Cuprum sulfuricum, Kupfersulfat, Kupfervitriol, CuSO₄ + 5H₂O. 容易ニ水ニ溶解スル大ナル青色ノ結晶デア。「トラホーム」ノ際ニ腐蝕スル爲ニハ尖レル結晶ヲ用ヒ、又結膜炎ニアリテハ 1/4% ノ溶液ヲ用ユ。

處方例

1) 硫酸銅結晶

以上濕シタル砥石ヲ以テ磨キ、稜角ヲ去リテ平滑ニシ、結膜面ヲ輕ク 2—3 回擦過シ、直チニ水ヲ以テ洗滌シ且局所

ヲ冷ヤスヲ可トス (慢性「トラホーム」)

2) 硫酸銅	0,01—0,1
食鹽	0,1
茴香水	2,0
蒸餾水	8,0

以上 1 日 3 回點眼料 (慢性「トラホーム」)

銅礬 Cuprum aluminatum (神效石 Lapis ophthalmicus, Lapis divinus) 硫酸銅、硝酸「カリウム」、明礬及ビ少許ノ樟腦末ヨリ成リ、緩和ナル腐蝕劑デア
ル。

可溶性枸橼酸銅 Cuprum citricum soluble. 綠色ノ粉末デ、水ニ容易ニ溶解
ス。無刺戟性銅製劑トシテ慢性「トラホーム」ニ賞用セラル。

處方例	可溶性枸橼酸銅	0,05—2,0
	蒸餾水	10,0

以上點眼料 1 日 3 回 (慢性「トラホーム」)

【急性銅中毒ノ療法】自然ニ嘔吐ヲ催スモ、然シ胃洗滌ヲ行フ。化學的解
毒劑ハ、黃色血鹵鹽ノ稀薄溶液(不溶解性ノ Cupriferrrocyanür ヲ生ズル)及ビ
鐵粉 Ferrum pulveratum (酸ヲトリテ金屬性銅ヲ沈澱セシム)デア
ル。其後胃腸炎ニ對シテハ粘滑劑、持續的嘔吐・疼痛及ビ下痢ニハ阿片劑ヲ與フ。

d. 「クロム」酸 Acidum chromicum

「クロム」Chrom ハ重金屬 schweres Metall ノ一ツデ、化學的ニハ一面ニハ
鐵、一面ニハ「アルミニウム」ニ近似ス。其化合物中、醫藥ニ供セラル、ハ「ク
ロム」酸 Chromsäure, Chromsäureanhydrid, Chromtrioxyd デアル。

「クロム」酸ハ著シク潮解性 hygroskopisch デ、好ンデ濕潤セル組織ヨ
リ水分ヲ牽引シ、且同時ニ綠色ノ酸化「クロム」Chromoxyd ヲ生ジ、既
ニ通常ノ溫度ニテ有機物ニ對シテ強キ酸化作用ヲ呈スル。

物質ノマ、或ハ其濃厚溶液ハ徐々ニ深キ腐蝕作用ヲ呈シ、乾性ノ腐蝕
痂 Ättschorf ヲ殘シ、6—8 日ノ後ニ剝離セラル。

創傷 Wunde ヨリハ容易ニ吸收セラレテ特有ナ中毒ヲ起ス。其症狀ハ、嘔

吐及ビ下痢ヲ起シ、黃色或ハ綠色ニシテ後ニハ血液性ノ胃腸内容物ヲ排出
スル。

【應用】物質ノマ、或ハ濃厚溶液ハ尖形及扁平「コンヂローム」spitze
und breite Kondylom 又ハ侵蝕性潰瘍 phagadänische Geschwüre ノ際ニ
用ヒラル。稀薄ナル溶液ハ、微毒性潰瘍・又ハ鼻及ビ咽頭中ニ於ケル粘
膜肥大ニ用ヒラル。此他足汗 Fusschweiss ニ對シ注意シツ、之ヲ塗布
スル時ハ有效デア
ル。

【製劑】「クロム」酸 Acidum chromicum, Chromsäureanhydrid, Chromtri-
oxyd, CrO₃. 暗赤色ノ金屬樣光澤アル稜形體デ、空中ニテハ潮解ス。腐蝕劑
トシテ外用セラル。ソレニハ一本ノ硝子棒ニテ二三ノ結晶又ハ少許ノ濃厚溶
液ヲ該部ニ作用セシム。潰瘍又ハ粘膜ニ塗布スルニハ 5—10 % 溶液ヲ用フ。
足汗ニハ一週一回(全體トシテ三回)足ニ 5 % 溶液ヲ塗布ス(豫メ足浴ヲ行
ヒテ皮膚ヲ乾燥セシム)。

IV. 皮膚刺戟劑 Hautreizende Mittel

一般的事項

皮膚ノ刺戟及ビ炎症ヲ起ス藥物ヲ云フ。之ハ皮膚刺戟ヲシテ、深部ニ
存スル器官ノ疾病、或ハ稀ニ皮膚其モノ、疾患ニ對シテ作用セシムル爲
ニ應用セラル。之ニ局所作用 lokale Wirkungen ト Feinwirkungen トヲ
區別シ得。

局所作用 lokale Wirkungen ハ頗ル種々デ、輕度ノ充血ヨリ深キ化膿
性炎症ニ至ル迄種々ナル時期ヲ區別シ得。其作用ハ種々ナル條件、即チ
藥劑ノ化學的性質、濃度、作用セシムル時期、皮膚ノ感受性 Empfindli-
chkeit ノ大小ニ關スル。又作用ノ現ハレル速サハ、主トシテ藥劑ノ揮發
性 Flüchtigkeit ニ關スル。而シテ若シ其蒸氣ガ容易ニ皮膚内ニ浸入スル
場合ニハ症狀ハ殆ンド瞬間的ニ現ハレ得。サレド或ル物質ハ揮發性デア

ツテモ長キ潜伏期 Inkubationszeit ノ後ニ初メテ現ハレル。

正規ノ作用ハ、次ノ如クニ現ハレル：即チ皮膚ハ最初強ク潮紅シ。溫熱、刺衝 Stechen 及ビ痒痒 Jucken ノ感ヲ起シ、稀ニハ同時ニ激甚ナル灼熱性疼痛 brennende Schmerzen ヲ感ズル。其激シサハ、多クハ作用ノ速サニ平行スル。即チ非常ニ速カニ作用スル揮發性物質ハ數分後ニ殆ンド堪ヘ難キ灼熱 Brennen ノ感ヲ起スモ、之ニ反シテ徐々ニ作用スル藥劑ヲ作用セシムル時ハ深キ炎症ヲ起シ、然カモ著シキ疼痛ヲ伴ハナイ。血管擴張 Gefässerweiterung ハ初メハ乳頭 Papillen 中ニ存スル最モ表面的ナ毛細管ニ見ラル、モ、後ニハ皮膚ノ深部及ビ皮下組織中ニ存スル動脈ニモ見ラレル。之ハ知覺神經 sensible Nerven ニヨリテ媒介セラル、反射 Reflex ニヨルカ或ハ直接血管壁ヲ刺戟スル爲デアル（此時期ヲ誘起スル爲ニ用ヒラル、藥劑ヲ引赤劑 Rubefacientia ト云フ）。

今刺戟ヲ與フル物質ヲ除去スル時ハ、充血ハ直チニ消失シ、皮膚ハ正常ノ状態ニ復歸シ、而シテ只疼痛ガ二三時間尙持續スルノミデアル。

然レドモ若シ引キ續キテ藥劑ヲ作用セシムル時ハ、血清 Serum ガ滲出シ初メ、乳頭層 Papillarschicht ト上皮 Epidermis トノ間ニ集合シ、爲ニ上皮ハ隆起スル。而シテ水様透明ナル内容物ヲ充タセル小泡 Bläschen ヲ生ジ、漸次ニ癒合シテ大ナル泡トナル。而シテ之ハ皮膚刺戟劑ヲ作用セシメタル全領域ヲ占ム。若シ大ナル水泡ガ暫時存在スル場合ニハ、内容ハ最早透明ニ止マラス、白血球ガ游出シテ其爲ニ濁濁スルニ至ル。而シテ此時期ニ於テ多クハ作用ガ止ム。斯ク水泡ノ生ズル迄作用セシムル藥劑ヲ發疱劑 Vesicantia ト云フ。

此際上皮ヲ破リテ液體ヲ排出セシムル時ハ、擴大セル上皮ハ皺裂ヲ生ジ、其下ニ速カニ上皮ヲ新生ス。而シテ癩痕 Narbe ヲ生ズル事ナシニ治癒スル。サレド其所ニハ褐色ノ色素斑ヲ胎ス。

發疱劑 Zugpflaster ヲ引キ續キ尙作用セシムル時ハ、水泡ハ漸次ニ黄色ヲ帶ビ、遂ニハ純粹ナル膿 Eiter ニ變ズル。

遠達作用 Fernwirkungen. スベテ皮膚ノ表面ニ與ヘタル刺戟ハ、中樞神經系ニ傳達セラレ、之ガ爲ニ血管ノ充滿度 Gefäßfüllung、心臟動作及ビ呼吸ニ變化ヲ來ス。而シテ其度ハ刺戟ノ強サニヨリテ異ナル。

循環 Zirkulation ニ關シテハ、弱キ皮膚刺戟ハ血管特ニ皮膚血管（刺戟部ノミデハナイ）ノ狹小 Gefäßverengerung・血壓上昇・心臟動作ノ加速及ビ體內ニ於ケル溫度ノ上昇ヲ來ス。強キ皮膚刺戟ニアリテハ、初メ狹小シタル後、直チニ血管擴張・血壓下降及ビ表面ニアル血管中ニ於ケル血液ガ冷却スル爲ニ體溫ノ下降ヲ來ス。サレド臨床上ニ於テ用ヒラルル皮膚刺戟ニヨリテハ體溫及ビ血壓ニハ著シイ變化ハ認メラレナイ。

呼吸 Respiration. 急激ニ強キ刺戟ヲ大ナル皮膚ノ表面ニアテル時（冷水灌溉 kalte Dusche）ハ瞬間的呼吸停止ヲ來ス。サレド弱キ刺戟又ハ中等強度ノ刺戟ハ既ニ減弱セル呼吸ニ對シテ興奮性ニ作用シ吸氣運動 Inspirationsbewegung ヲ誘起セシム。故ニ從前ヨリ、例ヘバ假死ノ状態ニアル溺死者 scheintote Ertrunkener 又ハ假死ノ初生兒 asphyktische Neugeborener ノ治療ニ應用セラル。虚脱状態 Kollapszustände ニ際シテ強キ皮膚刺戟ヲ應用スルハ、大脳ニ作用ヲ及ボシテ意識ヲ恢復セシムル爲デアル。

新陳代謝 Stoffwechsel. 全身ノ皮膚ノ表面ヲ刺戟スル時ハ（例ヘバ鹽類ヲ含有セル浴ニヨリテ）、新陳代謝ハ亢進スル。

炎症 Entzündung ニ對スル作用ハ頗ル重要デアル。皮膚刺戟劑ガ、附近ニ存スル炎症ノ治療ヲ促進スル事ハ實驗的ニ證明セラレタ所デアル。此際治癒或ハ恢復ヲ見ル原因ハ、浮腫 Ödem ガ起リ且血液循環ガ盛ンニナル爲ニ、有害ナ物質ガ稀釋セラレテ、吸收ガ容易トナリ、且病的組織

中ニ大量ノ「アレキシン」ヲ見ルニヨル(ビール氏ノ鬱血療法 Hyperämiebehandlung nach Bier)。

此他皮膚ノ刺戟或ハ炎症ハ、往々深部或ハ遠隔セル部分ニ存スル器官ノ炎症ニ對シテモ作用ヲ及ボシ、之ヲ減退セシメ且疼痛ヲ消失セシメルヲシイ。之ハ恐ラク反射作用 Reflexphänomen ニ歸セラル。

【應用】 最モ屢々皮膚刺戟劑ニテ治療ヒラル、疾病ハ、漿液膜 seröse Häute ノ炎症、例ヘバ心囊炎 Pericarditis、腦膜炎 Meningitis、及ビ特ニ肋膜炎 Pleuritis デアル。乾性肋膜炎ノ際ニハ、疼痛ヲ輕減シ且鎮炎ノ目的ニ用ヒラレ、漿液性肋膜炎ニアリテハ滲出液 Exsudate ノ吸收ヲ促進スル爲デアル。

「コンゴ」溶液 Kongolösung ヲ家兎ノ胸腔ニ入レテ其吸收ヲ檢スルニ、皮膚刺戟ニヨリテ著シク強盛トナルヲ見ル。

粘膜ノ炎症ニ際シ收斂性又ハ強キ皮膚刺戟ヲ與フル藥劑ヲ使用スルニハ、通常規則トシテ、最モ急性ナル初メノ時期、即チ炎症ガ最モ強烈デ發熱ガ其最高點ニアル時期ニハ之ヲ應用シテハナラヌ。

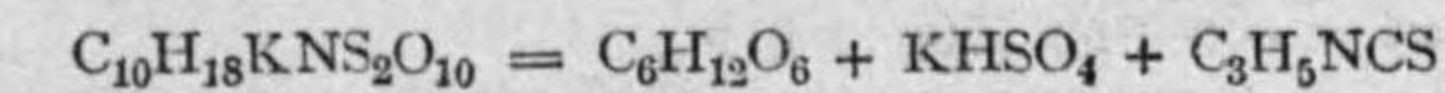
皮膚刺戟劑ハ肺疾患、殊ニ氣管枝炎 Bronchitis ノ際、特ニ呼吸困難 Dyspnoe ガ存スル際、此他慢性浸潤(結核ノ際ニハ用ヒナイ)及ビ肺水腫 Lungenödem ノ際ニモ用ヒラル。

此他皮膚刺戟劑ノ重要ナル適應症ハ疼痛 Schmerzen デアル。之ハ急性神經炎 akute Neuritis ノ際ニ最モヨク作用スルモ、多クノ他ノ場合ニモ作用スル。神經性胃痛 Kardialgie 又ハ嘔吐モ往々止ム。

皮膚ノ榮養ノ不長ナル場合、例ヘバ衰弱者、高齢者又ハ糖尿病患者ニハ創傷ヲ起ス危險ガアルカラ、規則トシテ之ヲ用ヒナイガヨイ。特ニ「カンタリヂン」Cantharidin ハ斯ル場合ニハ治癒シ難キ潰瘍 Ulzeration ヲ起シ易イ。此他小兒ニハ最モ緩和ナル作用ヲ呈スル藥劑ヲ用ヒル。

1. 芥子 Senf

芥子 Semen Sinapis 中ニハ「ジニグリン」Sinigrin (「ミロン」酸「カリウム」myronsaures Kalium) ナル「グリコジッド」ト、「ミロジン」Myrosin ナル酵素トヲ含ム。而シテ「グリコジッド」ハ水ノ存在ニ於テ酵素ノ爲ニ糖 Zucker, 酸性硫酸加里 saures Kaliumsulfat 及ビ「エーテル」性芥子油 ätherisches Senföl, Isosulfocyanallyl, C_3H_5NCS ニ分解シ、芥子油ガ作用ヲ呈スルノデアル:



「グリコジッド」其モノハ刺戟作用ヲ呈シナイ。

「エーテル」性芥子油ハスベテノ皮膚刺戟劑中最モ速カニ作用スル。此モノハ殆ンド瞬間的ニ潮紅及ビ刺スガ如キ疼痛ヲ起シ、其後直チニ強キ充血ヲ起シ、且恰モ融解セル金屬ヲ皮膚ノ上ニ當テタルガ如キ強烈ナル灼熱ノ感ヲ起ス。故ニ芥子硬膏 Senfpflaster ハ一度ニ大ナル皮膚ノ領域ニ用ヒテハナラヌ(コレ疼痛ガ堪ヘ難イ故デアル)。且アマリ長イ間之ヲ用ヒル事ヲ禁ズル。

作用ハ同時ニ深部ニモ及ブ。揮發シ易キ「エーテル」性油ハ速カニ皮膚ノ深層ニ及ビ、其所ニモ炎症ヲ起ス。斯クシテ初メハ水泡ヲ形成シ、此モノハ往々化膿性ニシテ治癒シ難キ潰瘍ヲ貽ス。

【應用】 芥子紙 Senfpapier ハ現今ハ誘導劑 Derivans トシテ、頭部充血・頑固ナル胃痛・嘔吐等ニ用ヒラレ、又氣管枝炎ニモ用ヒラル、足ニ芥子ヲ含有セル溫浴ヲトラシムル事ハ緩和ナル誘導 Ableitung ノ目的ニ應用セラル。

芥子末 Senf ハ芥子ノ種子ヲ粉末トナシ壓搾シテ脂肪性油 fette Öle ヲ除去シタルモノデアル。香料 Gewürze トシテ廣ク用ヒラル。

【製劑及用法】 芥子 Semen Sinapis. 本邦ニ産スル「からしな」Sinapis cernua, 又ハ歐洲ノ黒芥子 Sinapis nigra (Cruciferae) ノ種子デ、約帽針頭大、黃褐色又ハ黒褐色ヲ呈ス。

芥子泥 Senfteig トシテ用ヒラル。即チ芥子泥ヲ製スルニハ、新ラシキ芥子

末=少量ノ微温湯ヲ注ギ、掻キ交ゼテ固キ泥トナシ、綿布・綿紗・脱脂紋巴或ハ日本紙ニ厚サ一分位ニ延ベ、其面ヲ日本紙又ハ綿紗ニテ被フ。熱湯(60°以上)ナレバ酵素ノ作用ヲ失フ。芥子泥ハ強キ疼痛ヲ覺ユルマデ貼シ置クガヨイ。強キ疼痛ヲ覺ユルハ體ノ部位ニ從ヒ遲速アルモ、大抵10分乃至15分間デアル。芥子泥ヲ剥ギタル後ニハ其所ヲ微温湯ニテ洗フ。若シ芥子泥ノ刺戟ガ強クテ水泡ヲ生ズル時ハ、少量ノ「オレフ」油或ハ硼酸軟膏ヲ塗リ、綿帶スル。又疼痛激シキ時ハ硼酸水ニテ濡シタル綿紗ニテ被フガヨイ。

足浴 Fußbad = ハ芥子約100gヲ用フ。

芥子紙 Charta sinapisata, Senfpapier. 芥子末ヲ紙片ニ塗リタルモノデア
ル。微温湯ニテ濡シテ之ヲ皮膚ニ貼シ約15分ノ後ニ除去ス。

2. 「テレピン」油 Terpentinöl

「テレピン」Terpentin ハ多數ノ松 Pinus 屬植物ノ幹ノ損傷ヨリ流出セル粘稠ナル「バルサム」Balsame デ、其蒸餾ニヨリテ得タル物 Destillat ハ「テレピン」油 Terpentinöl デアル。

【作用】健全ナル皮膚ニ短時間(1/2—1時間)用フル時ハ潮紅 Rötung 及ビ強キ灼熱 Brennen ノ感ヲ起シ、長ク作用セシムレバ水泡 Blasen ナ形成スル。

【應用】スベテ皮膚刺戟ノ適應症ニ對シテ用ヒラル。即チ神經痛又ハ「ロイマチス」性疼痛(「テレピン」罨法 Terpentinumschläge)ニ其儘用ヒラレ、又ハ油ト混ジテ皮膚刺戟性硬膏 Pflaster, 軟膏 Salbe 又ハ擦劑 Linimente ノ成分トシテ用ヒラル。

「テレピン」油ノ吸入及ビ内用ニ就テハ191頁參照。

古キ「テレピン」油ハ急性磷中毒ニ對シテ用ヒラル。コレ尙胃中ニ存スル磷ヲ酸化シテ無毒ナル亞磷酸 phosphorige Säure 及ビ他ノ酸素化合物トナス爲デアル。蓋シ古キ「テレピン」油ハ酸素ヲ攝取シ過酸化物 Superoxyde ナ形成スルカラ、強力ナル酸化劑 Oxydationsmittel デアル。反之新鮮ナル「テレピン」油ハ磷ヲ溶解シ吸収ヲ促進セシメルカラ、却ツテ有害デアル(300頁參照)。

【用量】「テレピン」油 Oleum Terebinthinae: 外用 äußerlich = ハ擦劑 Einreibungen 又ハ罨法 Umschlag = 用ヒラル。即チ布片ヲ熱湯ニテシボリ、「テレピン」油ニテ濡ス。3/4—1時間後ニ水泡ヲ形成シタラバ綿帶ヲ除去スル。長ク施ス場合ニハ同量ノ脂肪油 fettes Öl ヲ加ヘテ用フ。

3. 「カンタリス」 Cantharides

「カンタリス」Cantharides ハ、本邦ニ存スル豆斑猫(「まめはんめう」) Epicauta Gorhami (又ハ歐洲ノ芫菁 Lytta vesicatoria) ナル昆蟲ヲ乾燥セルモノデアル。有效成分ハ其中ニ含有セラル、一種ノ無水酸 C₁₀H₁₂O₄ ニシテ、「カンタリヂン」Cantharidin ト稱セラル、白色結晶性ノ物質デア
ル。

【作用】「カンタリヂン」ハ非常ニ強イ作用ヲ呈スル物質デア
ル。1/10mgヲ油中ニ溶解セルモノハ水泡ヲ形成スル。サレド皮膚ノ炎症ハ徐々デ、疼痛ハ中等度デア
ル。「カンタリヂン」ハ固體デ揮發性デナイカラ、皮膚ノ表層ト接觸スルノミデア
ル。夫故ニ生ジタル水泡ハ癩痕 Narbe ナ形成スル事ナシニ速カニ治癒スル。

斯クノ如ク強クシテ然カモ表面的ナ作用ヲ呈スルカラ、「カンタリヂン」ハ皮膚ノ深部ニ侵入スル所ノ上記ノ揮發性物質ト異ナリ、發泡劑 blasenziehendes Mittel トシテ最モ適當デア
ル。

「カンタリヂン」ハ皮膚並ビニ粘膜ヨリ吸収セラル。サレド通常ノ「カンタリス」硬膏ヨリハ極メテ僅少量ガ吸収セラレルノミデア
ルカラ、毫モ全身症狀ヲ呈シナイ。サレド腎臟ヨリ排出セラル、際ニ刺戟作用ヲ呈スル。故ニ腎臟病者ニハ之ヲ用ヒテハナラナイ。

若シ尿中ニ大量ノ「カンタリヂン」ガ含有セラル、場合ニハ急性腎臟炎ヲ起シ、腎臟部ニ疼痛ヲ覺ヘ、強度ノ蛋白尿及ビ血尿ヲ起ス。膀胱及ビ尿道ノ粘膜モ同時ニ炎症ヲ起ス。其爲ニ疼痛性勃起 schmerzhaftere Erektion 及ビ性慾亢進 gesteigerte Geschlechtstrieb ヲ見ル。夫故ニ「カンタリス」ハ嘗ツテ催淫劑

Aphrodisiakum (Liebestranke) トシテ 濫用セラレタ。婦人ニアリテモ稀ニ類似状態(慕男狂 Nymphomanie) ヲ見、且重篤ナル中毒ニアリテハ流産ヲ起ス。「カンタリヂン」ノ溶液ハ粘膜ニ接觸スル時ハ、速カニ激甚ナル炎症ヲ起ス。即チ嚥下スル時ハ口腔、咽頭、胃及ビ腸ニ水泡ヲ形成シ、爲ニ著シク口渴ヲ覺ヘテモ嚥下シ得ナイ。激甚ナル腹痛ヲ訴ヘ、此他嘔吐・下痢・呼吸困難・時トシテハ譫妄 Delirien 及ビ痙攣ヲ見、通常ノ虚脱症状 Kollapssymptome ノ下ニ死スル事ガアル。サレド斯ル中毒性胃腸炎ノ外ニ、直接中樞神経系ニ對シテモ麻痺作用 lähmende Wirkung ヲ呈スルラシイ。

致死量ハ 1.5—3.0g ト云ハルルモ、之ヨリモ大量ニ堪ヘタル例モアル。

或ル種ノ動物(例ヘバ鶏、蛙)ハ、「カンタリヂン」ニ對シテ頗ル抵抗力ガ強い。

【應用】主トシテ發疱劑 blasenziehende Präparate トシテ用ヒラル。漿液膜ノ炎症、特ニ肋膜炎、併ビニ神経痛及ビ他ノ疼痛ニモ用ヒラル。

【製劑】「カンタリス」硬膏 Emplastrum Cantharidum (發疱膏)：此膏藥ハ名刺ノ厚サ位ニ布ニ延バスカ、或ハ紙ニ延ベタルモノ(發疱紙)ヲ貼シ、絆創膏或ハ繃帶ニテ固定ス。又稍々大ナル絆創膏ノ縁ヲ殘シテ其中央部ニ此膏藥ヲ延ベテ貼ツテモヨイ。作用ハ徐々デ、膏藥ヲ貼シタル後初メノ 2—4 時間ニハ潮紅ノミヲ見、10—12 時間後ニハ硬膏ノ領域ニ一ツ或ハ二ツノ大ナル水泡ヲ形成スル。硬膏ヲ注意シツツ除去スレバ上皮ハ裂ケナイカラ、消毒シタル刀尖或ハ針ニテ泡膜ヲ刺シ、水泡ノ内容液ヲ排出シ得。次ニ殘レル硬膏ノ殘リヲ温湯或ハ油ニテ除去シタル後、其部分ニ消毒性ノ繃帶ヲ施ス(例ヘバ硼酸軟膏 Borsalbe ヲ塗りタル綿紗ニテ被フ)。水泡ノ表皮ヲ剥イデハナラヌ。

發疱液ハ屢々腸「チフス」等ノ診斷ニ、血清ニ代用セラル。此場合ニハ丁寧ニ泡液ヲ滅菌セル試験管ニ採取スル。

4. 皮膚刺戟ノ目的ニ用ヒラルル此他ノ藥物

a. 沃度丁幾 Tinctura jodi

往々疼痛ヲ輕減シ或ハ滲出液ノ吸收ヲ促進スル爲ニ炎症部ノ上ニ塗布セラル(例ヘバ肋膜炎ノ際)。詳細ハ 393 頁参照。

處方例	沃度丁幾	1,0
	石炭酸	1,0
	「タンニン」酸	2,0
	「ラノリン」	30,0
	塗布料(凍傷)	

b. 「カムフル」 Camphora

「カムフル」ヲ健康ナル皮膚ニ外用スル時ハ、潮紅 Rötung 及ビ刺戟 Reizung ヲ起シ、之ヲ持長スル時ハ炎症ヲ増悪セシム。

外用トシテハ、神経痛 Neuralgie、「ロイマチス」性疼痛、炎症、挫傷 Kontusion 等ニ擦劑 Linimentum ノ成分トシテ塗擦 einreiben セラレ或ハ罨法 Umschlag トシテ用ヒラル。

【製劑】「カムフル」丁幾(樟腦精) Spiritus camphoratus 10%ノ精製樟腦ヲ含ム。

c. 「アムモニア」 Ammoniak

「アムモニア」Ammoniak ハ、酸 Säure ト鹽 Salze ヲ形成シ、其中ニテハ NH_4 トシテ含有セラル。「アムモニア」ハ水ニ溶解シテ「アルカリ」性液體ヲナス。之ヲ「アムモニア」水(礮砂精) Salmiakgeist ト云フ。之ハ一部ハ NH_3 ヲ含有シ、一部ハ水酸化「アムモニウム」 NH_4OH ヲ形成スル。後者ハ NH_4 ト OH 「イオン」トニ解離 dissoziieren セラル。

【作用】強キ「アムモニア」溶液ハ其ノ OH 「イオン」ニヨリテ、恰モ加里及ビ「ナトロン」濃汁ノ如ク、皮膚及ビ粘膜ニ對シテ腐蝕性 ätzend ノ作用ヲ呈ス。サレド其作用ハ弱イ。コレ「アムモニア」溶液ニ於テハ OH 「イオン」ノ濃度ガ低イカラデアル。

【應用】「アムモニア」水ハ屢々「カムフル」、「テレピン」油其他ノ皮膚刺戟劑ト共ニ擦劑 Linimentum ノ成分トシテ用ヒラレ、「ロイマチス」性及ビ神経痛性疼痛、轉振 Verstauchungen、挫傷 Kontusion 等ニ際シテ塗擦セラル。又稀薄ナル「アムモニア」溶液ハ洗滌水 Waschwasser トシテ癢痒性皮膚病 juckende

Hautaffektion 又ハ昆蟲ノ刺傷 Insektensticheニ對シテ用ヒラル。急性虚脱状態 akute Kollapszustände (人事不省 Ohnmacht)ニ於ケル嗅入劑 Riechmittel トシテノ應用ニ就テハ第 83 及 174 頁參照。此他酸性腐蝕性蒸氣ヲ吸入セシ際ニ「アムモニア」ヲ吸入セシムレバ治療ノ效ガアル。

d. 「ヂオニン」 Dionin

「ヂオニン」ハ、物質ノマ、又ハ溶液トシテ之ヲ眼ニ入ルル時ハ一時灼熱 Brennen ガアルモ、忽チニ消失シテ結膜 Conjunctivaノ強キ潮紅及ビ腫脹ヲ起ス。コレ血管ヨリ血清 Serum ガ出ル爲デアル。二三時間ノ後ニナレバ、液ハ再ビ吸收セラレ、往々病的産物モ亦同時ニ吸收セラレ。夫故ニ眼病 Augenkrankheitenニ際シ刺戟症狀ガ消退シタル後ニ吸收ヲ促進スル藥劑トシテ用ヒラル。即チ角膜ノ潤濁 Hornhauttrübungen, 虹彩炎 Iritis, 角膜潰瘍等ノ際ニ應用セラレ。

其他ノ作用ニ就テハ 178 頁參照。

【用量】鹽酸「ヂオニン」 Dionin (鹽酸「エチル・モルヒネ」 Aethylmorphinum hydrochloricum). 眼ニハ粉末或ハ 5% 又ハ其以上ノ溶液トシテ用ヒラル。

處方例 「ヂオニン」 0,2—0,5—1,0
蒸餾水 10,0
以上點眼 1 日 1—2 回

e. 炭酸 Kohlensäure

純粹ナ炭酸ハ健康ナ皮膚ニ對シテハ輕度ノ刺戟 Prickeln, 潮紅 Rötung 及ビ溫感 Wärmegefühlヲ起シ、次デ知覺 Empfindungノ鈍麻 Abstumpfung・手袋ヲハメタ感・或ハ著明ナル知覺脱失 Anästhesieヲ來ス。

【應用】炭酸浴 Kohlensäurebäderハ、心臟病ノ際ニ用ヒラル。浴後ニハ、皮膚ノ表面ハ潮紅シ、脈搏數ハ多クハ減少スル。サレド心臟病ノ重篤ナル場合ニハ、之ヲ用ヒ得ナイ事ハ勿論デアル。

V. 鎮痒劑 Antipruritika

鎮痒劑トシテ用ヒラルルハ、1—5% 石炭酸 Karbolsäure, 「メントール」 Menthol, 樟腦 Camphora, 「ツメノール」 Tumenol (「テール」類), 石灰水, 「レゾルチン」 Resorcin ノ外, 「クロール・エチル」 Äthylchlorid, 1—5% 「コカイン」及ビ其代用藥 (「オイカイン」 Eucain, 1—5% 「ニルバニン」 Nirvanin, 10% 「オルトフォルム」 Orthoform) 及ビ 10—20% 「プロモコル」 Bromocollun 等デアル。

石炭酸ハ、腐蝕並ビニ局所麻酔作用アルガ故ニ、其稀薄溶液ハ皮膚痒 痒 Hautjuckenニ對シテ用ヒラル。

處方例 「トラガカントゴム」 Tragacanthgummi 5,0
「グリセリン」 Glycerini 2,0
蒸餾水 Aqu. dest. 100,0
亞鉛華 Zinci oxydati 10,0
石炭酸 Acidi carbolici 1—2,0
以上混和 (1—2% 石炭酸亞鉛華糊膏 Carbolzinkliniment)

「メントール」(薄荷腦) Mentholum.

【作用】皮膚ヲ「メントール」ニテ摩擦スル時ハ寒冷ナル爽快ノ感 erfrischendes Gefühl von Kälte ガアリ、次デ 10—15 分後ニハ輕度ノ刺戟 Prickeln 及ビ灼熱 Brennenヲ感ズル。コレ「メントール」ハ寒冷 Kälteヲ感ズル神經末梢ヲ刺戟スル作用アルガ爲デアル。溫熱 Wärmeヲ感ズル神經モ亦作用ヲ受ク。夫故ニ溫熱感受性 Wärmeempfindlichkeitノ方が生理的ニ寒冷感受性 Kälteempfindlichkeitヨリモ大ナル場所ニテハ、灼熱ノ感 Hitzeempfindungヲ起ス。サレド或ル場所、例ヘバ額 Stirn 及ビ顳部 Schläfenニ於テハ、初メハ寒冷 Kälteノミヲ感ズル。コレ此所ニ

ハ寒冷神經 Kältnerven ガ多イ爲デア。寒冷ノ感 Kältegefühl ガアル場合ニハ寒冷 Kälte ニ對スル過敏 Hyperästhesie ヲ伴フテ居ル。夫故ニ該部ニ於テハ、通常ノ體温ヲ異常ニ冷タク感ズルノデア。

温覺 Temperaturempfindung ノ變化ハ、知覺麻醉性鎮痛作用 anästhesierende, schmerzstillende Wirkung ヲ伴フ。サレド之ハ皮膚ノ直下ニアル神經ニ及ブノミデア。

「メントール」ノ「アルコール」溶液ハ強消毒性 stark antiseptisch デアル。

【應用】外用トシテハ鎮痒劑 juckentillendes Mittel トシテ用ヒラル。

又鼻「カタル」 Schnupfen ノ際ニハ分泌 Sekretion ヲ減ズル。

此他「メントール」ハ所謂偏頭痛桿 Migränestifte トシテ偏頭痛及ビ顔面ノ疼痛、殊ニ好ンデ上眼窩神經痛 Supraorbitalneuralgie ニ對シテ用ヒラレ、往々一時的ニ之ヲ緩解スル作用ガアル。

【用量】外用ニハ、痒感 Jucken ニ對シテ 2—10 % 「アルコール」或ハ油溶液ヲ用ユ。鼻「カタル」ニハ粉末「メントール」ヲ滑石 Talk ト混ジテ (1:50) 吸入セシム。偏頭痛桿 Migränestifte ハ、融解セル「メントール」デ、往々多少ノ「チモール」及ビ「カムフル」ヲ混ジ、棒狀 Stangen 或ハ桿狀 Stiften ニシテモノデア。

VI. 角質溶解劑 Keratolytica

1. 「ザリチル」酸 Acidum salicylicum

「ザリチル」酸ハ健康ナル皮膚ニ對シテハ、徐々ニ且疼痛ヲ伴フ事ナシニ、上皮ヲ溶解スル作用ガアル。粘膜炎ニ對シテ、其マ、或ハ其濃厚溶液ヲ用フル時ハ上皮ヲ白色ナラシメ且表面的ニ腐蝕スル。

「ザリチル」酸ノ其他ノ作用ニ就テハ 329 頁參照。

【應用】上皮溶解藥 epithelaufösendes Mittel トシテ用ヒラル (鶏眼 Hühneraugen 等ノ際)。

【用量】「ザリチル」酸 Acidum salicylicum 上皮腫 Epitheliom (鶏眼) ニ對シテハ 30 % 「ザリチルコロヂウム」 Salicylkolloidum ヲ塗布シ、其上ヲ更ニ絆創膏ニテ掩フ。

2. 硫化「アルカリ」類 Schwefelalkalien

硫黃ハ皮膚ニ對シテハ、初メニハ無爲性 indifferent デアルガ、之ヲ長ク作用セシムル時ハ、輕度ノ潮紅・局所的汗分泌ヲ促シ、且鎮痛作用ガアルラシイ。下等動物及ビ植物ニ對シテモ、硫黃ハ毫モ作用ヲ呈シナイガ、一部分亞硫酸 schweflige Säure ニ酸化セラル、時、又ハ多クノ有機物ト接觸シテ硫化水素 Schwefelwasserstoff ヲ發生スル時、及ビ特ニ硫化「アルカリ」ヲ生ズル時ハ(「アルカリ」ヲ加フレバ生ズ)有毒トナル。

硫化「アルカリ」 Schwefelalkalien ハ、恰モ水酸化「アルカリ」ノ如ク、皮膚ニ對シテハ腐蝕作用ヲ呈シ、特ニ角化組織 verhorntes Gewebe 例ヘバ毛髮・上皮ノ形成物ヲ容易ニ溶解スル。動物性寄生蟲(疥癬蟲 Krätzmilbe) ニ對シテハ頗ル有毒デア。コレ動物及ビ卵ノ毛髮ヲ溶解スル故デア。

硫化水素 Schwefelwasserstoff ハ、人ニ對シテハ恰モ青酸 Blausäure ノ如ク有毒デ、直チニ死ヲ來ス。又動物及ビ微生物ニ對シテモ頗ル有毒デア。

【應用】硫化「アルカリ」ハ上皮溶解藥 epidermislösendes Mittel トシテ濕疹 Ekzema, 乾癬 Psoriasis 及ビ瘡瘡 Akne ノ際ニ用ヒラル。是等ノ疾病ニアリテハ、恰モ切開 Inzision ヲ行ヒタル如ク、臍胞口 Follikelmündungen ヲ開キ、集合セル分泌物ヲ排泄セシメル作用ガアル。此他抗寄生蟲劑 Antiparasitikum トシテ疥癬 Scabies ノ際ニ用ヒラル。

硫黃浴 Schwefelbäder ハ各種ノ關節炎ニ其效ガアル。又硫黃療法ノ適スル皮膚病、特ニ乾癬 Psoriasis, 慢性濕疹 chronische Ekzema 及ビ瘡瘡 Akne ニ用ヒラル。

【製剤】**硫黄華** Sulfur sublimatum, Flores Sulfuris, Schwefelblumen. 昇華 Sublimation ニヨリテ製シタル黄色結晶性粉末デアル。往々硫化砒素 Schwefelarsen ヲ混ズ。慢性濕疹、白癬、疥癬等ノ寄生性疾患ニ廣ク用ヒラルル「テールバスタ」Teerpasta ノ或分ヲナス(382 頁参照)。

精製硫黄 Sulfur depuratum. 硫黄華ヲ稀薄ナル「アムモニア」ニテ洗滌シテ得タルモノデアル。

沈降硫黄 Sulfur praecipitatum, Lac sulfuris, Schwefelmilch. 黄白色無定形ノ粉末デ沈降ニヨリテ得ラル。硫黄華ヨリモ遙カニ微細デアル。皮膚病ニハ 10% 軟膏 Salbe トシテ用ヒ、瘰癧 Akne ニハ往々、クムメルフェルド氏液 Aqua Kummerfeldtii トシテ用ヒラル：

處方例	沈降硫黄 Lac, sulfur.	12,0
	「カムフル」 Camphorae	各 aa 1,0
	「アラビアゴム」 Gi. arab.	
	石灰水 Aqu. Calcar	各 aa 96,0
	薔薇水 Aqu. Rosae	

振盪シテ塗布スルカ、或ハ就眠時沈澱ヲ塗布シ、晝間ハ上清ヲ塗布ス(含鉛白粉ヲ貼布セル者ニハ用ヒテハナラヌ)

硫化「カリウム」 Kalium sulfuratum, Hepar sulfuris, Schwefelleber. 褐色或ハ黄綠色ノ塊片デ、室中ノ炭酸ニヨリテモ既ニ硫化水素ヲ遊離セシム。人工硫黄浴 künstliche Schwefelbäder ニハ其 100—200g ヲ用ユ。之ニ大匙ニ 1—2 杯ノ硫酸ヲ加フレバ盛シニ硫化水素ヲ發生ス。

3. 石鹼 Seife

石鹼ハ、「アルカリ」金屬 Alkalimetalle ト高級脂肪酸 höhere Fettsäure トノ鹽デアル。動物或ハ植物性脂肪ヲ加里或ハ「ナトロン」滷汁ト共ニ煮沸スル時ハ、脂肪類ハ鹼化 verseifen セラレ、「アルカリ」ハ脂肪酸 Fettsäure ト化合シテ石鹼ヲ形成シ、副産物トシテ「グリセリン」ヲ析出スル。「ナトロン」石鹼 Natronseife ハ固ク、「カリ」石鹼 Kaliseife ハ軟カイ。

「ナトロン」石鹼ハ、「ナトロン」滷汁ヲ脂肪類ニ作用セシムル際ニ生ズル液状混合物ニ食鹽ヲ加ヘ析出 aussalzen セシメテ製ス。

【作用】石鹼ハアマリ安定デナイ化合物デアツテ、大量ノ水ニ遇ヘバ一部ハ加水分解シテ遊離ノ「アルカリ」ヲ生ズル。而シテ此モノハ鹼化 verseifen セラレテ、脂肪及ビ皮膚ノ脂 Talg ヲ溶解シ、皮腺 Hautdrüsen ノ分泌物ヲ充タセル臙胞口 Follikelöffnungen ヲ開キ、皮膚ノ表面ヲ浸蝕 mazerieren シ且上皮細胞間ノ結合ヲ粗ナラシメ、爲ニ皮膚ノ最上層ハ摩擦ニヨリテ剝離セラレ、同時ニ附着セル汚物、塵埃 Staub、植物性或ハ動物性寄生蟲ヲ除去シ得。

故ニ石鹼ニテ洗フ際ニハ、此化學的作用ヲ器械的ニ補助スル爲ニ刷毛 Bürste ヲ用フルガヨイ。コレ皮膚ノ消毒 Desinfektion 上頗ル重要ナル事デアル。

【應用】石鹼ハ皮膚ノ最上層ヲ除去シ、且藥劑ヲシテ深部ニ達セシムルニ爲ニ各種ノ皮膚病ニ際シテ用ヒラル。腺・皮膚及ビ骨結核ニハ石鹼塗擦ガ推奨セラル。然ル時ハ全身状態ハ佳良トナリ、腺腫脹ハ縮小シ、瘻管 Fistel ハ閉塞スルト謂ハル。

此他石鹼ハ藥劑ヲシテ深部ニ浸入セシムル爲ノ媒介物 Vehikel トシテ廣ク用ヒラル(水銀・硫黄・「テール」・「ナフトール」・「ザロール」・「ザリチル」酸・「メントール」等)。火傷 Verbrennung ノ際ニハ、「アルカリ」性石鹼(「カリ」石鹼 Schmierseife) ニヨリテ疼痛ガ緩解セラル。此他「アルカリ」石鹼ヲ長イ間皮膚ニ作用セシムル時ハ、刺戟及ビ炎症ヲ起スカラ、誘導藥 ableitendes Mittel 並ビニ吸收促進劑 resorptionsbeförderndes Mittel (加里石鹼罨法 Schmierseifenumschläge, 石鹼硬膏 Seifenpflaster) トシテ應用セラル。又石鹼ハ之ヲ坐藥 Suppositorium 或ハ浣腸 Klystier トシテ直腸中ニ入ル、時ハ粘膜ヲ刺戟シ、腸壁及ビ糞塊ヲ滑ラカ schlüpfrig ニナス作用ガアル。

【種類】使用ノ目的ニヨリテ各種ノ石鹼ヲ用フ。清淨ニスル作用ガ最

モ強く且皮膚ヲ浸蝕 mazerieren シ消毒 desinfizieren スルニ最も適シタルハ、軟カイ「カリ」石鹼 Kaliseife 及ビ他ノ強「アルカリ」性ノ洗濯石鹼 Waschseife デアル。サレド此モノヲ持續的ニ使用スレバ皮膚ヨリアマリニ多くノ脂肪ガ除去セラル、爲ニ、皮膚ハ脆性 spröde ニ且落屑性 abschuppend ニナルカラ、斯ル場合ニハ中性ノ石鹼ヲ代用シナケレバナライ。中性石鹼ハ藥劑ニ對スル基質トシテ用フルニ適スル。コレ長イ間皮膚ニ接觸セシメ得ルカラデアル。

【製劑】藥用石鹼 Sapo medicatus. 豚脂 Schweineschmalz. 「オレフ」油及ビ「ナトロン」鹼汁ヨリ製ス。硬キ白色ノ弱「アルカリ」性石鹼デアル。浣腸トシテノ應用ニ就テハ 267 頁参照。

「カリ」石鹼 Sapo kalinus. Kaliseife. 亞麻仁油 Linöl ヲ「カリ」鹼汁ニテ鹼化シテ製ス。黄色或ハ褐色ニシテ、透明、軟膏樣ノ強「アルカリ」性石鹼デアル。強キ作用ヲ望ム場合ニ用ヒラル。即チ消毒、寄生蟲性疾病ニ際シ皮膚ノ浸蝕 Mazeration ノ目的、皮膚刺戟性療法、及ビ結核性諸病ノ際ノ塗擦トシテ用ヒラル：10,0—20,0—30,0 ヲ一週 2—3 回背部或ハ股部ニ塗擦シ 30 分後ニ温湯ニテ洗ヒ去ル。

此他加里石鹼ハ不潔ナル木製器具、戸、障子、床面等ノ消毒ニ適ス。使用スルニハ、加里石鹼 3 分ヲ熱湯 100 分ニ溶解シ、使用ニ際シテ加熱スル。

VII. 上皮形成促進劑

猩紅赤 Scharlachrot

「アニリン」色素 Anilinfarbstoffe = 屬スル猩紅赤 Scharlachrot R = テ飽和セル油ヲ家兔ノ皮下ニ注射スル時ハ、扁平上皮 Plattenepithel ガ癌腫樣ニ繁殖スル事が見ラレタ。之ガ爲ニ此色素又ハ其有效成分タル「アミドアゾトルオール」Amidoazotoluol ハ人ニ試ミラレ、上皮ノ形成ヲ促サントシタルニ、效果ガアツタ。

8%「ワゼリン」軟膏（猩紅軟膏 Scharlachsalmbe）ヲ各種ノ皮膚缺損、例ヘバ下腿潰瘍 Ulcus cruris、褥瘡 Decubitus、狼瘡 Lupus、黴毒性創傷 syphilitische Wunde、弛緩性肉芽組織 schlaffe Granulation、火傷等ニ用ヒル時ハ往々皮膚

形成ガ促進セラレル。眼科ニ於テモ角膜・結膜等ノ潰瘍ニ用ヒラル。サレド小兒ニアリテハ、「アニリン」中毒ヲ起ス危險ヲモ顧慮シナケレバナライ。

處方例 猩紅赤 8,0

米國製白色「ワゼリン」 100,0

以上研和、爲猩紅軟膏、「ガーゼ」ニ薄ク引キ伸シ、24 時間貼用後 1 乃至 2 日間單軟膏ヲ貼用ス。

VIII. 癬癩軟解劑 Narbenerweichende Mittel

「チオジナミン」 Thiosinamin

「チオジナミン」 Thiosinamin oder Allylschwefelharstoff ハ、之ヲ皮下或ハ筋肉内ニ注射スル時ハ、癬癩形成 Narbenbildungen ヲ（其位置ニ關セズ）溶解シ或ハ其吸收ヲ促ガス性状ヲ有スト謂ハル。斯ル作用ハ、癬癩組織中ニ漿液性滲出及ビ多數白血球ノ游出ヲ促シ、之ガ爲ニ軟ラカクナリ、從ツテ器械的療法ニ對スル抵抗ガ減少スルモノラシイ。外部及ビ體內ニ於ケル各種ノ癬癩ニ用ヒレバ往々效果ガアル。即チ火傷ノ爲ノ癬癩、關節強直 Gelenkankylose、骨炎 Otitis 後ノ癒着、手術後ノ癒着、食道又ハ尿道狹窄等ニ試ミラル。

注射後ハ一時灼熱ヲ覺エ、稀ニハ他ノ副作用、例ヘバ麻疹或ハ蕁麻疹樣發疹・不快・頭痛・多尿 Polyurie 等ヲ起ス事ガアル。

【製劑】「チオジナミン」 Thiosinamin, $\text{CS} \begin{matrix} \text{NH}(\text{C}_3\text{H}_5) \\ \text{NH}_2 \end{matrix}$ 無色或ハ赤色ノ水及ビ「アルコール」ニ溶解性ノ結晶デ、非臭及ビ苦味ヲ有ス。皮下或ハ筋肉内ニハ 10—15%「アルコール」或ハ水溶液ヲ用フ。本液ヲ初メニハ $1/2$ ccm, 後ニハ 1ccm, 癬癩ノ附近又ハ他ノ場所例ヘバ背部ニ 1 週 2 回, 2—3 週間或ハ月餘ニ亘リテ注射スル。

「フィブロリジン」 Fibrolysin. 「チオジナミン」ト「ザリチル」酸「ナトリウム」トノ化合物デ、水ニ溶解シ易キ白色ノ粉末デアル。皮下ニ「チオジナミン」ノ倍量ヲ注射スル。

IX. 被覆劑 Deckmittel

脂肪性物質 Fette Stoffe

脂肪類 Oleosa, Pinguedines ノ皮膚ニ對スル關係ハ、恰モ粘滑劑 Muci-

laginosa ノ粘膜炎ニ對スルト同様デアアル。之ハ皮膚ヲ被覆 decken シ、刺戟ニ對シテ之ヲ保護シ、且皮膚剝離 Exkoration, 裂瘡 Fissur 及ビ表面的物質缺損ノ治癒ヲ促ス作用ガアル。大多數ノ脂肪類ハ容易ニ皮膚ヨリ吸收セラレ、之ヲ柔軟 geschmeidig ニナシ、水分放散ヲ妨ゲ、同時ニ之ヲ濕潤ニ保ツ。此他汗分泌ヲ制限スル。故ニ身體ノ大部分ニ之ヲ塗布スル時ハ代償的 kompensatorisch ニ利尿 Diurese ヲ増加スル。

一般ニ水溶液ハ健康ナ皮膚ヨリハ吸收セラレナイ。コレ皮膚ノ表面ハ皮脂腺 Talgdrüse ノ分泌物ノ爲ニ被覆セラレテ水分ヲ通サナイ爲デアアル。之ニ反シテ脂肪中ニ溶解セル物質ハ皮膚ノ深層中ニ侵入スルノミナラズ、多量ニ吸收セラレル。サレド脂肪類ガ消毒性創傷藥 antiseptische Wundmittel ノ媒介トナルハ、該藥劑ガ脂肪ト同時ニ水中或ハ創傷分泌物ニ溶解スル場合ノミデアアル。然ラザル場合ニハ藥劑ハ脂肪中ニ止マリテ、其所ニ存スル微生物ト接觸スルニ至ラナイ。

【應用】 脂肪性物質ハ軟化及ビ被覆劑 erweichende und deckende Mittel トシテ皮膚剝離 Exkoration, 表面的ノ潰瘍 oberflächliche Ulzeration, 火傷等ニ際シ、其マ、或ハ同時ニ消毒性或ハ收斂性物質ヲ含有セル軟膏 Salbe 又ハ擦劑 Linimente トシテ用ヒラル。

多クノ皮膚病ニアリテハ、固キ痂皮 Kruste ヲ軟化スル爲ニ用ヒラレ、又皮膚ノ深層ニ侵入ス可キ物質ニ對スル運搬藥 Transportmittel トシテ用ヒラル。此他稀ニハ吸收セシム可キ物質ヲ軟膏トスル際ニ使用セラル(例ヘバ水銀)。

軟膏 Salbe ニハ如何ナル種類ノ脂肪ヲ用フ可キカト云フニ、ソレハ一定シナイ。皮膚ノ脂肪ノ缺乏ヲ補償シ、或ハ皮膚ヲ柔軟 geschmeidig ニナス目的ニハ、液狀ノモノ或ハ低イ融解點ヲ有シ容易ニ皮膚中ニ侵入シ得ルモノ(例ヘバ通常ノ豚脂 Schweinefett, 「ワゼリン」 Vaseline 或ハ「オレフ」油)ガ最モヨイ。

之ニ反シテ長イ間與ヘタル場所ニ止マラシメテ其場所ヲ被覆スル爲ノ軟膏 Salbe ニハ、寧ロ融解シ易クナイモノノ方ガヨイ。斯ル軟膏ハ皮脂 Talg, 蠟 Wachs, 鯨蠟 Cetaceum 或ハ融解點ガ皮膚ノ温度ヨリモ高イ其他ノ種類ノ軟膏ヲ用フルガヨイ。

「グリセリン」 Glycerin モ亦脂肪類ト同様ニ皮膚剝離 Exkoration ノ際ニ治療劑トシテ用ヒラル。

浣腸又ハ坐藥トシテ「グリセリン」ノ應用ニ就テハ 267 頁參照。

【製劑】 動物性脂肪類:

豚脂 Adeps suillus, Axungia Porci, Schweinefett. 白色ノ軟膏様物質デ、大凡體温ニテ融解スル。多數ノ軟膏 Salbe ノ成分ヲナス。

含水「ラノリン」 Adeps lanae cum aqua, wasserhaltiges Wollfett, Lanolin. 無水「ラノリン」 Adeps lanae anhydricus, Wollfett, 羊毛ヨリ採集シ精製シタル無水ノ脂肪デアアル。

處方例	「ザリチール」酸 Acid. salicylic.	2,0
	亞鉛華 Zinci oxydati	} 各 aa 24,0
	澱粉 Amyli oryzae	
	「ラノリン」 Lanolin	50,0

以上混和(「ラノリン」・バスタ) Lanolinpasta Dohi)

黃蠟 Cera flava, gelbes Wachs. 白蠟 Cera alba, weisses Wachs. 蠟ハ軟膏 Salbe, 硬膏 Pflaster 等ヲ製スル爲ニ廣ク用ヒラル。

處方例	黃蠟 Cerae flavae	1,0
	胡麻油 Olei Sesami	2,0

以上熔和(單軟膏 Unguentum simplex)

單軟膏ハ殆ンドスペテ軟膏ノ基礎的ノモノニテ、之ニ種々ノ藥劑ヲ加ヘテ軟膏ヲ作り使用ス。

植物性脂肪類:

「オレフ」油 Oleum olivarum, Olivenöl.

落花生油 Oleum Arachidis, Erdnussöl.

胡麻油 Oleum Sesami.

扁桃油 Oleum Amygdalarum.

亞麻仁油 Oleum Lini. 擦劑 Liniment ノ成分トシテ用ヒラル。

處方例	石灰水	} 20,0
	亞麻仁油	
	「メントール」	2,0
	電法科 (火傷)	

「カカオ」脂 Oleum Cacao. 通常ノ温度ニテハ白色デ固イガ、約 30° ニテ融解スルカラ、坐藥ノ賦形藥 Konstituens トシテ用ヒラル。

大風子油 Oleum Hydnocarpī oder Oleum Chaulmoograe. 此モノハ刺戟性ノ不飽和脂肪酸ヲ含有ス。其製劑ハ癩病 Lepra = 對シテ推奨セラル。即チ脂肪酸ノ「エチルエステル」ヲ筋肉内ニ 1g ヨリ漸次ニ増量シツツ 5g 迄ヲ 14 日又ハ其以上ノ間隔ヲ置キテ注射スル。

礦物性脂肪類:

次ノモノハ一部ハ脂肪列、一部ハ芳香屬ノ炭化水素ヨリ成ル。

流動「パラフィン」 Paraffinum liquidum. 不溶性物質ノ乳劑 Suspension ヲ製スルニ用ユ。

固形「パラフィン」 Paraffinum solidum.

白色「ワゼリン」 Vaseline album 及ビ黄色「ワゼリン」 Vaseline flavum.

「ワゾゲン」 Vasogenum (Vaseline oxydatum). 種々ナル藥劑、例ヘバ沃度、沃度「フォルム」、「クレオソート」、「カムフル」等ヲ溶解シ、皮膚ヨリ侵入シ易カラシム。沃度「ワゾゲン」 Jodvasogen (6%沃度)ハ沃度加里ト同様ニ内用セラレ、且沃度丁幾ト同様ニ外用セラル。

「グリセリン」 Glycerinum, $C_3H_5(OH)_3$ 濃厚ナル油狀ノ液體デ甘味ヲ有ス。浣腸トシテノ應用ニ就テハ 267 頁參照。

處方例	苛性「カリ」	1,0
	「グリセリン」	40,0 (夏季ハ 30,0)
	蒸餾水	120,0
	酒精	40,0 (夏季ハ 50,0)
	「ベルガモット」油	3 滴
	以上混和後濾過ス (ペルツ水 Aque Baelzi)	

【附】「コロヂウム」 Kollodium. 「コロヂウム」綿 Kollodiumbaumwoile (Cellulosedinitrat) ヲ「アルコール」及ビ「エーテル」ニ溶解シタル舍利別狀ノ溶液デアル。

N. 免疫學的製劑

一般的事項

或種ノ細菌ハ體內ニ於テ所謂「トキシシン」(毒素) Toxine ヲ形成スル。此「トキシシン」ヲ生體內ニ注射スル時ハ、之ニ對スル特異ナル抗毒素 spezifische Antitoxine ヲ生ズ。此モノハ「トキシシン」ト結合シテ之ヲ無害トナス。斯ル抗毒素ヲ含有セル血清ヲ含抗毒素血清 antitoxisches Serum ト稱ス。「トキシシン」ト抗毒素トノ反應ハ恰モ他ノ化學的反應ノ如ク、一定ノ量的關係ニ從フモノデアル。例ヘバ 1 ccm ノ血清ニテ一定量ノ「トキシシン」ヲ無害ニナシ得ル場合ニハ、10 ccm ノ血清ハ其 10 倍量ノ「トキシシン」ト結合シ得。

「トキシシン」ト抗毒素トノ結合ハ、體內ノミナラズ體外ニテモ行ハレ得。今試験管内ニ於テ「トキシシン」ト抗毒素トノ相當セル量ヲ混ジ、之ヲ動物ニ注射スル時ハ疾病ヲ起サナイ。又同時ニ兩者ヲ注射スルカ或ハ抗毒素ヲ最初ニ注射スル時モ同様デアル。サレド初メニ「トキシシン」ヲ注射スル時ハ、「トキシシン」ハ對毒感受性細胞 giftempfindliche Zellen ニ結合セラレ、時ヲ經ルニ從ヒテ此結合ハ固クナルカラ、後カラ抗毒素ヲ注射シテモ最早充分ナル效ヲ奏シナイ。故ニ血清療法 Serumbehandlung ハ實際上ニ於テハ出來ル丈早期ニ行ハナケレバ効力が少ナイ。

含抗毒素血清 antitoxisches Serum ノ代表的ノモノハ、「ヂフテリー」血清 Diphtherieserum 及ビ破傷風血清 Tetanusserum デアル。

血清療法ハ被動的免疫 passive Immunität ニ屬スル。其效力ハ直チニ現ハレルモ、其持續期間ハ短カイ。之ニ反シテ「ワクチン」 Vakzine (死菌浮游液) ヲ生體ニ注射シ、以テ體內ニ於テ免疫體 Antikörper oder Immunkörper ノ發生ヲ促ガス方法ハ之ヲ自動的免疫 aktive Immunität ト

稱ス。

I. 「デフテリー」血清 Diphtherieserum

「デフテリー」血清療法ノ目的ハ、被動的對毒免疫 passive Giftimmunitätヲ行フニアル。

「デフテリー」血清ハ通常「デフテリー」毒(初メハ少量ヨリ漸次ニ増量スル)ヲ皮下注射シタル馬ヨリ得ラル。而シテ其中ニ含有セラル、抗毒素ノ含量ヲ測定スルニハ、「モルモット」ヲ用ヒル。而シテ一定ノ「トキシ」(Test-Dose)ヲ中和スルニ足ル量ヲ一免疫單位(I. E.)ト云フ。血清其モノノ爲ニ起ル副作用及ビ「アナフィラキシー」ヲ避ケルニハ出來ルダケ抗毒素ニ富メル血清ヲ用フルガヨイ。

【應用】血清療法ハ、全身中毒並ビニ局所ノ病變ニ對シテ大ナル影響ガアル。今患者ニ抗毒素ノ充分ナル量ヲ注射スル時ハ、體温ハ下降シ、全身状態ハ注射後 12--24 時間ニシテ恢復スル。同時ニ苔 Belag ハ黃色ヲ呈シ、邊縁ニ分界線 Demarkationslinie ヲ生ジテ緩解シ初メ、多クハ第 4—5 日ニシテ全然剝離シ初メル。咽頭「デフテリー」ト同様に、喉頭及ビ他ノ場所例ヘバ眼ニ於ケル「デフテリー」モ同様に影響ヲ受ケル。

豫後ハ、血清療法ヲ初メタ時期ニヨリテ著シク左右セラレル。コレ遅ケレバ「トキシ」ガ既ニ細胞ニ固ク結合セル爲ニ、抗毒素ヲ與ヘテモ最早之ヲ結合シ得ナイ故デアル。

故ニ「デフテリー」ハ、出來ル丈早期ニ且多量ノ免疫單位ヲ以テ治療シナケレバナラナイ。

「デフテリー」血清ハ豫防藥 prophylaktisches Mittel トシテモ有效デアル。殊ニ患者ヲ隔離シ難イ場合ニハ之ヲ行フガヨイ。免疫ノ持續期間ハ 3—4 週間デアル。サレド血清ハ菌其モノヲ死滅セシムル効力ハナイ。故

ニ血清注射ヲ施シタル者ハ、其鼻又ハ咽頭ニ菌ヲ保有シ、之ヲ他ノ者ニ傳播セシメ得。

此他血友病 Hämophilie ニテ血清注射ヲ要スル場合ニモ、「デフテリー」血清ヲ使用シ得。

【副作用】血清療法ヲ行ヒタル 6—12% ノ場合ニハ、血清病 Serum-krankheit ヲ見ル。之ハ約 10 日後ニ現ハレ、發疹 Exanthem (蕁麻疹 Urticaria, 紅斑 Erythema)、發熱及ビ關節痛 Gelenkschmerzen ヲ起ス。不快ナルモ、然シ危險デハナイ。之ハ抗毒素ノ爲デハナク、異種血清 fremdes Serum ニヨツテ起ルノデアル。夫故ニ同様な症状ハ正常馬ノ血清ニテモ起リ得。

次ニ反覆注射ヲ行フ時ハ、過敏性 Überempfindlichkeit 或ハ「アナフィラキシー」Anaphylaxie ガ起リ得。斯ル状態ハ約 10 日後ニ至ツテ初マモノデ、第一回注射ト第二回注射トノ間ノ期間ガ短カイ場合ニハ見ラレナイ。サレド此状態ハ長イ間、恐ラク全生涯續クモノデアル。動物ニテハ、過敏性ハ非常ニ危險デ、例ヘバ血管麻痺・氣管枝痙攣ヲ起シテ呼吸停止ヲ伴フモ (anaphylaktischer Choc)、人ニアリテハ斯ル事ハ極メテ稀デ、主トシテ靜脈内注射ヲ行フ場合ニ見ラレルノミデアル。夫故ニ以前ニ血清注射ヲ受ケタ事ノアル患者ニハ決シテ血清ノ靜脈内注射ヲ行ツテハナラナイ。

其治療トシテハ、氣管枝痙攣ヲ緩解スル爲ニ「アドレナリン」或ハ「アトロピン」ノ皮下注射ヲ行フ。

通常ノ筋肉内注射ニテハ、「アナフィラキシー」ハソレ程恐ロシクナイ。初メニ少量ヲ注射スレバ、數時間ノ經過中ニハ反對ノ状態、即チ抗「アナフィラキシー」Antianaphylaxie ヲ生ズル。

此他先天的過敏性 angeborene Überempfindlichkeit ニ惱ム者(喘息發作

等)ニアリテハ、通常ノ「ヂフテリー」血清ニテ重篤ナル「ショック」症狀 Chocsymptome ヲ起ス事ガアル。斯ル場合ニモ靜脈内注射ヲ避ケルガヨイ。

【用量】「ヂフテリー」血清 Serum antidiphthericum, Diphtherieserum. 免疫單位 Immunisierungseinheit ノ數 (I.-E.)ハ容器ニ記シテアルモ、通常 1cc 中 500 免疫單位ヲ含ム。北里研究所製品第 1 號ハ 600 單位、第 2 號ハ 1000 單位、第 3 號ハ 1500 單位、第 4 號ハ 2000 單位ヲ含ム。著シク潤濁セル血清ハ使用シテハナラヌ。輕症ニテハ、小兒ニハ第 1-2 病日ニ 1500-3000 I.-E., 大人ニハ 3000-6000 I.-E. ヲ筋肉内ニ注射スル。之ニテ著シキ恢復ヲ見ナケレバ、12-24 時間後ニ更ニ同量ヲ注射スル。重篤ナル場合ニハ 16000-20000 I.-E. 又ハ其以上ヲ用ヒ、之ヲ靜脈内ニ注射スルノガ最モ良イ。大量ヲ要スル場合ニハ異種血清ノ量ヲ成ルベク少ナクスル爲ニ、抗毒素量ニ富メル血清ヲ撰ブガヨイ。

豫防的用量ハ 1000 I.-E.

II. 破傷風血清 Tetanuserum.

「ヂフテリー」血清ト同様ニ馬ヲ免疫シテ得ラル。之モ被動的對毒免疫 passive Giftimmunität ヲ行フ目的デアル。

既ニ破傷風ノ症狀ガ現ハレタ場合ニハ、血清ヲ皮下又ハ靜脈内ニ注射シテモ多クノ場合ニハ無効デアル。コレ破傷風血清ハ血液又ハ淋巴路ヨリデナク、神經幹ニ沿ヒテ中樞神經系ニ達スルモノナルニ、一面ニ於テ抗毒素ハ通常血液中ニ入ルノデアルカラ、「トキシシン」ト抗毒素トガ結合シ得ナイ故デアル。加之破傷風ノ診斷ハ、通常痙攣 Krämpfe ガ現ハレタ後デアルカラ、其時ニハ毒素ハ既ニ神經細胞ニ吸收セラレテ居ル。サレド血清療法ハ有害ナ結果ヲ來ス事ハナイカラ、兎ニ角試ミルガヨイ。近時ハ脊髓内注射 intraspinaler Injektion モ試ミラレ、稍良效ガアルラシイ。此他局所ノ創傷ニ應用シ又ハ硬膜内注射 endodurale Injektion ヲ行フ事

モアル。

之ニ反シ豫防劑トシテハ頗ル有效デアル。故ニ疑ハシイ外傷、例ヘバ土地或ハ道路ノ塵埃ニテ不潔トナレル釘或ハ木片ニヨル外傷ニ際シテハ、破傷風血清ノ豫防注射ヲ行フガヨイ。

【用量】破傷風血清 Serum antitetanicum. 皮下、靜脈内、或ハ硬脊髄膜下 subdural = 10-50 ccm ノ脊髄液ヲ流出セシメタル後、100-200 I.-E. ヲ注射スル。注射ハ恢復スル迄毎日反覆スル(硬膜下注射ハ、痙攣ノ存スル場合ニハ麻酔セシメテ之ヲ行フ)。之ヨリモ遙カニ大量、例ヘバ 2000-10000 I.-E. ヲ毎日用ユル事モ推奨セラル。此際ニハ同時ニ種々ナル方法ニテ之ヲ與ヘル。

豫防ニハ 20-50 I.-E. ヲ皮下ニ注射シ、10 日ノ後更ニ同量ヲ注射ス。(北里研究所製品第 1 號ハ 100 單位、第 2 號ハ 400 單位ヲ含ム)。

III. 「ワクチン」類 Vakzine

自動的免疫 aktive Immunisierung (Vakzination) ハ、主トシテ豫防ノ目的ニ應用セラル。之ニハ減弱セルカ或ハ死滅セル微生物ヲ注射スル。

其定型的ノ例ハ痘瘡 Variola, Pocken ノ豫防接種 Vakzination デアル。接種材料 Impfstoff ハ尙未知ナル病原ヲ含有スル牛ノ淋巴デ、其病原ハ動物通過 Tierpassage ニヨリテ、人ニハ輕度ノ疾病ヲ起スノミデ然カモ數年間免疫ヲ起サウニ變化セシメタモノデアル。

狂犬病 Lyssa ノ豫防ニハ、其病原ニテ傳染セル家兎ノ脊髓ヲ乾燥シタルモノ(減弱セル病原)ヲ接種スル。其潛伏期 Inkubationszeit ハ頗ル長イカラ (2-3 週或ハ月餘)、既ニ傳染セル者ニ對シテ發病ヲ豫防シ得。

「コレラ」Cholera、「チフス」及ビ「バラチフス」ノ豫防ニハ、熱或ハ消毒藥ニテ死滅セシメタル菌ノ浮游液ヲ用フ。又「ベスト」ノ豫防ニモ往々死滅セル「ベスト」肉汁培養ヲ皮下ニ注射スル。此等ノ「ワクチン」ハ多少ノ豫防的效果ヲ期待シ得ルラシイ。

此等製劑ノ使用法・用量等ニ就テハ、製品ニ附シアル説明書參照。

IV. 非特異性療法 Unspezifische Therapie

異種蛋白 fremde Eiweiss 或ハ体内ニ於テ生ズル其分解産物ハ細胞機能 Zellfunktion ノ働化 Aktivierung ヲ促スカ、或ハ細胞ノ變質 Umstimmung ヲ來シ、其爲ニ以前ニ殆ンド或ハ全ク影響セラレナカツタ刺戟ニ對シテモ反應スルヤウニナル(原形質働化 Protoplasmaaktivierung, omniscelluläre Leistungssteigerung-Weichardt)。コレ非特異性療法ニ對スル説明ノ一ツデアル。

【適應症】 非特異性療法ハ未ダ經驗時代ニアルカラ、正確ナル適應症ヲ述ブル事ハ困難デアル。最モ良キ效果ヲ見ルハ慢性關節「ロイマチス」及ビ痲疾ノ際デアル。又子宮附屬部疾病 Adnexerkrankungen, 慢性濕疹, 坐骨神經痛 Ischias, 及ビ其他ノ神經痛ニ對シテモ效果ガアル。

【製劑】 最モ屢々用ヒラレタルハ、乳汁及ビ乳汁製劑デアル。就中最モ簡單ナルハ脱脂乳 Magermilch 或ハ遠心シタル乳汁ヲ試験管ニトリ少シク煮沸消毒シ其 0.5-2ccm ヲ靜脈内ニ用フルカ、或ハ 2-10ccm ヲ筋肉内ニ毎日或ハ一週數回注射スル。

「カゼオザン」 Caseosan モ亦屢々用ヒラル。之ハ「カゼイン」ノ溶液ヲ滅菌セル「アムプルレ」中ニ入レタルモノデ、其 1ccm = 「カゼイン」0.05 = 相當スル。靜脈内ニハ 1/4-1/2 ccm, 漸次ニ 1ccm 迄增量シツ、毎週 2-3 回用ヒルカ、又ハ筋肉内ニ 1/2-1ccm 宛ヲ注射スル。

又血清ヲ非特異性療法ノ意味ニ用フルニハ、「ヂフテリー」血清 1-5ccm ヲ筋肉内ニ注射スル。

此他「ヤトレン・カゼイン」 Yatrenkasein, 其他種々ナル名稱ノ下ニ各種ノ製劑ガ販賣セラル。

精製硫黃 Sulfur depuratum モ亦屢々非特異性刺戟療法ノ意味ニテ、慢性「ロイマチス」等ノ際ニ筋肉内ニ注射セラル。之ニハ 2mg (「オレフ」油中ニ於ケル 1% 溶液 2ccm) ヨリ初メ、中等度ノ反應ノ現ハレル迄用量ヲ増加スル(例ヘバ 5mg)。次回ノ注射ハ反應ガ消失シタ後デナケレバナラヌ。例ヘバ一週一回、全體トシテ 6-8 回注射スル。但シ衰弱者又ハ心臓病者ニハ禁忌デアル。

REGISTER

A

- 「アダリン」107, 324
- 「アダモン」118
- 「アドニチン」208
- ✓「アドレナリン」
 - 交感神經興奮劑トシテ 157
 - 氣管枝痙攣除去劑トシテ 181
 - 強心劑トシテ 197
 - 局所止血劑トシテ 283
 - 臟器製劑トシテ 305
 - 子宮收縮作用 317
- 「アガリチン」172, 173
- 「アグリチン」217, 218
- 「アイロール」395, 424
- 「アコイン」153
- 「アコニチン」154
- 「アクトール」403, 405
- 「アミドアゾトルオール」448
- 「アミノ」酸 314
- ✓「アムモニア」83, 174, 441
- ✓「アムモニア」茴香精 189
- 「アムモニア」水 441
- 「アムモニウム」鹽 188
- ✓「アンチフェブリン」140
- 「アンチモン」化合物 354
- ✓「アンチビリン」
 - 鎮痛劑トシテ 122, 123
 - 解熱劑トシテ 134, 138
- 「アントラツェン」誘導體 261
- 「アナフィラキシー」455
- 「アネステジン」152
- 「アニリン」色素 412
- 「アニス」油 236
- 「アペリトール」265

- 「アポモルヒネ」244
- 「アリピン」152
- 「アリストヒン」180
- 「アロイドリン」111
- 「アルブチン」356
- 「アルブモーゼ」314
- 「アルファナフトール」379
- 「アルカリ」性鹽泉 238
- 「アルカリ」劑 227
- 「アルキール」合成 59
- 「アルコール」
 - 局所麻酔劑トシテ 53
 - 消毒劑トシテ 408
- 「アルコール」劑
 - 呼吸中樞興奮劑トシテ 174
 - 中樞神經系興奮劑トシテ 78
 - 強心劑トシテ 199
 - 胃液分泌亢進劑トシテ 236
- 「アルミニウム」化合物 425
- 「アルゾール」426
- 「アセチル」合成 57
- 「アセチルザリチル」酸 124, 141, 333
- 「アスピリン」124, 141, 333
- 「アトファン」311, 313
- 「アトロピン」
 - 中樞神經系興奮劑トシテ 82
 - 副交感神經麻痺劑トシテ 166
 - 呼吸中樞興奮劑トシテ 174
 - 氣管枝痙攣除去劑トシテ 181
 - 心臓搏動障礙ニ對スル藥劑トシテ 212
 - 子宮弛緩作用 317
- 「アトロピン」中毒 170
- 「アトロピン」中毒ノ療法 172
- 「アウラミン」412

亞澱散 419
 亞鉛中毒ノ療法 420
 亞鉛化合物 418
 亞鉛華 419
 亞鉛華「バスタ」 419
 亞鉛華油 419
 亞砒酸 304
 亞砒酸「カリウム」液 304
 亞細亞丸 304
 亞「クロール」汞 342, 400
 亞麻仁油 451
 亞酸化窒素 99
 亞硝酸「アミル」 212, 213
 亞硝酸「ナトリウム」 214
 亞硝酸鹽類 212
 阿片劑
 ——鎮痛劑トシテ 124
 ——制瀉劑トシテ 273
 阿片「アルカロイド」
 ——鎮咳劑トシテ 177
 阿片丁幾 275
 阿片越幾斯 273
 阿片末 132, 275
 阿片吐根散 177
 阿魏 119
 阿仙藥 418
 安息香酸 185
 安息香酸「ナトリウム」 276
 安息香酸「ナトリウム・コフェイン」
 77, 196
 Abführmittel 247
 Abstinenzsymptome 129
 Acetanilid 140
 Acetum saturninum 422
 Acetyler des Tannins 270
 Acetylsalicylsäure 124, 141, 333
 Acetylsalicyltheobromin 218
 Acetylsynthesen. 57
 Acidum aceticum 429
 Acidum arsenicosum 304
 Acidum benzoicum 185
 Acidum boricum 411
 Acidum camphoricum 173
 Acidum carbolicum 190 372
 Acidum carbolicum liquefactum 375
 Acidum chromicum 432, 433
 Acidum citricum 226
 Acidum gallicum 418
 Acidum hydrochloricum dilutum 225
 Acidum lacticum 429
 Acidum nitricum 429
 Acidum nitricum fumans 429
 Acidum nitricum nitrosum 429
 Acidum phosphoricum 226
 Acidum salicylicum 385, 444, 445
 Acidum tannicum 284, 418
 Acidum tartaricum 226
 Acidum trichloroaceticum 429
 Acidum pyrogallicum 378
 Acidum cinnamyllicum 185
 Acoinum 153
 Aconitin 154
 Acria 236
 Actol 403, 405
 Adalin 107
 Adamonum 118
 Adeps Lanae cum Aqua 451
 Adeps Suillus 449
 Adonidin 208
 Adrenalin 157, 160, 181, 197, 283, 305,
 317
 Adrenalinum hydrochloricum 198
 Adsorptionsvorgänge 45
 Adstringentia 268, 414
 Adstringierende Fernwirkung 286
 Aether bromatus 93
 Aether chloratus 99, 142
 Aether pro narcosi 97
 Aethylmorphinum hydrochloricum 178,
 442

Agaricinum 172, 173
 Agurin 217, 218
 Aiol 395, 424
 Akoin 153
 Aktive Immunität 453
 Akute Kreislaufinsuffizienz 194
 Alaun 425
 Albumose 314
 Alkalien 227
 Alkalikarbonate 238
 Alkalische Mineralwässer 238
 Alkohol 153, 408
 Alkoholica 78, 199, 236
 Alkylsynthesen 59
 Allgemeine Hämostatikum 285
 Allylschwefelharnstoff 449
 Aloudrin 111
 Aloë 264
 Alsol 426
 Alterantia 290
 Alumen 425
 Alumen ustum 426
 Aluminiumacetat 425
 Aluminiumacetatlösung 426
 Aluminium acetico-tartaricum 426
 Aluminiumsulfat 426
 Aluminium sulfuricum 426
 Aluminiumverbindungen 425
 Alypin 152
 Amara 233
 Amidoazotoluol 448
 Ammoniak 441
 Ammonium bromatum 117
 Ammonium chloratum 190
 Ammoniumchlorid 190
 Ammoniumsalze 188
 Ammonium sulfoichthyolicum 383
 a-Monojodisovalerianylharnstoff 296
 Amylenhydrat 111
 Amylium nitrosum 213
 Amylnitrit 212, 213
 Analgetica 121
 a-Naphthol 379
 Anaphylaxie 455
 Anhydrid 316
 Anilinfarbstoffe 412
 Antagonismus 30, 32
 Antanaemica 276
 Antaphrodisiakum 324
 Anthelminthica 362
 Anthracenderivate 261
 Antidyspnoica 175
 Antifebrin 140
 Antihydrotica 173
 Antimonverbindungen 354
 Antineuralgica 122
 Antipruritica 443
 Antipyretica 133
 Antipyrin 122, 123, 134, 138
 Antipyrinaminomethansulfonsaures
 Natrium 152
 Antiseptica 369
 Antiseptica der aromatischen Reihe 369
 Aperitol 265
 Apfelsaure Eisentinktur 280
 Aphrodisiakum 324
 Apomorphin 244
 Apomorphinhydrochlorid 245
 Apomorphinum hydrochloricum 245
 Aqua amygdalarum hydrochloricum 185
 Aqua Calcariae 397
 Aqua Calcis 397
 Aqua carbolisata 375
 Aqua carbolisata pro desinfectione 375
 Aqua cresolica 376
 Aqua foeniculi 236
 Aqua Goulardi 422
 Aqua Kummerfeldtii 446
 Aqua Pruni armeniacae 185
 Aqua Pruni macrophyllae 185

Aque Baelzi 452
 Arbutin 356
 Argentum colloidal 405
 Argentum citricum 405
 Argentum lacticum 405
 Argentum nitricum 404
 Argentum nitricum cum Kalio
 nitrico 430
 Argentum proteinicum 404
 Argyrie 402
 Argyrose 402
 Aristochinum 180
 Aromatica 236
 Arsenpräparate 286
 Arsenverbindungen 300, 343
 Asa foetida 119
 Aspirin 124, 141, 333
 Atophan 311, 313
 Atropin 82, 166, 181, 212, 247
 Atropinum sulfuricum 83, 171, 181, 212,
 241
 Atropinvergiftung 170
 Äther 86
 Ätherische Öle 192, 360
 Ätherschwefelsäuresynthesen 58, 371
 Äthylbromid 98
 Äthylchlorid 99, 142, 443
 Äthylhydrocupreinum 329
 Äthylmorphin 178
 Äthylphenylbarbitursäure 109
 Ätzalkali 426
 Ätzkalk 396
 Ätzmittel 426
 Auramin 125
 Ausscheidung 63
 Ausscheidungsnephritis 67
 Ausscheidungstypus 64
 Autonomes Nervensystem 156, 157
 Axungia Porci 451

B

「バイエル」205號 51, 353
 「バクチ」水 185
 麥角 317, 320
 麥角中毒 317
 麥角越幾斯 320
 麥角流動「エキス」320
 「ベンゾール」282, 369
 「ベンヂールモルフィン」178
 「ベラドンナ」越幾斯 239
 「ベラドンナ」劑 238
 「ベルツ」水 452
 「ペタイミノアゾリルエチラミン」317
 「ペタナフトール」379, 380
 —腸管防腐劑トシテ 241
 「ビタミン」A 315
 「ビタミン」B 製劑 316
 「ビスモゲノール」352
 白檀油 362
 病原 = 作用スル藥物 325
 病的状態 = 於ケル藥物ノ吸收 23
 病的状態 = 於ケル藥物ノ分布 48
 病的状態 = 於ケル藥物ノ作用 36
 病的状態 = 於ケル藥物ノ排泄 72
 「ボムベロン」流動「エルゴチン」320
 「ボロウエルチン」359
 「ボルニヴァール」118
 防疫用石炭酸水 375
 膀胱ヨリノ吸收 12
 芒硝 252, 253
 没食子酸 418
 「ブレンツカテヒン」376
 「プロバリン」108
 「プロミピン」117
 「プロモフォルム」180
 「プロムラール」108, 324
 ブロード氏炭酸鐵丸 280
 「ブroomエテル」98
 「プロモコル」

—鎮靜劑トシテ 117
 —鎮痒劑トシテ 443
 「ブroomエテル」98
 「ブroom」水素酸「ホモアトロピン」
 172
 「ブroom」水素酸「スコボラミン」120
 部分麻酔 147
 葡萄酒 97, 238
 分解 60
 分泌亢進劑 233
 分泌抑制劑(痰) 182, 190
 分泌抑制劑(胃液) 238
 Balsamum Copaiva 360, 361
 Balsamum Peruvianum 384
 Basisch gallussaures Wismut 424
 Bayer 205 51, 353
 β -Iminoazolyäthylamin 319
 Benzoësaures Natrium 276
 Benzol 282
 Benzoyl-pseudotropin 152
 Benzylmorphin 178
 Benzylmorphinum hydrochloricum 179
 Biogene Amine 60
 Bismogenolum 352
 Bismutum subcarbonicum 273
 Bismutum subgallicum 273, 424
 Bismutum subnitricum 238, 271
 Bismutum tribromphenolicum 424
 Bittermittel 233
 Bittersalz 155, 252, 253
 Blasenziehende Präparate 440
 Blandsche Pillen 280
 Bleiacetat 422
 Bleiessig 122
 Bleipflaster 423
 Bleiverbindungen 420
 Bleizucker 420, 422
 Blutserum 289
 Blutstillendes Mittel 282
 Polus alba 269

Borax 409, 411
 Bornyvalum 118
 Boroglycerinum 411
 Borovertinum 3 59
 Borsalbe 411
 Borsäure 401, 411
 Borzinksalbe 411
 Brechweinstein 354, 356
 Brenzkatechin 376
 Bromalhydrat 111
 Bromammonium 115, 117
 Bromäthyl 98
 Bromdiäthylacetamid 111
 Bromdiäthylacetylarnstoff 107
 Bromide 66
 Bromipinum 117
 Bromisovalerianylarnstoff 108
 Bromkachexie 114
 Bromkalium 115, 116
 Bromkaliumvergiftung 114
 Bromnatrium 115, 117
 Bromocollum 117, 443
 Bromoform 180
 Bromsalze 111
 Bromural 108
 Burowsche Flüssigkeit 426
 β -Naphthol 379, 380

C

「チアン」水銀 342
 「チミアン」製劑 181
 「チモール」
 —腸管防腐劑トシテ 241
 —利膽劑トシテ 276
 —驅蟲劑トシテ 364, 365
 「チオジナミン」449
 「チオコール」194
 「チオール」383
 「チレオグロブリン」308
 「チレオイゲン」221, 311

- 「チラデン」 311
「チラミン」 317
「チロキシ」 308, 311
蓄積作用 27, 201
致死量 25
鎮咳剤 176
鎮静剤 111
鎮痛剤 121
鎮痒剤 443
沈降硫黄 446
丁香油 236
腸ノ吸収 8
腸管防腐剤 240
腸收斂剤 270
調節的反作用 25
調節的療法 2
腔ヨリノ吸収 12
注腸 11
注射 17
中毒量 25
中樞神経系興奮剤 73
中樞神経系 = 作用スル薬物 73
Carbaminsäureäthylester 110
Carbaminsäureester eines
Dichlorisopropylalkohols 111
Carbaminsäuretrichloräthylester 110
Calcaria chlorata 390
Calcium 349
Calcium bromatum 117
Calciumbromid 117
Calcium chloratum fusum 287
Calciumchlorid 287
Calcium hypochlorosum 390
Calcium lacticum 287
Calciumlaktat 287
Calciumoxyd 396
Calciumsalze 285
Camphora 75, 324, 441, 443
Cannabinol 133
Cantharides 439
Carbo ossium pulveratus 269
Carbolzinkliniment 443
Carminativa 266
Cascara sagrada 263
Caseosan 458
Cotarnin 324
Cera alba 451
Cera flava 451
Cerium oxalicum 247
Cetechz 418
Charta sinapisata 384
Chemische Umwandlung 53
Chelidionin 179
Chinin 52, 140, 210, 322, 325
Chinidin 210
Chininderivate 329
Chinidinum sulfuricum 211
Chiningruppe 124
Chininkohlensäureäthylester 180
Chininkohlensäureester 180
Chininum hydrochloricum 141, 328
Chloralamid 111
Chloralformamid 111
Chloralhydrat 104
Chloralismus 103
Chloralum hydratum 101, 104
Chloräthyl 99, 142
Chloreton 111
Chlorkalk 390
Chloroform 86, 96, 153
Chloroform pro narcosi 97
Chlorsaures Kalium 388
Chlorzink 430
Cholagoga 276
Cholin 166
Chromsäureanhydrid 433
Chromtrioxyd 433
Chrysarobin 378
Chrysophansäure 261
Cocain 246

- Cocainum hydrochloricum 149
Codein 177
Codeinum phosphoricum 178
Coffein 76, 195, 208
Coffeinum natriobenzoicum 74, 196
Coffeinum natrio-salicylicum 77, 196
Colchicin 313
Collargol 405
Coniin 156
Convallamarin 208
Copaivabalsam 361
Coramin 76
Corpus pituitarium 320
Cortex Cascariillae 235
Cortex chinae 235
Cortax condurango 234
Cortex Frangule 262, 263
Cortex Granati 369
Cortex Rhamni Purshianae 263
Cotarninum hydrochloricum 324
Credesche Methode 404
Cresolum crudum 376
Cubebae 362
Curarin 156
Cuprum aluminatum 432
Cuprum sulfuricum 243, 431

D
ダーカン氏液 391
大腸興奮剤 261
大黄
——瀉下劑トシテ 261, 262
——子宮收縮作用 317
大黄丁幾 262
大黄越幾斯 262
大黄舍利別 262
脱脂乳 458
「デルマトール」
——制瀉劑トシテ 273
——收斂劑トシテ 424
傳道麻醉 143, 148, 151
「ドープル」散 177
「ドルミオール」 111
銅鑿 432
銅中毒ノ療法 432
銅化合物 430
Dakinsche Natriumhypochloritlösung 391
Dampfkamel 342, 400
Darmadstringentia 270
Darmantiseptikum 241
Decoctum Chinae 235
Decoctum condurango 235
Deckmittel 449
Dermatol 273, 424
Desinfektion 412
Desinfektion der Hand 412
Desinfektion der Instrumente 413
Desinfektion der Nahtmaterial 413
Desinfektion der Schleimhaut 413
Desinfektion der Verbandmaterial 414
Desinfektion des Operationsfeldes 412
Desinficientia specifica 325
Dormiol 111
Dosis letalis 25
Dosis maxima pro dosi et pro die 25
Dosis medicinalis 25
Dosis toxica 25
Diacetylmorphin 179
Diacetylmorphinum hydrochloricum 179
Diacetyltannin 270
Dial 110
Diallylbarbitursäure 110
Diaphoretica 164
Diastase 276
Diäthoxyäthenyldiphenylamidin 153
Däthylbarbitursäure 105
Diäthylmalonylharnstoff 105
Diäthylsulfondimethylmethan 108
Dickdarmregende Mittel 261
Dicodid 179

Dibrombehensaures Calcium 117
 Digalen 197, 207
 Digenia simplex 364
 Digifolin 197, 207
 Digipuratum 197, 207
 Digitalis 201, 209
 Digitalisgruppe 215
 Digitamin 197
 Dihydrocodein 179
 Dihydromorphin 129
 Dihydrooxycodion 179
 Dijodbrassidinsäureäthylester 296
 Dijodhydroxypropan 297
 Dijodtaririnsäure 296
 Dimethylamidobenzoylpentanol 152
 Dimethylaminoantipyrin 139
 Dimethylxanthin 217
 Dinatriumphosphat 254
 Dionin 178, 442
 Dioxymethylantrachinon 261
 Dioxyurin 76
 Diphtherieserum 454, 456
 Diuretica 215
 Diuretin 217, 218
 Duotal 194
 Dünndarmerregende Mittel 257

E

「エチルヒドロクブレイン」329
 「エチルモルフィン」178
 「エチル」炭酸「キニーネ」180
 「エメチン」64, 352
 「エモゲン」261
 「エラルソン」305
 「エレクトラルゴール」405
 「エリコリン」356
 「エルゴチニン」317
 「エルゴタミン」317, 319
 「エルゴトキシシン」317, 319
 「エーテル」86, 97

—「クロロフォルム」トノ比較 92
 「エーテル」麻醉ノ術式 98
 「エーテル」硫酸合成 58
 「エーテル」性蕁草丁幾 118
 「エーテル」性油類
 —祛痰劑 192
 —尿消毒劑 360
 「エゼリン」161, 163
 鹽化「アドレナリン」160, 198
 鹽化「カルシウム」287
 鹽化鐵溶液 284
 鹽基性「エチルヒドロクブレイン」329
 鹽基性「オプトヒン」329
 鹽劑 390
 鹽酸「アポモルヒネ」245
 鹽酸「エチル・モルヒネ」178, 442
 鹽酸「エメチン」353
 鹽酸「ヘロイン」179
 鹽酸「ヒドラスチニン」323
 鹽酸「ホロカイン」153
 鹽酸「デオニン」178, 442
 鹽酸「キニーネ」141, 322, 328
 鹽酸「コカイン」149
 鹽酸「コタルニン」324
 鹽酸「モルヒネ」131, 175
 鹽酸「パバヴェリン」125
 鹽酸「ペロニン」179
 鹽酸「ピロカルピン」165
 鹽酸「ヨヒンビン」325
 鹽類下劑 250
 鹽類作用 232
 鉛霜 422
 鉛糖 420, 422
 瘰癧性慢性麥角中毒 319
 Eisenalbuminatlösung 281
 Eisenchlorid 284
 Eisenchloridlösung 284
 Eisenpräparate 276
 Eiweißpräparate 314
 Elarson 305

Elektrargol 405
 Emetika 243
 Emetin 64, 352
 Emetinum hydrochloricum 353
 Emodin 261
 Emplastrum cantharidum 440
 Emplastrum Hydrargyri 341
 Emplastrum Lithargyri 423
 Emplastrum Plumbi 423
 Entgiftungsvorgang 58
 Epicauta Gorhami 439
 Epithelaufösendes Mittel 444
 Erdnussöl 451
 Erethismus mercurialis 338
 Erfrischungsmittel 227
 Ergotamin 317
 Ergotinin 317
 Eagotinum Bombelon fluidum 320
 Ergotismus 318
 Ergotismus convulsivus 319
 Ergotismus gangraenosus 319
 Ergotoxin 317, 319
 Erikolin 356
 Ersatz der Blut-und Gewebsflüssigkeit
 199
 Ersatzmittel d. Cocains 150
 Erwachungsstadium 88
 Eserin 161, 163
 Essigsäure Tonerdelösung 426
 Essigsäure 429
 Eucaïn 443
 Euchininum 180
 Eucodal 179
 Euphyllinum 219
 Excitantia 73
 Expectorantia 182
 Extrasystole 210
 Extractum Belladonnae 239
 Extractum Cascara Sagradae fluidum 263
 Extractum Condurango fluidum 235

Extractum Colocynthis 260
 Extractum Cubeborum 362
 Extractum Filicis 367
 Extractum Hydrastis fluidum 323
 Extractum Hypophysii 321
 Extractum Opii 275
 Extractum Scopoliae 239
 Extractum Secalis Cornuti 320
 Extractum Secalis Cornuti fluidum 320
 Extractum Strychni 235
 Extractum Rhei 262
 Extrasystoläre Arrhythmie 211
 Exzitationsstadium 87

F

「ファゴール」194
 「フェノール」
 —消毒劑及局所麻醉劑トシテ 372,
 374
 —鎮痒劑トシテ 443
 「フェノルフタレイン」265
 「フェナセチン」123, 139
 「フェラチン」281
 「フィズスチグミン」161
 「フィプロリジン」449
 フォーレル水 304
 「フォルマリン」405, 407
 「フォルマリン」水 407
 「フォルマリン」中毒ノ療法 408
 「フォルムアルデヒド」405
 「フォルムアルデヒド」化合物 357
 「フラングラ」皮 262, 263
 「フルオレスチン」412
 「フルオレスセイン」412
 不完全心臓「ブロック」209
 不溶性物質 268
 覆盆子舍利別 316
 覆方大黃丸 262
 覆方「ゼンナ」浸 264
 副交感神經興奮劑 161

副交感神経麻痺剤 166
 腐蝕剤 426
 沸騰散 227
 Fermente 275
 Ferratinum 281
 Ferrolactat 280
 Ferrum lacticum 280
 Fettarten 315
 Fette Stoffe 449
 Fibrolysin 449
 Filixextract 367
 Fleischextrakt 314
 Fleischfresser 224
 Fleischsaft 314
 Flores Koso 367, 368
 Flores Sulfuris 446
 Flores Zinci 419
 Fluorescin 412
 Folia Digitalis 207
 Folia Hammamelidis 418
 Folia uvae ursi 356, 357, 377
 Formalin 405, 407
 Formaldehyd 405
 Formaldehydum solutum 407
 Farnaldehydverbindungen 357
 Formol 407
 Folia Sennae 263, 264
 Fructus Colocynthis 260
 Fructus Tamarindi 256
 Funktionelle Therapie 2

G

含水「ラノリン」451
 含水炭素製剤 315
 合成 56
 「ゲンチアナ」根 234
 「ゲラチン」288
 原因療法 1
 芫菁 439
 解毒現象 58

解熱剤 133
 銀化合物 401
 銀沈著症 240
 「ゴア」末 378
 「ゴム」鹽溶液 201
 五倍子 418
 五倍子丁酸 418
 胡麻油 451
 「グアヤコール」380
 「グリセリン」267, 452
 「グルクロン」酸合成 57
 Gallae 418
 Galläpfelgerbsäure 418
 Gallusgerbsäure 418
 Gallussäure 418
 Gebrannter Alaun 426
 Gebrannter Kalk 397
 Gerbsäurepräparate 270
 Gelatina alba 288
 Gelatine 288
 Gelbe od weisse Phosphor 297
 Gelbes Wachs 451
 Gelöschter Kalk 397
 Gerbsäure 415
 Gewebssimmunität 29
 Gewöhnung 26
 Gewöhnung an Gifte 28
 Glandula Thyreoidae siccata 221, 311
 Glandula Thyroidea pulverata 311
 Glaubersalz 252, 253
 Glukuronsäuresynthesen 57
 Glycerinum 267, 452
 Glycerinum boricum 411
 Goapulver 378
 Gratus-Strophanthin 197
 Graue Salbe 341
 Granatrinde 369
 G. Strophanthinum cristallisatum 197
 Guajacol carbonicum 194
 Guajacolum 380

Guajakolsulfosaures Kalium 194
 Gummi Gutti 261
 Gummi-Salzlösung 201
 Gussnarkose 98
 Gutti 261

H

「ハマメリス」葉 418
 「ハロゲン」390
 肺ヨリノ排泄 70
 肺ヨリノ吸収 14
 排出型 64
 排出性腎臓炎 67
 白阿膠 288
 白血球破壊剤 282
 白降汞 401
 白降汞軟膏 401
 白蠟 45
 白色「ワゼリン」452
 白陶土 269
 薄荷腦
 ——腸管防腐剤トシテ 241
 ——鎮痒剤トシテ 443
 癩痕軟解剤 449
 反射の呼吸停止 86
 破傷風血清 456, 457
 發汗薬 164
 發泡膏 440
 發泡剤 434, 440
 發煙硝酸 429
 發生機酸素 387
 發揚期 87
 「ヘドナール」110
 「ヘキサメチレンテトラミン」358
 「ヘキセトン」76
 「ヘノボチ」油 365, 366
 「ヘレボレイン」208
 「ヘリドニン」179
 「ヘロイン」179
 「ヘルミトール」359
 變質剤 290
 扁桃油 451
 「ヒドラスチン」322
 「ヒドラスチニン」322
 「ヒドラスチス」流動「エキス」323
 「ヒドラスチス」劑 322
 「ヒドロエルゴチニン」317
 「ヒドロヒノン」376, 377
 「ヒマシ」油 257, 258, 267
 「ヒニヂン」210
 「ヒオスチアミン」167
 「ヒオスチン」119, 167
 「ヒポフィジン」198, 306, 322
 「ヒスタミン」317, 319
 「ヒョリン」166
 蕁麻疹 362
 皮下注射 17
 皮膚刺戟 174
 皮膚刺戟剤 83, 433
 皮膚ヨリノ吸収 13
 皮膚及粘膜ニ作用スル藥物 369
 皮膚及粘膜ヨリノ排泄 69
 被覆剤 449
 被働的免疫 453
 平野水 227
 砒素中毒ノ療法 305
 砒素化合物
 ——無機性砒素化合物 300
 ——有機性砒素化合物 343
 ——補血剤トシテ 281
 砒鐵丸 281
 非特異性療法 458
 百日咳ニ用ヒラルル藥物 179
 漂白粉 390
 表面麻醉剤 148
 「ホモアトロピン」172
 補充拮抗作用 33
 補充療法 3
 補血剤 276
 薔木蠶越幾斯 235

蕃木龍丁炭 235
 縫合材料ノ消毒 413
 芳香列ノ消毒劑 369
 芳香丁炭 236
 芳香劑 236
 硼酸 409, 411
 硼酸亞鉛華軟膏 411
 硼酸「グリセリン」 411
 硼酸軟膏 411
 硼砂 409, 411
 抱水「アミレン」 111
 抱水「プロマル」 111
 抱水「クロラール」 101, 104
 抱水「テレピン」 191
 繻帶材料類消毒 414
 Halogene 390
 Harnatiseptica 356
 Harnstoff 220, 221
 Hautreize 174
 Heutreizmittel 83, 433
 Hämostatikum 282
 Hedonal 110
 Helleborein 208
 Helmitolum 359
 Herba Absinthii 235
 Heroin 179
 Heroinhydrochlorid 179
 Hepar sulfuris 446
 Hexamethylentetramin 358
 Hexamethylentetramintriborat 359
 Hexetonum 76
 Hg 化合物 208
 Histamin 317, 319
 Holocainum hydrochloricum 153
 Homatropin 172
 Homatropinum hydrobromicum 172
 Holztee 381, 382
 Höllenstein 404
 Hustenmittel 176
 Hydrargyrum salicylicum 342

Hydrargyrum bichloratum 399
 Hydrargyrum bichloratum ammoniatum 401
 Hydrargyrum chloratum 222, 257, 342, 400
 Hydrargyrum chloratum vapore paratum 342, 400
 Hydrargyrum cyanatum 342
 Hydrargyrum oxycyanatum 342, 400
 Hydrargyrum oxydatum flavum 400
 Hydrargyrum oxydatum via humida paratum 400
 Hydrargyrum praecipitatum album 401
 Hydrastin 322
 Hydrastinin 322
 Hydrastininum hydrochloricum 323
 Hydrastispräparate 322
 Hydroergotin 317
 Hydrochinon 376
 Hydrocodeinon 179
 Hydrogenium peroxydatum 284
 Hydrogenium peroxydatum solutum 388
 Hyoscinum hydrobromicum 120
 Hyoscyamin 167
 Hypnotica 99
 Hypophyenpräparate 198, 305, 320
 Hypophysin 198, 322
 Hyoscin 119, 167

I

「イオン」作用 232
 「イヒチオール」 382, 383, 419
 「イヒタルガン」 405
 「インフンディプリン」 321
 「インシュリン」 306
 「イソフォルム」 395
 「イソブラール」 111
 「イスタチン」 265
 「イトロール」 403, 405
 胃ノ吸收力 5

引赤劑 434
 印度大麻 133
 硫黄 265
 硫黄合成 59
 硫黄華 446
 硫黄浴 445
 Ichtharganum 405
 Ichthyol 381, 382, 383, 419
 Ichthyolsilberverbindung 405
 Idiosynkrasie 26
 Infiltrationsanästhesie 148, 149
 Infundibulin 321
 Infusum Sennae compositum 264
 Inhalationsanästhetika 84, 95
 Injektion in die serösen Höhlen 23
 Insulin 306
 Intramuskuläre Injektion 20
 Intravenöse Injektion 20
 Intravenöse Injektion 20
 Isoform 395
 Isopral 111
 Isovaleriansäurediäthylamid 118
 Istizin 265
 Ipecacuanha 186
 Itorol 403, 405

J

「ジロリン」 194
 「ジアール」 110
 「ジアセチルモルフィン」 179
 「ジアスターゼ」 276
 「ジフテリー」血清 454, 456
 「ジガレン」 197, 207
 「ジギフォリン」 197, 207
 「ジギタミン」 197, 207
 「ジギタリス」
 —強心劑トシテ 201
 —搏動障碍ニ對スル藥劑トシテ 209
 —利尿劑トシテ 215
 「ジギタリス」製劑 196

「ジギタリス」丁炭 207
 「ジギタリス」葉 207
 「ジギプラツーム」 197, 207
 「ジヒドロモルフィン」 179
 「ジコデッド」 179
 「ジメチルキサンチン」 217
 「ジオキシジアミノアルゼノベンゾール」 343
 「ジオキシブーリン」 76
 「ジオニン」
 —鎮咳劑トシテ 178
 —皮膚劑殺劑トシテ 442
 「ジブレン」 217, 218
 時間的「ポテンチールング」 31
 自動的免疫 453
 自律神經系ニ作用スル藥物 156
 自律神經系 157
 人工「カルルス」泉鹽 255
 人工「セルテル」水 227
 腎臟機能ニ作用スル藥物 215
 腎臟ヨリノ排泄 63
 次亞「クロール」酸「ナトリウム」液 391
 次没食子酸蒼鉛 273, 424
 次醋酸蒼鉛液 422
 次硝酸蒼鉛 238, 272
 次炭酸蒼鉛 273
 次「ザルチル」酸蒼鉛 273
 滋養劑 313
 蒸氣製甘茶 342, 400
 上皮形成促進劑 448
 上皮溶解藥 444
 線蟲驅除ニ用ヒラルル藥物 366
 靜脈内注射 20
 純「アルコール」 409
 循環器ニ作用スル藥物 194
 重金屬鹽
 —腐蝕劑 429
 —收斂劑 418
 —消毒劑 397
 重酒石酸「カリウム」 254

重質煅製「マグネシア」254
 重碳酸「ナトリウム」230
 十二指腸蟲驅除ニ用ヒラルル藥物 364
 鞣酸 415
 鞣酸劑
 ——腸收斂劑トシテ 270
 「ゼネガ」根 183
 「ゼネガ」舍利別 183
 「ゼカコルニン」320
 「ゼンナ」葉 263, 264
 全身麻醉法 98
 全身止血劑 185
 Jod 311, 394
 Jodammonium 295
 Jodeisensirup 28
 Jodglycerin 394
 Jodipinum 296
 Jodivalum 296
 Jodkalium 64, 295
 Jodkalisalbe 296
 Jodnatrium 295, 296
 Jodoform 394
 Jodoformkolloidum 395
 Jodostarinum 296
 Jodothyryn 308
 Jodpräparate 290
 Jodsalbe 188
 Jothion 297
 Jodthyrinum 311
 Jodtinktur 394
 Jodum 394

K

「カゼオザン」458
 「カ、オ」脂 457
 「カコザル」酸「ナトリウム」305
 「カマラ」368
 「カムフル」
 ——中樞神経系興奮劑トシテ 73, 75
 ——呼吸中樞興奮劑トシテ 174
 ——強心劑トシテ 194

——制淫劑トシテ 324
 ——皮膚刺戟劑トシテ 441
 ——體內ニ於ケル運命 58
 「カムフル」酸 173
 「カムフル」丁幾 441
 「カムフル」油 75
 「カムフル・オレフ」油 195
 「カンナビノール」133
 「カンタリス」439
 「カンタリス」硬膏 440
 「カリ」滴液 428
 「カリ」石驗 448
 「カルモチン」108
 「カルシウム」349
 「カルシウム」鹽 285
 「カスカラサクラダ」263
 「カスカラサクラダ」流動越幾斯 263
 「カスカリラ」235
 「カストル」油 257
 「カワ」361
 過敏性 26, 27
 蛔蟲驅除ニ用ヒラルル藥物 363
 灰白軟膏 341
 海人草 364
 海仁草 364
 過「クロール」鐵液 284
 過「マンガン」酸加里 385, 387
 過酸化水素
 ——止血劑トシテ 284
 ——酸化劑トシテ 387, 388
 覺醒期 88
 苛味劑 236
 角質溶解劑 444
 浣腸 266
 灌注麻醉法 89
 還元 62
 完全心臓「ブロック」209
 甘汞
 ——利尿劑トシテ 222
 ——腸管防腐劑トシテ 241

——瀉下劑トシテ 256, 257
 ——驅蟲劑トシテ 342
 ——消毒劑トシテ 400
 甘味劑 316
 寒冷麻醉劑 142
 間接的止血劑 289
 乾燥「チオール」383
 乾燥甲狀腺 221
 乾燥及粉末甲狀腺 311
 肝油 315
 芥子 437
 芥子泥 437
 芥子紙 437, 438
 加里鹽類 219
 苛性「アルカリ」426
 苛性「カリ」427
 煅製「マグネシア」
 ——胃分泌抑制劑トシテ 238
 ——瀉下劑トシテ 253, 254
 煅製石灰 396
 滑石 238
 可溶性枸橼酸銅 432
 可溶性蛋白粉 314
 「ケレン」99, 142
 桂皮油 236
 桂皮酸 185, 186
 痙攣性慢性麥角中毒 399
 血管收縮劑 159
 血管擴大劑 212
 血清 289
 血清病 455
 血液補給 199
 血液及造血臟器ニ作用スル藥物 267
 健胃丁幾 235
 健胃劑 233
 結晶性G.「ストロファンチン」197
 結膜囊ヨリノ吸收 13
 「キナ」煎 235
 「キニーネ」
 ——體內ニ於ケル分布 52
 ——鎮痛劑トシテ 124
 ——解熱劑トシテ 140
 ——局所麻醉劑トシテ 154
 ——心臓搏動障礙ニ對スル藥劑トシテ 210
 ——子宮緊縮劑トシテ 322
 ——「マラリア」特效藥トシテ 325
 「キニーネ」類 180
 「キニーネ」誘導體 329
 「キサランチン」76
 「キセロフォルム」395, 424
 稀鹽酸 225
 期外收縮 210
 期外收縮性不規則脈 211
 稀次醋酸鉛液 422
 器械ノ消毒法 413
 氣管枝痙攣除去劑 181
 拮抗作用 30, 32, 34
 規那丁幾 235
 規鐵丸 280
 規那皮 235
 禁斷症狀 129
 筋肉内注射 20
 機能的療法 2
 生石灰 396
 生石灰末 397
 續草丁幾 118
 續草根 117, 118
 極量 25
 祛痰丸 191
 祛痰合劑 190
 祛痰劑 182
 局所麻痺 147
 局所麻醉劑 142
 局所止血劑 283
 杏仁水 185
 協力 30
 強酸類 428
 吸着現象 45
 吸着劑 241

- 吸入剤 190
 吸入麻酔剤 84, 95
 吸収防止剤 250
 嗅入剤 174
 急性循環機能不全ニ用ヒラルル
 薬物 194
 「コアグレン」285
 「コデイン」177
 「コフェイン」
 —中樞神経興奮剤トシテ 76
 —呼吸中樞興奮剤トシテ 174
 —強心剤トシテ 195, 208
 「コカイン」
 —局所麻酔剤トシテ 142
 —制吐剤トシテ—246
 —鎮痒剤トシテ 443
 「コカイン」中毒 146
 「コカイン」中毒ノ療法 150
 「コカイン」ノ代用薬 150
 「コンヂュランゴ」皮 234
 「コンヂュランゴ」皮煎 235
 「コンヂュランゴ」流動越幾斯 235
 「コンヂュランゴ」酒 235
 「コンヅァラマリン」208
 「コニイン」156
 「コパイバルサム」360, 361
 「コラミン」76
 「コロヂウム」452
 「コロシト」根 235
 「コロシト」越幾斯 260
 「コロシト」實 260
 「コルヒチン」313
 「コルラルゴール」405
 「コロロイド」銀 403, 405
 「コソ」花 367, 368
 「コタルニン」324
 汞毒性口内炎 337
 汞毒性神経過敏症 338
 汞毒性震顫 338
 興奮期 87
 皓礬 419
 枯礬 426
 甲状腺製剤
 —利尿剤トシテ 221
 —臓器製剤トシテ 308
 交感神経及副交感神経 156
 交感神経興奮剤 157
 呼吸器系ニ作用スル薬物 174
 呼吸中樞興奮剤 174
 呼吸鎮静剤 175
 混合麻酔 93
 鑛酸 223
 鑛泉 227
 抗神経痛剤 122
 骨炭末 263
 「クベバエキス」362
 「クベバ」子 362
 クムメルフェルド氏液 446
 「クラリン」156
 「クレオソート」
 —結核剤トシテ 193
 —腸管防腐剤トシテ 241
 —外用薬トシテ 380
 「クレオソート」劑 192
 クレーデ氏法 404
 「クレゾール」375
 「クレゾール」石鹼液 376
 「クレゾール」水 376
 「クリザロビン」378
 「クリザロビン・トラウマチチン」379
 「クリゾファン」酸 261
 「クロム」酸 432, 433
 「クロラール」中毒 103
 「クロラールフルマミッド」111
 「クロレトン」111
 「クロロフォルム」
 —吸入麻酔剤トシテ 86, 96
 —「エーテル」トノ比較 92
 —局所麻酔剤トシテ 153
 「クロ、フォルム」麻酔ノ術式 97

- 「クロール」亜鉛 430
 「クロールアミン」391
 「クロールアムモニウム」190
 「グロール」中毒ノ療法 391
 「クロール・エチル」
 —吸入麻酔剤トシテ 99
 —局所麻酔剤トシテ 142
 —鎮痒剤トシテ 443
 「クロール」酸「カリウム」388, 390
 「クロール」石灰 390
 「クロール」石灰水 391
 「クロトン」油 259
 驅蟲剤 362
 驅風剤 266
 果物 256
 苦土大黃散 262
 苦扁桃 185
 苦味丁幾 234
 苦味劑 233
 苦艾 235
 枸橼酸 226
 枸橼酸銀 403, 405
 枸橼酸「ナトリウム」199
 Kali causticum 427
 Kalilauge 428
 Kalisalze 219
 Kaliseife 448
 Kaliumacetatlösung 220
 Kalium-Aluminiumsulfat 425
 Kalium bitartaricum 255
 Kalium bromatum 116
 Kaliumchlorat 390
 Kalium chloricum 388, 390
 Kaliumhydroxyd 427
 Kalium jodatum 188, 296
 Kaliumjodid 296
 Kaliumnitrat 220
 Kalium nitricum 220
 Kaliumpermanganat 385, 387
 Kalium permanganicum 387
 Kalium sulfuratum 446
 Kalium tartaricum 254
 Kalkmilch 397
 Kalkwasser 396, 397
 Kalomel 222, 241, 256, 257, 342, 400
 Kälteanästhesie 142
 Kamala 368
 Kampfer 58, 73, 75, 194, 324
 Kampfersäure 173
 Karbolsäure 372, 374, 443
 Kastoröl 258
 Kausale Therapie 1
 Kawa-Kawa 361
 Kelen 99, 142
 Keratolytica 444
 Klystier 266
 Koagulen 285
 Kochsalzfeber 200
 Kochsalzwasser 231
 Kochsalz 246, 287
 Kohlehydratepräparate 315
 Kohlensäure 266, 442
 Kohlensäurebäder 442
 Kokain 142
 Kokainhydrochlorid 149
 Kokainvergiftung 146
 Kolloidium 452
 Kolloidales Silber 403
 Kosoblätter 368
 Kreosotum 192; 193, 380
 Kreosotum carbonicum 194
 Kresole 375
 Krotonöl 259
 Kubeben 362
 Kubebenextrakt 362
 Kumulation 27, 203
 Kupfersulfat 245, 246, 431
 Kupfervitriol 246, 431
 Kupferverbindungen 430
 Künstliches Karlsbader Salz 255

L

Labarraques Bleichwasser 391
 Lachgas 99
 Lac sulfuris 446
 Laktophenin 139
 Laktylphenetidin 139
 Lanolin 451
 Lanolinpasta Dohi 451
 Lapis 404
 Lapis divinus 432
 Lapis mitigatus 430
 Lapis ophthalmicus 432
 Lassarsche Pasta 419
 Lebertran 315
 Leitungsnästhesie 143, 148, 151
 Liquor Alumini acetici 426
 Lipoidtheorie 85
 Lipojodium 296
 Liquor arsenicalis 304
 Liquor Ferri albuminati 281
 Liquor Ferri sesquichlorati 284
 Liquor Kali acetici 220
 Liquor Kali caustici 428
 Liquor Kalii arsenicosi 304
 Liquor Kresoli saponatus 376
 Liquor Plumbi subacetici 422
 Liquor Plumbi subacetici dilutus 422
 Lobelin 82
 Locale Hämostatikum 283
 Lockesche Lösung 200
 Lokalanästhesie 147
 Lokalanästhetika 142
 Lösende Expectorantia 182, 188
 Lösliche Eiweisspulver 314
 Laestin 342
 Lumbalanästhesie 148
 Luminal 109
 Lysol 375, 376
 Lytta vesicatoria 439

M

「マグネシウム」154
 「マンナ」256
 「マルツエキス」315
 「まめばんめう」439
 豆斑苗 439
 慢性循環機能不全=用ヒラルル藥物
 201
 麻酔ノ學說 43, 85
 麻酔時ノ注意 96
 麻酔ノ禁忌 95
 麻酔死 94
 麻酔用「エーテル」97
 麻酔用「クロロフォルム」97
 末梢神經ヲ麻痺セシムル藥物 142
 「メチレンクレオソート」194
 「メチレン」膏 412
 「メチル・モルフィン」177
 「メチル」莖 412
 「メヂナール」107
 「メントール」
 一 腸管防腐劑トシテ 241, 242
 一 制吐劑トシテ 246
 一 利膽劑トシテ 276
 一 鎮痒劑トシテ 443
 「メルブリン」123
 「メタクレゾール」375
 「メタン」誘導體 84
 「メタオキシ」安息香酸 385
 「メゾタン」333
 綿馬「エキス」267
 綿馬根 366
 滅菌法 412
 免疫學的製劑 453
 「ミグレニン」123
 「ミルトール」192
 明礬 425
 「モルヒネ」
 一 鎮痛劑トシテ 124

一 呼吸鎮靜劑トシテ 175
 一 鎮咳劑トシテ 177
 「モルヒネ」中毒 129
 「モルヒネ」中毒ノ療法 132
 「モルヒネ・アトロピン」93
 「モルヒネ・スコポラミン」93
 木「テール」381
 「ムスカリン」166
 無晶形「ストロファンチン」197
 無水「アルコール」409
 Magermilch 458
 Magenmittel 233
 Magnesia usta 238, 253, 254
 Magnesia usta ponderosa 254
 Magnesiumsulfat 155, 253
 Magnesium karbonicum 253
 Megnesium oxydatum 254
 Magnesiumsalze 154
 Magnesium sulfuricum 155, 253
 Malzextrakt 315
 Manna 256
 Medinal 107
 Melubrinum 123
 Menthol 242, 246, 276, 443
 Merkurichlorid 399
 Mercuriochlorid 257
 Merkurisalicylsäure 342
 Merkuorchlorid 342
 Mesotanium 333
 Metaoxybenzoësäure 385
 Methanderivate 84
 Methylenblau 412
 Methylenkreosot 194
 Methylisopropylphenol 365
 Methylmorphin 177
 Methylpropylcarbinolurethan 110
 Methylsulfonal 10
 Methylviolett 412
 Migränin 123
 Milchsäures Silber 403

Milchsäure 429
 Milchzucker 256
 Mineralsäuren 223
 Mineralwasser 227
 Miotica 162
 Mischnarkosen 93
 Mittel zur Erregung der Funktionen des
 Zentralnervensystems 73
 Mixtura solvens 190
 Monojodbehensures Calcium 296
 Morphin 124
 Morphinismus 129
 Morphinum hydrochloricum 131
 Mucilaginoso 268
 Muskarin 166
 Mutterkorn 320
 Mydriatika 167
 Myrtol 192

N

「ナフタリン」
 一 腸管防腐劑トシテ 241
 一 消毒劑トシテ 371
 一 構造式 379
 「ナフトール」379
 「ナルコチン」179
 「ナルコフィン」132
 「ナルコボン」132
 鉛中毒ノ療法 423
 鉛化合物 420
 「ネマトール」366
 「ネオサルヴァルサン」349
 粘滑劑 268
 粘膜ノ消毒 413
 「ニコチン」173
 「ニルバニン」443
 「ニルヴァノール」111
 「ニトログリセリン」214
 二「ナトリウム」燐酸鹽 254
 肉「エキス」314

肉汁 314
肉食動物 224
尿酸排出増進剤 311
尿素 220, 221
尿消毒剤 356
乳汁 458
乳酸 429
乳酸銀 403, 405
乳酸「カルシウム」287
乳酸鐵 280
乳腺ヨリノ排泄 71
乳糖 256
「ノイロチール」111
「ノヴァズロール」222, 343
「ノヴィフォルム」424
「ノヴォカイン」150
「ノヴォヨヂン」395
腦下垂體「エキス」
腦下垂體製剤
— 強心剤トシテ 193
— 臓器製剤トシテ 365
— 子宮緊縮剤トシテ 320
Naphthalin 371, 379
Naphthol 379
Narbenerweichende Mittel 449
Narcophinum 132
Narkosetod 94
Narkotica der Fettreihe 84
Narkotin 179
Naszierender Sauerstoff 387
Natrium bicarbonicum 230
Natriumbikarbonat 230
Natrium boracicum 411
Natrium bromatum 117
Natrium cacodylicum 305
Natrium citricum 199
Natrium hypochlorosum solutum 391
Natrium jodatum 296
Natriumnitrit 214
Natrium nitrosum 214

Natrium phosphoricum 254
Natrium salicylicum 333
Natriumsalicylat 333
Natriumsulfat 253
Natrium sulfuricum 253
Nauseose Expectorantia 182
Nährpräparate 313
Nematol 366
Neosalvarsan 349
Nervengift 80
Neuronal 111
Neurorezidive 348
Nikotin 173
Nirvanin 443
Nirvanol 111
Nitrite 212
Nitrogenium oxydulatum 99
Nitroglyzerin 214
Novasurol 222, 343
Noviformium 424
Novocainum 150
Novokain 150
Novojodin 395

O

「オイフィリン」219
「オイヒニン」180
「オイカイン」152, 443
「オイコダール」179
「オキシフル」388
「オキシカムフル」175
「オプトヒン」329
「オレフ油」267, 451
「オレキシシ」235
「オルトフォルム」152, 246, 443
「オルトクレゾール」375
「オルトオキシ」安息香酸 385
黄降汞 400
黄磷 297
黄蠟 451

黄色酸化汞 400
黄色「ワゼリン」452
遠志 183
嘔心性祛痰剤 182
Oberflächenanästhetikum 148
Obstipantia 267
Oleum olivarum 267
Oleum amygdalarum 451
Oleum anisi 236
Oleum arachidis 451
Oleum cacao 452
Oleum camphoratum 75, 195
Oleum caryophyllorum 236
Oleum castoris 257
Oleum chaulmoograe 452
Oleum chenopodii 365
Oleum chenopodii anthelminthici 366
Oleum cinnamomi 236
Oleum Eucalypti 192
Oleum Hydnocarpi 452
Oleum Jecoris aselli 315
Oleum Lini 451
Oleum olivarum 451
Oleum Ricini 258, 257
Oleum Santali 362
Oleum Sesami 451
Oleum Terebinthinae 439
Oleum Terebinthinae rectificatum 191
Oleum Zinci 419
Olivenöl 267, 451
Opium pulveratum 132, 275
Optochin 329
Optochinum basicum 329
Opiumpräparate 124, 273
Orexin 235
Orexinum tannicum 236
Organische Säuren 223
Organotherapie 4
Organpräparate 305
Orthoform 246, 443

Orthoxybenzoësäure 385
Ovarialpräparate 311
Oxydationen 54
Oxydationsmittel 385
Oxykamfer 175

P

パーゲンステッヘル氏軟膏 401
「パンギタール」197, 207
「パンクレアチン」275
「パントボン」132
「パバヴェリン」214, 247
「バラコヂン」179
「バラクレゾール」375
「バラオキシ」安息香酸 385
「バラルデヒド」111
「バラオキシフェニルエチラミン」317
「ペブシン」275
「ペプトン」314
「ペロニン」178
「ペルーバルサム」384
「ベルツッシン」181
「ビツグランドール」198, 306, 321
「ビクロトキシシ」83
ビック氏硬膏 422
「ビオクタニン」412
「ビオクタニン」黄 412
「ビオクタニン」青 412
「ピラミドン」123, 139
「ピロガルロール」377, 378
「ピロカルピン」163, 317
「ピツイトリン」306, 321
「ポドフィルム」脂 260
「ポルフィリン」尿 108
「ポテンチールング」30
「プジカイン」151
「プーリン」76
「プーリン」體 208
「プーリン」誘導體 216
「プロテイン」銀 404

- 「プロタルゴール」403, 404
 Pagenstechers Salbe 401
 P-Amidobenzoyldiäthylamidoäthanol 150
 Pangital 197
 Pankreatin 275
 Pantoponum 132
 Papaverin 214, 247
 Papaverinum hydrochloricum 215
 Paracodin 179
 Paraffinum liquidum 452
 Paraffinum solidum 452
 Parajodanisol 395
 Paraldehyd 111
 Paraoxybenzoesäure 385
 Parasymphatische Nerven 156
 Paratoluolsulfosäurechloramminatrium 391
 Partieller Block 209
 Passive Immunität 453
 Pasta Caustica Viennensis 428
 Pastilli Hydrargyri bichlorati 400
 Pepsin 275
 Peptone 314
 Per Klysm 11
 Peronin 178, 179
 Pertussin 181
 Perubalsam 384
 Pflanzenfresser 224
 Phenacetinum 123, 139
 Phenol 190, 372, 374
 Phenolphthalein 165
 Phenylchinolincarbonsäure 312
 Phenylum salicylicum 359
 Phosphor 297, 299
 Physiologische Kochsalzlösung 200
 Physostigmin 161, 163
 Physostigmin-oder Eserinsalicylat 163
 Plicksches Pflaster 422
 Pikrotoxin 83
 Pilocarpinhydrochlorid 165
 Pilocarpinum hydrochloricum 165
 Pilokarpin 163
 Pilulae Aloes 264
 Pilulae Aloës et Ferri 264, 280
 Pilulae Aloës et Jalapae 265
 Pilulae Asiaticae 304
 Pilulae Expectorantes 191
 Pilul. Ferr. Arsenic. 281
 Pilulae Ferri carbonici Blandi 280
 Pilulae Ferri et Chinini 280
 Pilulae Rhei compositae 262
 Pituglandol 199, 321
 Pix liquida 382
 Plumbum aceticum 422
 Porphyrinurie 108
 Potenzierung 30
 P-Oxyphenyläthylamin 317, 319
 Primäres Psikaintartrat 151
 Protargol 403, 405
 Psikain 151
 Pulv. aerophorus 227
 Pulverisiertes Eiweiss 314
 Pulvis Infantum 262
 Pulvis Doveri 177
 Pulvis Ipecacuanhae opiatu 177
 Pulvis Magnesia cum Rheo 262
 Purin 76
 Purinderivate 216
 Purostrophanthin 197
 Pyramidon 123, 139
 Pyrazolonum phenyldimethylicum 123, 138
 Pyoctanium caeruleum 412
 Pyoctanium aureum 412
 Pyoktanin 412
 Pyrogallol 377, 378
 Pyrogallussäure 377
 Pyridinbetacarbonsäurediäthylamid 76

Q

- Quecksilber 334
 Quecksilberchlorid 399
 Quecksilberchlorür 257
 Quecksilbercyanid 342
 Quecksilbertherapie 65
 Quecksilberpflaster 341
 Quecksilbersalicylat 342
 Quecksilberverbindungen 397
- R**
- 「ラキサトール」265
 「ラクチールフェネチジン」189
 「ラクトフェニン」189
 「ラノリン・パスタ」451
 ラッサル氏「パスタ」419
 落花生油 451
 卵巣製剤 311
 「レグリン」263
 「レミジン」329
 「レゾルチン」
 — 腸管防腐剤トシテ 241, 242, 243
 — 消毒剤トシテ 276, 377
 — 鎮痒剤トシテ 443
 「リチネ」油 258
 リンガー氏液 19, 220
 「リポイド」説 85
 「リポヂン」296
 「リヴァノール」412
 「リゾール」375, 376
 燐 297, 299
 燐中毒 298
 燐中毒ノ療法 299
 燐酸 226
 燐酸「コデイン」178
 燐酸「ナトリウム」254
 林檎酸鐵丁幾 280
 利尿剤 215
 利膽剤 276
 流動「チオール」383
 流動「パラフィン」452
 流動石炭酸 375
 流動蘇合香 384
 硫化「アルカリ」類 445
 硫化「カリウム」446
 硫化水素 445
 硫苦
 — 運動神経麻酔剤トシテ 155
 — 瀉下剤トシテ 252, 253
 硫酸亞鉛 419
 硫酸「アルミニウム」426
 硫酸「アトロピン」
 83, 171, 181, 212, 241, 247
 硫酸銅 245, 246, 431
 硫酸「ヒニジン」211
 硫酸「マグネシウム」155, 252, 253
 硫酸「ナトリウム」252, 253
 硫酸「スバルテイン」209
 龍膽 234
 「ロベリア」草 82
 「ロベリン」82, 174
 ロック氏液 200
 蘆薈 264, 317
 蘆薈丸 264
 蘆薈鐵丸 264, 280
 蘆薈「ヤラッパ」丸 265
 蘆薈丸 265
 礫砂 190
 莫岩剤 238, 268
 莫岩越幾斯 289
 「ルエスチン」342
 ルゴール氏液 394
 「ルミナール」109
 Radix Colombo 235
 Radix Gentianae 234
 Radix Gentianae scabrae 234
 Radix Ipecacuanhae 187
 Radix Polygalae 183
 Radix Rhei 261
 Radix Senegae 183
 Radix Valerianae 117, 118

Rauchende Salpetersäure 429
 Reduktionen 62
 Reflektorischer Atmungsstillstand 86
 Regionäre Anästhesie 147
 Regulatorische Gegenwirkungen 25
 Regulatorische Therapie 2
 Regulin 263
 Reizende Expectorantia 182
 Resina Jalapae 259, 260
 Resina Podophylli 260
 Resina Scammonii 260
 Resorptionshindernde Mittel 250
 Resorcin 242, 243, 246, 276, 377, 443,
 Rhabarber 261
 Rhizoma Filicis 366
 Rhizoma Rhei 262
 Riechmittel 174
 Ringersche Lösung 19, 200
 Rivanol 412
 Rizinusöl 257
 Roter amorpher Phosphor 297
 Rubefacientia 434
 Rückenmarksanästhesie 148

S

「サッカリン」316
 「サントニン」363
 「サルヴァルサン」51, 343
 「サヨヂン」396
 催淫劑 324
 催眠劑 99, 324
 菜食動物 224
 醋刺水 220
 醋酸 429
 醋酸「アルミニウム」425
 醋酸「アルミニウム」液 426
 醋酸礬土液 426
 醋酸鉛 422
 醋酸「カリウム」液 220

醋酸「ナトリウム・テオプロミン」218
 醋酸「ナトリウム・テオフィリン」219
 散瞳劑 167
 酸化 54
 酸化「アチン」汞 342, 400
 酸化亞鉛 418, 419
 酸化「カルシウム」396
 酸化劑 385
 酸素 175, 176
 酸劑 222
 晒粉 390
 「セドプロール」117
 「セルテル」水 227, 246
 生理的食鹽水 200
 生殖器ニ作用スル藥物 316
 制淫劑 324
 制汗劑 173
 制瀉劑 267
 制吐劑 246
 生物的「アミン」60
 清涼劑 227
 青酸含有劑 183
 青酸汞 342
 精製「ゴア」末 378
 精製硫黃 266, 446, 458
 精製酒石 254
 精製「テレピン」油 191
 石灰乳 397
 石灰水 396, 397, 443
 石鹼 267, 446
 石炭酸
 一 氣管枝分泌抑制劑トシテ 190
 一 消毒劑トシテ 372, 374
 一 鎮痒劑トシテ 443
 石炭酸亞鉛華糊膏 443
 石炭酸水 375
 脊髓麻醉 148
 石炭酸及「ザリチル」酸類 369
 赤磷 297
 鷹骨麻醉 148

脂肪類 315
 脂肪列ノ麻醉劑 84
 脂肪性物質 449
 刺激性祛痰劑 182
 止血劑 282
 子宮緊縮劑 316
 心房「フリムメルン」209
 心搏頻數 210
 心臓搏動障礙ニ作用スル藥物 209
 新陳代謝ニ作用スル藥物 290
 浸潤麻醉 148
 神經毒 80
 神經再發症 348, 349
 神效石 432
 眞性不眠症 100
 瀉下劑 247
 葛蒲丁幾 236
 小腸興奮劑 257
 小兒散 262
 消毒法
 一 手ノ消毒法 412
 一 手術部ノ消毒法 413
 一 器械ノ消毒法 413
 一 縫合材料ノ消毒法 413
 一 綑帶材料類ノ消毒法 414
 消毒劑 369
 消化管ヨリノ排泄 67
 消化器ニ作用スル藥物 222
 消化酵素 275
 消石灰 397
 漿液腔内注射 23
 薑根丁幾 236
 笑氣 99
 昇汞 397, 399
 昇汞錠 400
 猩紅軟膏 448
 猩紅赤 448
 症候療法 3
 植物性神經系 157
 植物性神經系ニ作用スル藥物 156

食鹽

一 吐劑トシテ 246
 一 止血劑トシテ 287
 食鹽熱 200
 食鹽泉 231
 食鹽溶液 267
 樟腦 443
 樟腦精 441
 硝酸 429
 硝酸銀
 一 消毒劑トシテ 403, 404
 一 腐蝕劑トシテ 429
 硝酸銀加硝石 430
 硝酸銀中毒ノ療法 405
 硝酸加里 220
 硝酸「ストリキニーネ」81, 199, 212
 焦性沒食子酸 377, 378
 臭化物 66
 臭素惡液質 114
 臭素「アムモニウム」115, 117
 臭素鹽類 111
 臭素「カルシウム」117
 臭素加里 115, 116
 臭素加里中毒 114
 臭素加里中毒ノ療法 117
 臭素「ナトリウム」115, 117
 臭素劑 247, 324
 臭素瘡 114
 習慣性 26, 28
 習慣性ノ原因 28
 縮瞳劑 162
 收斂性遠達作用 286
 收斂劑 268, 414
 蓆酸「セリウム」247
 酒精 409
 酒石酸 226
 酒石酸「カリウム」254
 「ソーダ」水 227
 蒼鉛化合物 423
 蒼鉛劑 271, 350

蘇合香「バルサム」384
 相乗 30
 粗製「クレゾール」376
 組織免疫 29
 「スカムモニウム」脂 260
 「スコボラミン」
 — 鎮静剤トシテ 119
 — 所在 167
 — 制吐剤トシテ 247
 「スコボラミン・モルヒネ」迷朦睡眠
 120
 「スパルテイン」208
 「ストリキニーネ」
 — 中枢神経系興奮剤トシテ 79
 — 強心剤トシテ 199
 — 心臓搏動障碍ニ對スル薬剤
 トシテ 211
 「ストリキニーネ」中毒 80
 「ストリキニーネ」中毒ノ療法 81
 「スツイルライン」208
 「ストロファンチン」196
 「ストロファンツス」207
 「ストロファンツス」丁幾 208
 「ストヴァイン」152
 水銀中毒ノ療法 401
 水銀化合物 397
 水銀硬膏 341
 水銀軟膏 341
 水銀療法 65
 水銀剤 334
 水酸化加里 427
 水揚酸曹達 332
 Sabromin 117
 Säuren 222
 Saccharina 316
 Saccharum lactis 256
 Sajodinum 296
 Sakralanästhesie 148
 Sal Carolinum factitium 255
 Salicylsaures Antipyrin 123

Salicylsäure 384, 385
 Salicylsäuremethyloxymethylester 333
 Salicylsäurephenylester 359
 Salicylsäurepräparate 124, 141
 Salicylseifenpflaster 422
 Salicylverbindungen 359
 Salinische Laxantien 250
 Salipyrinum 123
 Salmiak 190
 Salol 241, 242, 359
 Salolstein 359
 Salpetersaures Kalium 220
 Salpetersäure 429
 Salvarsan 51, 349
 Salze d. schweren Metalle 418, 429
 Salzaures Cotarnin 324
 Salzaures Di-p-anisylmonoparaphenetyl-
 guanidin 153
 Salzwirkung 232
 Sandelöl 362
 Santonin 363
 Sapo Jalapinus 260
 Saponine 182
 Sapo Kalinus 448
 Sapo Medicatus 448, 267
 Salicylsäurepräparate 329
 Sauerstoff 176
 Scharlachrot 448
 Scharlachsälbe 448
 Schilddrüsenpräparate 221, 308
 Schlafmittel 324
 Schmierkur 339
 Schwefelalkalien 445
 Schwefel 265
 Schwefelbäder 445
 Schwefelblumen 446
 Schwefelleber 446
 Schwefelmilch 446
 Schwefelsynthesen 59
 Schwefelwasserstoff 445

Schweinefett 451
 Scillain 208
 Scopolaminum hydrobromicum 120
 Scopoliapräparate 238
 Secacornin 320
 Secale cornutum 317, 320
 Secalevergiftung 318
 Sedativa 111
 Sedobrolum 117
 Seife 267, 446
 Sekretionsbeschränkendes Mittel 190
 Semen Sinapis 437
 Senf 437
 Senfpapier 437, 438
 Selterswasser 227
 Serum antidiphthericum 456
 Serum antitetanicum 457
 Serumkrankheit 455
 Silbernitrat 403, 404, 429
 Silberverbindungen 401
 Sirolin 194
 Sirupus Aurantii Corticis 236, 316
 Sirupus Ferri Jodati 281
 Sirupus Rubi 316
 Sirupus Senegae 183
 Sirupus simplex 316
 Skopolamin 119, 167
 Skopolamin-Morphin-Dämmerschlaf 120
 Skopolamin-oder Hyoscinhydrobromid
 120
 Sodawasser 227
 Solutio Lugoli 394
 Solutio Natrii chlorati physiologica 200
 Solutio Natrii hypochlorosi 391
 Somnifen 111
 Spaltungen 60
 Spartein 208
 Sparteinsulfat 209
 Sparteinum sulfuricum 209
 Spezifisch desinfizierende Mittel 325
 Spiritus 409
 Spiritus camphoratus 441
 Spiritus Ammoniae foeniculatus 189
 Starke Säuren 428
 Sterilisation 412
 Steinkohlenteerbenzin 371
 Stibium Kalio-tartaricum 356
 Stickoxydul 99
 Stomachica 233
 Stomatitis mercurialis 337
 Stopfmittel 267
 Storax 384
 Stovain 152
 Stronthiumsals der Chlorarsenobeh-
 enolsäure 305
 Strophanthin 196
 Strophanthinum amorphum (Boehringer)
 197
 Strophanthus 207
 Strychnin 79, 199, 211
 Strychninnitrat 81
 Strychninum nitricum 81, 199, 212
 Strychninvergiftung 80
 Styrax 384
 Styraxbalsam 384
 Styrax liquidus 384
 Subkutane Injektion 17
 Sublimat 397
 Substitutionsantagonismus 33
 Substitutionstherapie 3
 Sulfonal 108
 Sulfur depuratum 446, 458
 Sulfur sublimatum 446
 Sulfur praecipitatum 446
 Suprarenin 157, 160
 Süßschmeckende Mittel 316
 Sympathische Nerven 156
 Symptomatische Therapie 3
 Synergismus 30
 Synthesen 56

T

- 「タンナルビン」271
「タンニゲン」270
「タンニン」酸 284, 418
「タンニン」酸「オレキシソ」236
「タマリンド」實 256
大風子油 452
体温調節中枢 136
体温調節=作用スル藥物 133
單鉛硬膏 423
單軟膏 451
單細胞動物ノ免疫 29
單舍利別 316
炭末類 269
炭酸 226, 442
炭酸「アルカリ」238
炭酸「グアヤコール」194
炭酸「クレオソート」194
炭酸「マグネシウム」253
炭酸浴 442
蛋白ノ粉末 314
蛋白製劑 314
蛋白鐵液 281
「テアチロン」218
「テオチン」217, 218, 219
「テオフィリン」217, 218, 219
「テオプロミン」208, 217
「テバイン」179
「テレピン」油 190, 191, 438, 439
「テール」381, 443
「テールバスタ」382
「テトロドトキシソ」156
點滴注腸 11
鐵劑 276
「トリブーム」石炭酸蒼鉛 424
「トレポール」352
「トリゲミン」123
「トリクロール」醋酸 429
「トリメチルキサンチン」76
「トリオナール」109
「トリパフラヴィン」412
「トロパコカイン」151
橙皮丁幾 236
橙皮舍利別 236, 316
吐根 186, 187
吐酒石 354, 356
吐酒石中毒ノ療法 356
吐劑 243
特異體質 26
特殊消毒劑 325
豚脂 451
藤黃 261
塗擦療法 339
「ツメノール」383, 419, 443
「ツトカイン」152
Tachykardie 210
Talcum 238
Tannalbin 271
Tannigen 270
Tannin 418
Tanninalbuminat 271
Tartarus depuratus 255
Tartarus stibiatus 356
Tebain 179
Teer 381
Teerpasta Dohi 322
Terpentin 190
Terpentinöl 438
Terpinhydrat 191
Terpinum hydratum 191
Tetanuserum 456
Tetraborsures Natrium 411
Tetrabrenzkatechinwismut 424
Tetramethyldiamidobenzoylpentanol 152
Theacylon 218
Theobromin 208, 217
Theobrominum natrioaceticum 218
Theobrominum natrio-salicylicum 218
Theocin 217, 218, 219

- Theocinum natrio-aceticum 219
Theorie der Narkose 43, 85
Theophyllin 217, 218, 219
Theophyllin-Äthylendiamin 219
Theophyllinum natrio-aceticum 219
Thiokol 194
Thiolum 383
Thiolum liquidum 383
Thiolum siccum 383
Thiosinamin 449
Thymol 276, 364, 365
Thymian 181
Thymus vulgaris 181
Thyradenum 311
Thyreoglobulin 308
Thyreoidin 221
Thyreoidinpräparate 311
Thyroxin 309, 311
Tinctura amara 234
Tinctura aromatica 236
Tinctura Aurentii Corticis 236
Tinctura Calami 236
Tinctura Chinae 235
Tinctura Callarum 418
Tinctura Digitalis 207
Tinctura Ferri pomati 280
Tinctura Jodi 394, 440
Tinctura Opii 275
Tinct. Stomachic. 235
Tinct. Strophanti 208
Tinctura Strychni 235
Tinctura Valerianae 118
Tinctura Valerianae aetherea 118
Tinctura Zingiberis 236
Tremor Mercurialis 338
Trepolum 352
Tribromphenolwismut 395, 424
Trichloressigsäure 429
Trichlorisopropylalkohol 111
Trichlormethan 96
Trichlorurethan 110
Trigemin 123
Trihydro-trijod-oxy-indol-propionsäure 311
Trional 109
Trimethylbenzoyloxypiperidin 152
Trimethylxanthin 76
Trioxymethylantrachinon 261
Tropakokain 151
Tropfenklystier 11
Trypflavin 412
Tumenol 383, 419, 443
Tutocain 152
Tyramin 317

U

- ウーナンナ 腐蝕「バスタ」427
ウイルソン氏「バスタ」419
「ウラミノ」酸合成 59
「ウレタン」110
「ウロトロピン」357, 358
「ウルソン」356
「ウヴァウルシ」葉 356, 357, 377
茴香水 236
運動神經ヲ麻痺セシムル藥物 154
Ung. Cinereum 341
Unguentum acidi borici 411
Unguentum Hydrargyri album 401
Unguentum Hydrargyri cinereum 341
Unguentum Kalii Jodati 296
Unguentum simplex 451
Unspezifische Therapie 458
Umstimmende Mittel 290
Uraminosäuresynthesen 59
Urea 221
Urethan 110
Urotropin 357, 358
Urson 356
Uterustonica 316
Übermangansaures Kalium 385, 387

Überempfindlichkeit 26

V

「ヴァリドール」118
 「ヴァリール」118
 「ヴェラモン」123
 「ヴェラトリン」154
 「ヴェロナール」105, 107
 「ヴェロナール・ナトリウム」107
 「ヴォルンター」110
 Vakzine 457
 Valeriansäurebornylester 118
 Validolum 118
 Valylum 118
 Tselinum album 452
 Vaselinum flavum 452
 Vaselinum oxydatum 452
 Vasodilatatoria 212
 Vasogenum 452
 Vegetatives Nervensystem 156, 157
 Veramon 123
 Veratrin 154
 Veronal 105, 107
 Veronalnatrium 107
 Verteilung 42
 Vesicantia 434
 Vinum 79
 Vinum Condurango 235
 Vollständiger Herzblock 209
 Voluntal 110
 Vorhof-Flimmern 209

W

「ワゾゲン」452
 「ワクチン」類 457
 Wasserhaltiges Wollfett 451
 Wasserstoffsperoxyd 387
 Weißer Quecksilberpräzipitat 401
 Wein 79
 Weinsaures Antimonykalium 356

Weinsäure 226
 Weisses Wachs 451
 Wiener Ätzpasta 428
 Wilson'sche Pasta 419
 Wismutoxyjodidgallat 424
 Wismutpräparate 271, 350, 423
 Wurmmittel 362

X

Xanthin 76
 Xeroform 395, 424

Y

「ヤラッパ」石鹼 260
 「ヤラッパ」脂 259, 260
 「ヤトレン」395
 「ヤトレン・カゼイン」458
 藥物投與ノ場所 4
 藥物ノ体内吸收 4
 藥物ノ分布 42
 藥物ノ固著 42
 藥物ノ化學的變化 53
 藥物ノ体外排出 63
 藥物ノ分布ト作用トノ關係 46
 藥物ノ用量 24
 藥用量 25
 藥用石鹼 267, 448
 「ヨチオン」297
 「ヨードスタリン」296
 「ヨヒンピン」325
 「ヨチピン」296
 「ヨチヴァール」296
 「ユーカリブス」油 192
 沃度 391, 394
 沃度「アムモニア」295
 沃度丁幾 394, 440
 沃度「チリン」308, 311
 沃度中毒ノ療法 394
 沃度鹽類 188
 沃度「フォルム」394

沃度「フォルム」中毒ノ療法 395
 沃度「フォルム・コロチウム」395
 沃度「グリセリン」394
 沃度加里

— 体外排出 64
 — 溶解性祛痰劑トシテ 188
 — 變質劑トシテ 295, 296

沃度加里軟膏 296

沃度劑 290

沃度「ナトリウム」295, 296

沃度鐵舍利別 281

溶解性祛痰劑 182, 188

用量ト作用トノ關係 24

腰椎麻酔 148

有機酸 223

Yatren 395

Yatrenkasein 458

Yohimbin 325

Yohimbium hydrochloricum 325

Z

「ザプロミン」117

「ザボン」類 182

「ザリピン」123

「ザリチル」化合物 359

「ザリチル」酸

— 消毒劑トシテ 384, 385

— 角質溶解劑トシテ 444, 445

「ザリチル」酸「アンチピリン」123

「ザリチル」酸「フィゾスチグミン」163

「ザリチル」酸「フェニールエステル」
359

「ザリチル」酸汞 342

「ザリチル」酸「メチールエステル」
333

「ザリチル」酸「ナトリウム」

— 利膽劑トシテ 276

— 特殊消毒劑トシテ 332

「ザリチル」酸「ナトリウム・コフェ
イン」77, 196「ザリチル」酸「ナトリウム・テオ
ブロミン」218

「ザリチル」酸石鹼硬膏 422

「ザリチル」酸水銀 342

「ザリチル」酸劑

— 鎮痛劑トシテ 124

— 解熱劑トシテ 141

— 特殊消毒劑トシテ 329

「ザロール」

— 腸管防腐劑トシテ 241, 242

— 尿消毒劑トシテ 359

「ザロール」結石 359

撒曹 332

柘榴根皮 369

「ゾムニフェン」111

臟器療法 4

臟器製劑 305

「ズルフォイヒチオール」酸
「アムモニウム」383

「ズルフォナル」108

Zeitpotenzierung 31

Zincum Amylum 419

Zincum chloratum 430

Zincum oxydatum 419

Zincum sulfuricum 419

Zimtsäure 186

Zinkchlorid 430

Zinkoxyd 418, 419

Zinkpasta 419

Zinksulfat 419

Zinkverbindungen 418

Zinkvitriol 419

Zitronensaures Natrium 199

Zitronensaures Silber 403

Zitronensäure 226

Zusammenziehende Mittel 414

昭和三年二月廿五日 第一版發行
昭和五年一月廿五日 第二版發行
昭和六年六月十日 第三版印刷
昭和六年六月十五日 第三版發行

臨 牀 藥 理 學

正價金六圓五十錢



著 者 額 田 晉
東京市神田區小川町五十一番地
發行者 金 原 鑄
東京市本郷區湯島切通坂町廿一番地
印刷者 杉 田 正 巳
東京市本郷區春木町一丁目廿五番地
印刷所 誠 心 堂 印 刷 所
東京市本郷區春木町一丁目廿五番地

東京市本郷區湯島切通坂町廿一番地
發行所 株式會社 金 原 商 店
電話小石川 { 三八四〇番・振替東京三五三五番
四三二二番

50

302

50-3021



1200501263750

終